

ミラー投写型プロジェクター

NEC

ViewLight[®]
ビューライト

WT615J/WT610J

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください。



1. 添付品や名称を —● 1
確認する
2. 設置と接続 —● 2
3. 映像を投写する —● 3
(基本操作)
4. 便利な機能 —● 4
5. ビューワを使う —● 5
6. オンスクリーン —● 6
メニュー
7. 本体のお手入れ／ —● 7
ランプの交換
8. 付録 —● 8

はじめに

このたびは、NEC ミラー投写型プロジェクターWT615J／WT610J（以降「WT615J／WT610J本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、NEC PC98-NXシリーズやDOS/V対応機（IBM PC/AT互換機）、Apple Macintoshなどに接続して、文字や図形をスクリーンに鮮明に投映するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

本書は、WT615J／WT610J共通の取扱説明書です。WT615Jを主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlendは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ DLP (Digital Light Processing) は、米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- ・ Ulead Systems、Photo Explorerは、Ulead Systems社の登録商標または商標です。
- ・ eBeam、eBeam enabledロゴは、Luidia, Inc. の登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前の必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流100ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
- 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

プロジェクターのミラーをのぞかない



ミラーをのぞかない

- プロジェクターのミラーをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

投映中にミラー部分に手を入れない



- 投写中はミラー部分に手や異物を入れないでください。投写中、ミラー部分(光線の通り道)は高温になる箇所があり、やけどや火災の原因となります。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り約90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は [154~156ページ](#) をご覧ください。

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置したときは、本機にぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

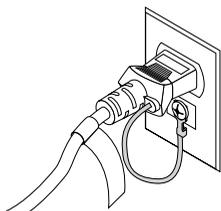
無線LANカードの使用について



- 無線LANカードは、医療機器、原子力設備／機器、航空宇宙機器、輸送設備／機器など人命に関する設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されていませんので、使用しないでください。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで無線LANカードを使用しないでください。
- 医療機器の近くで無線LANカードを使用しないでください。医療機器に電磁障害を及ぼし生命の危険があります。

⚠️ 注意

機器のアースは確実にしてください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は44ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

動作中にミラーを覆わない



- 動作中にミラーを覆わないでください。覆ったものが高温になり、火災の原因となることがあります。
- 動作中にミラーの前に金魚鉢、凸レンズ（虫眼鏡）などを置かないでください。火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運ぶときはミラー部分に手をかけない



- プロジェクターを持ち運ぶとき、ミラー部分に手をかけないでください。落としてけがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の質量に耐えられる置き台を使用する



- 本機を置き台に設置する場合は、本機の質量に耐えられる置き台を使用してください。本機が落下してけがをするおそれがあります。

注意

投写中は排気口に触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性(+と-の向き)に注意し、表示通りに入れる

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない



レーザー光源をのぞかない

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けしないでください。レーザー光が目にあたると目を痛める原因となることがあります。お子様には使用させないでください。

点検・工事について



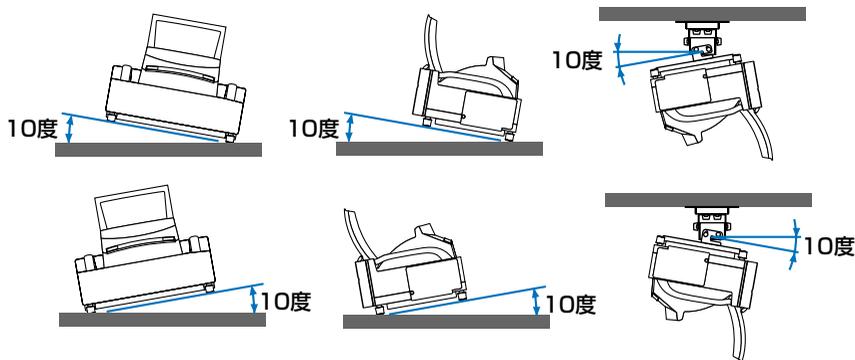
内部の掃除を販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 水平位置で使用してください。
本機を10度以上傾けたり、床置きおよび天吊り以外の設置は避けてください。
ランプの輝度低下を著しく早める場合があります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して（5時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
 - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。（☎146ページ）
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
高ゲインタイプのスクリーンは、本機には適していません。本機では、スクリーンゲインが低いほど、より美しい映像が投写できます。
また、ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
本体のキャリングハンドルを両手で持って運んでください。
その際、ミラーに傷が付かないように必ずミラーを閉じてください。また、振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。

- ミラーは素手でさわらないでください。
ミラーに指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、ミラーには手をふれないでください。
ミラーを清掃する場合は、添付のミラー用クリーニングクロス(布)を使用してください。その際、ミラーを傷つけないように十分注意してください。
また、本機を使用されないときは、ミラーを閉じておいてください。さらに、本体内にほこりなどが入らないように添付の本体カバーをかぶせてください。
- 廃棄について
本体の廃棄、およびリモコンや電子ペンの乾電池の廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

重要

- はじめて本機を設置する場合は、添付の『スタートアップガイド』の手順に従ってください。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入/切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本書に記載している指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずNECプロジェクター・カスタマサポートセンターまたは販売店に依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。

- ランプの点灯中
- 電源を切ったあとのファンの回転中(ファンは約90秒間回転します)
- PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(ビューフ使用中)
フラッシュメモ리카ードが壊れるおそれがあります。

電波に関する注意

- 添付の無線LANカード(以降「本カード」と省略します)は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本カードを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本カードは、日本国内でのみ使用できます。
- 本カードは、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・分解／改造すること。
 - ・本カードに貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz帯の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
 - ・本カードを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - ・万一本カードと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本カードの使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 - ・その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、NECプロジェクト・カスタマサポートセンター(☞裏表紙)にお問い合わせください。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OF-DM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を示す。
- DS-OF : DS-SS方式及びOF-DM方式を示す。
- 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
- — — : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 - IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 - メールの内容
 - 等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

- などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

目次

はじめに	2
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	8
目次	12
本書の表記について	14
1. 添付品や名称を確認する	15
1-1. 添付品の確認	16
1-2. 特長	18
1-3. 本体各部の名称／ミラーの開閉	19
1-4. リモコン各部の名称	24
1-5. 電子ペンの使いかた (WT615Jのみ)	27
2. 設置と接続	29
2-1. 設置と接続の流れ	30
2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する	31
2-3. パソコンと接続する	34
2-4. RGBモニターと接続する	36
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する	37
2-6. 書画カメラと接続する	39
2-7. LANと接続する	40
2-8. 無線LANカードやフラッシュメモ리카ードを本機にセットする	42
2-9. 電源コードを接続する	44
3. 映像を投写する(基本操作)	45
3-1. 映像を投写する流れ	46
3-2. 本機の電源を入れる	47
3-3. 投写画面の位置と大きさを調整する (フォーカス調整)	49
3-4. 入力信号を選択する	56
3-5. 映像を自動調整する	58
3-6. 本機の音量を調整する	58
3-7. 糸巻き型または樽型の歪みを調整する (ピンクッション補正)	59
3-8. レーザーポインタを使う	61
3-9. 電子ペンを使う (WT615Jのみ)	62
3-10. 本機の電源を切る	66
3-11.あとかたづけ	67
4. 便利な機能	69
4-1. 映像と音声を消去する	70
4-2. 動画を静止画にする	70
4-3. ポインタを表示／非表示／移動する	71
4-4. 映像を拡大する	72
4-5. 本機の操作説明を投写する	73
4-6. 市販のUSBマウスを使って操作する	74
4-7. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う	76

4-8. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)	77
4-9. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)	80
4-10. セキュリティを設定して無断使用を防止する	81
4-11. USBメモリを使用する	86
4-12. HTTPを使用したブラウザによる操作	87
4-13. ネットワーク接続されたパソコンを本機を使って操作する (Desktop Control Utility 1.0)	90
5. ビューワを使う	95
5-1. ビューワでできること	96
5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する	97
5-3. フラッシュメモリカードのデータを映す(ビューワ)	98
6. オンスクリーンメニュー	105
6-1. オンスクリーンメニューの基本操作	106
6-2. オンスクリーンメニュー一覧	112
6-3. 入力端子	115
6-4. 調整	119
6-5. セットアップ	128
6-6. 情報	149
6-7. リセット	150
7. 本体のお手入れ/ランプの交換	151
7-1. ミラーの清掃	152
7-2. キャビネットの清掃	153
7-3. ランプの交換	154
8. 付録	157
故障かな?と思ったら	158
インジケータ表示一覧	162
対応解像度一覧	164
外観図	165
関連商品一覧	166
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名	166
仕様	167
トラブルチェックシート	169
保証と修理サービス(必ずお読みください)	171
索引	172
NECプロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内	裏表紙

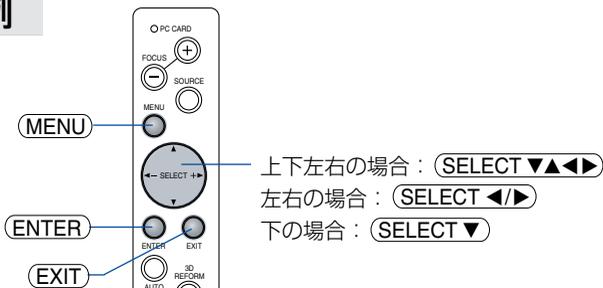
本書の表記について

マークの意味

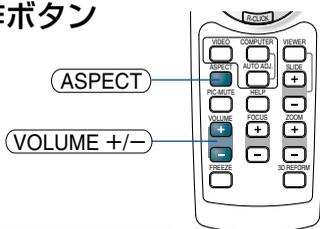
 重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
 注意	注意や制限事項を表しています。
 参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

第1章

添付品や名称を確認する

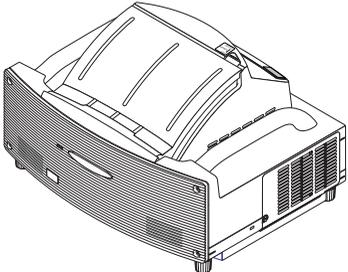
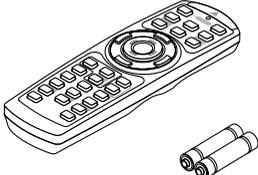
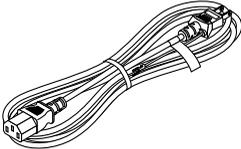
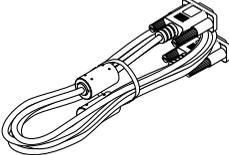
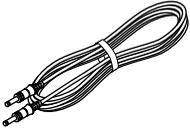
.....

1-1. 添付品の確認	16
1-2. 特長	18
1-3. 本体各部の名称／ミラーの開閉	19
1-4. リモコン各部の名称	24
1-5. 電子ペンの使いかた (WT615Jのみ) ...	27

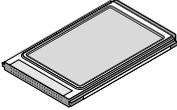
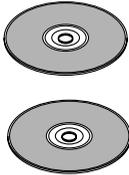
1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

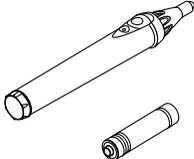
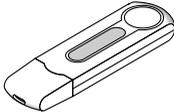
●WT615J/WT610J共通の添付品

	<p>プロジェクター (本機) パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。</p>
	<p>リモコン (07N900501) 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときには、添付の単4乾電池2本をセットしてください。(▶26ページ)</p> <p>単4乾電池 (リモコン用) 2本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード (アース付き) (07N080108) AC100V (アース付き) と本機に接続します。 日本国内用です。</p>
	<p>RGB信号ケーブル (ミニD-Sub 15ピン) (07N520032) パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(▶34ページ)</p>
	<p>リモコンケーブル (07N520019) 本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます。(▶27ページ)</p>
	<p>USBケーブル (07N520045) 本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。(▶76ページ)</p>

次ページに続く

	<p>無線LANカード (01161091) 本機のPCカードスロットにセットすると、無線LAN環境で使用することができます。(▶43ページ)</p>
	<p>CD-ROM 2枚 User Supportware 2 CD-ROM (07N950554) ユーティリティソフトを収録しています。内容については「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。 User's Manual CD-ROM (07N950584) 取扱説明書(本書)がPDF (Portable Document Format) 形式で収録されています。</p>
<p>ミラー用クリーニングクロス(布) (024BS7251) ミラーを清掃する際に使用します。(▶152ページ)</p> <p>本体カバー (024BS7272) 本機を使用していないときは、本体内にほこりなどが入らないようにこのカバーをかぶせてください。</p> <p>スタートアップガイド (07N8P5454) 本機の設置方法、および基本操作について説明しています。</p> <p>補足説明書 (07N8P5464) 添付品や各部の名称、ランプの交換方法、故障かな? と思ったときの対処方法などを記載しています。 また、安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>ネットワーク設定ガイド (07N8P5473) 本機を有線LANまたは無線LANに接続して使用する場合の設定方法について説明しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p>ビューライトクラブ申込書 ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。 入会金・会費は無料です。</p> <p>注意ステッカー (必要に応じて貼ってください)</p>	

●WT615Jのみの添付品

	<p>電子ペン (07N900611) 電子ペンでスクリーンをタッチして、オンスクリーンメニューやチョークボード機能が操作できます。 (▶27ページ)</p> <p>単3乾電池 (電子ペン用) 1本</p>
	<p>USBメモリ (07N960221) 本機のビューフ、キャプチャ、セキュリティなどの機能で使用します。(▶86ページ)</p>

参考

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-2. 特長

●DLP方式の高輝度プロジェクター

DLP方式を採用し、新開発の高効率ランプを搭載し、高輝度を実現しました。

●新開発非球面ミラーの採用により、短焦点投写を実現

当社独自の光学設計技術による非球面ミラーを搭載し、投写距離約66cmで100型のスクリーンサイズに投写でき、従来のレンズ投写型プロジェクターでは困難な短焦点投写を実現しました。

●水平検出センサ搭載により、設置の操作性を向上

本機には水平検出センサを搭載しており、本機の傾き状態をオンスクリーンメニューに表示します。オンスクリーンメニューを見ながら、本機の設置状態を水平に調整できます。

●電子ペンを標準添付し、電子ホワイトボード機能を実現 (WT615Jのみ)

添付の電子ペンを使って、本機の「チョークボード」機能进行操作することにより、簡易的な電子ホワイトボード機能を実現できます。

●DVI-I映像入力端子を装備し、デジタルRGB信号、アナログRGB信号を投写可能

DVI-I映像入力端子 (DVI-I 29ピン) を装備しており、デジタルRGB信号を投写することができます。

●アドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGAまでの解像度に対応

XGA (1024×768ドット) にフル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGA (1600×1200ドット) の入力信号までカバーします。

●セキュリティやパスワードを設定して、他人の無断使用を防止

USBメモリやフラッシュメモリカードをプロテクトキーにして、無断で本機を使用できないようにすることができます。また、パスワードを設定することにより、他人が勝手に本機の設定内容を変更できないようにします。

●無線LAN対応 (注1)

添付の無線LANカードを本体のPCカードスロットにセットすると、無線LANに対応したパソコンの画面を信号ケーブルを接続することなしに投写することができます。

(注1) Macintoshでは、HTTPサーバ機能とメール通知機能のみLAN環境で使用できます。

●プロジェクターだけでプレゼンテーションができるビューワ搭載

USBメモリやフラッシュメモリカード (注2) に記録したプレゼンテーション資料 (パソコンで作成)、デジタルカメラで撮影した画像のメモリカード再生 (注3) など、その場にパソコンがなくてもプレゼンテーションが行えます。

(注2) 市販のPCMCIA-Type 2 (ATA仕様) のフラッシュメモリカードを使用してください。

(注3) 再生できないフラッシュメモリカードもあります。

1-3. 本体各部の名称／ミラーの開閉

本体前面

前面インジケータ

電源が入っているとき、およびスタンバイ状態のときに青く光ります。ただし、「スタンバイモード」が「省電力」に設定されている場合は、電源が入っているときのみ青く光ります。

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。(● 26ページ)
本体の前面と背面の2箇所にあります。

スピーカ (ステレオ)

音声入力端子から入力された音声を出します。(● 58ページ)

フット (底面に4本)

回すと高さの微調整ができます。本体ががたつかないように調整してください。フットは最大約30mmまで伸ばすことができます。

ミラー

映像を投写するときにこの部分を開きます。(● 20ページ)
ミラーの開け閉めはゆっくりと行ってください。

ミラー用ロック

ミラーを開く際は、指でロックをずらして解除します。また、ミラーを閉じたときは、ロックしてください。

排気口

ランプの熱を排気します。

ランプカバー

ランプ交換のときカバーを外します。(● 154ページ)

ランプカバーネジ

盗難防止用ロック

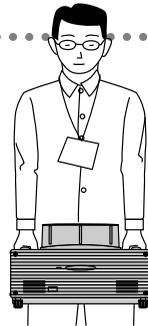
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。(● 参考)

参考

- キャリングハンドルについて
本機を移動するときは、図のようにキャリングハンドルを両手で持って運んでください。

注意

- 運ぶときは、ミラーを保護するため、ミラーを閉じてください。



● 盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下の通りです。

日本ボラデジタル株式会社 第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル

Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

本体背面

キャリングハンドル

本機を移動するときに両手で持ちます。

本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。(▶22ページ)

接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(▶23ページ)

吸気口

主電源スイッチ

主電源スイッチを「I (入)」にすると、スタンバイ状態になります。(▶47ページ)

AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。(▶44ページ)

リモコン受光部

電子ペン用センサ (WT615Jのみ)

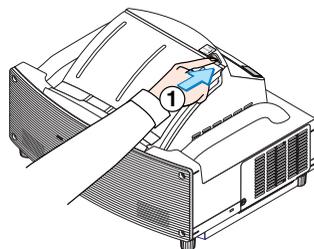
電子ペンの動作を検出します。

フット(底面に4本)

ミラーを開く/閉じる

●ミラーを開く

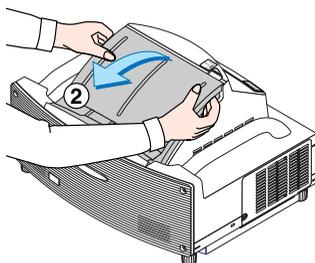
1 ミラー用ロックを指ですらして解除する。



2 ミラーの端を持ってゆっくり開く。

注意

- ミラーが完全に開くまで、ミラーから手を放さないでください。ミラーを開く際にミラーに強い衝撃を与えないでください。
- ミラーの表面は触らないでください。ミラーの表面に指紋などが付くと、画質低下の原因になります。

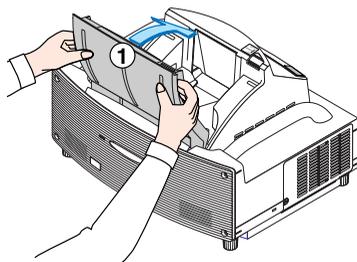


●ミラーを閉じる

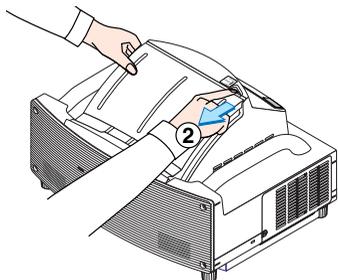
1 ミラーの端を持ってゆっくり閉じる。

注意

- ミラーが完全に閉じるまで、ミラーから手を放さないでください。
ミラーを閉じる際にミラーに強い衝撃を与えないでください。
- ミラーの表面は触らないでください。
ミラーの表面に指紋などが付くと、画質低下の原因になります。



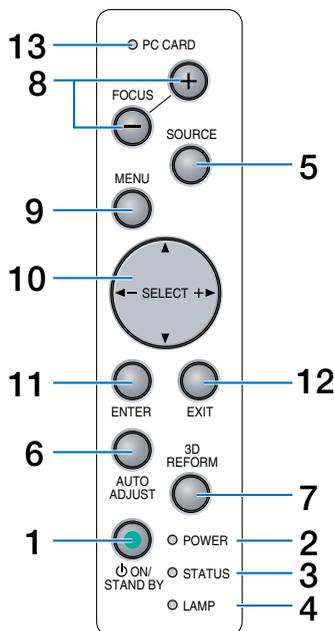
2 ミラー用ロックを指ですらしてロックする。



1

添付品や名称を確認する

本体操作部



1 POWER (ON/STAND BY) ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。電源を入れるときは、2秒以上押ししてください。

電源を切るときは、1回押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう1回POWER (ON/STAND BY) ボタンを押してください。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します。(▶ 47ページ)

電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(▶ 162ページ)

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。(▶ 163ページ)

5 (SOURCE) ボタン

コンピュータ、ビデオ、Sビデオ、ビューワ、LAN、テストパターンの入力を切り替えます。

短く押すと「信号選択画面」を表示します。また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。

→ コンピュータ → DVI (デジタル) → DVI (アナログ) → ビデオ → S-ビデオ → ビューワ . . .

入力されていない信号は飛び越します。

(▶ 56ページ)

6 (AUTO ADJUST) ボタン

コンピュータのパソコン画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。

(▶ 58ページ)

7 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の歪みを調整します。

(▶ 59ページ)

8 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のピントを合わせます

(▶ 52ページ)

9 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(▶ 106ページ)

10 (SELECT) ボタン (音量調整ボタンを兼用)

・メニューを表示しているときに (SELECT) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。

(▶ 106ページ)

・ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使用できます。(▶ 71ページ, 72ページ)

・メニューやポインタなどを表示していないときは、(SELECT) ボタンで音量の調整ができます。

(▶ 58ページ)

・ビューワ表示中は、(SELECT) ボタンでスライドを切り替えたりできます。

(▶ 101ページ)

11 (ENTER) ボタン

メニューを表示しているときに (ENTER) ボタンを押すと、項目を決定します。

(▶ 107ページ)

12 (EXIT) ボタン

メニューを表示しているときに (EXIT) ボタンを押すと、メニューを閉じます。

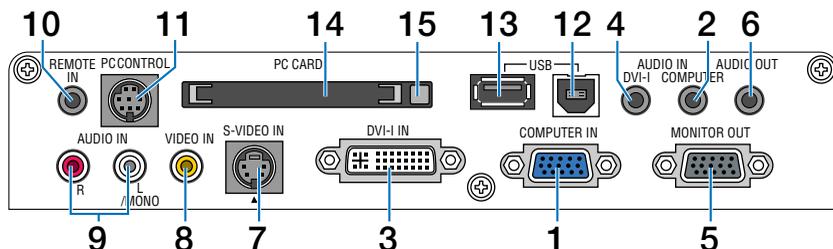
各種調整・設定画面を表示しているときは、メニュー表示に戻ります。

13 PCカードアクセスインジケータ

PCカードへのアクセス(データの読み込み/書き込み)中に点灯します。

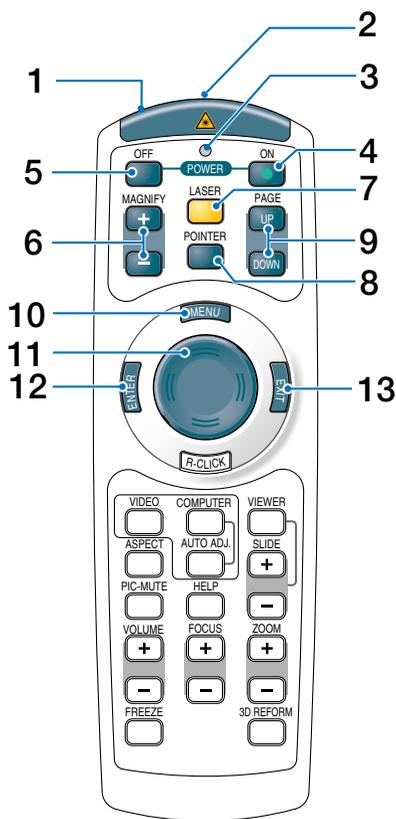
(▶ 43ページ)

接続端子部



- 1 コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) (ミニD-Sub 15ピン)**
パソコンのディスプレイ出力端子やDVDプレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。(▶ 34ページ, 37ページ)
 - 2 コンピュータ音声入力端子 (AUDIO IN COMPUTER) (ステレオ・ミニ)**
本機のコンピュータ映像入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します。(▶ 34ページ)
 - 3 DVI-I 映像入力端子 (DVI-I IN) (DVI-I 29ピン)**
パソコンのDVI出力端子と接続します。(▶ 34ページ)
 - 4 DVI-I 音声入力端子 (AUDIO IN DVI-I) (ステレオ・ミニ)**
本機のDVI-I映像入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します。(▶ 34ページ)
 - 5 モニタ出力端子 (MONITOR OUT) (ミニD-Sub 15ピン)**
コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) に入力されている映像信号、またはDVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) に入力されているDVIアナログ映像信号を出力します。(▶ 36ページ)
 - 6 音声出力端子 (AUDIO OUT) (ステレオ・ミニ)**
本機から投写されている映像の音声信号を出力します。
 - 7 S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。(▶ 38ページ)
 - 8 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) (RCA-フォノ)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。(▶ 38ページ)
 - 9 ビデオ音声入力端子 (AUDIO IN) (RCA-フォノ)**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。(▶ 38ページ)
 - 10 リモコン端子 (REMOTE IN) (ステレオ・ミニ)**
添付のリモコンケーブルを使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。(▶ 27ページ)
 - 11 PCコントロール端子 (PC CONTROL) (ミニDIN 8ピン)**
添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているPC Control Utility 3.0を使用すると、パソコンから本機を操作することができます。
 - 12 USBポート(タイプB)**
添付のUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポート(タイプA)と接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます。(▶ 76ページ)
 - 13 USBポート(タイプA)**
・市販のUSBマウスを使って、本機メニュー操作をするときに接続します。(▶ 74ページ)
・USBメモリを接続できます。(▶ 86ページ)
 - 14 PCカードスロット(PC CARD)**
市販のフラッシュメモリカードや無線LANカードなどを挿入します。(▶ 42ページ)
- 注意** ● 本機の工場出荷時は、PCカードスロットにダミーカードがセットされています。本機をご購入後、はじめてフラッシュメモリカードやLANカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください。
- 15 PCカード取り出しボタン**
フラッシュメモリカードや無線LANカードをPCカードスロットから取り出すときに押します。

1-4. リモコン各部の名称



- 1 レーザー発光／リモコン送信部**
 (LASER) ボタンを押したとき：レーザーポインタの光を発射します。

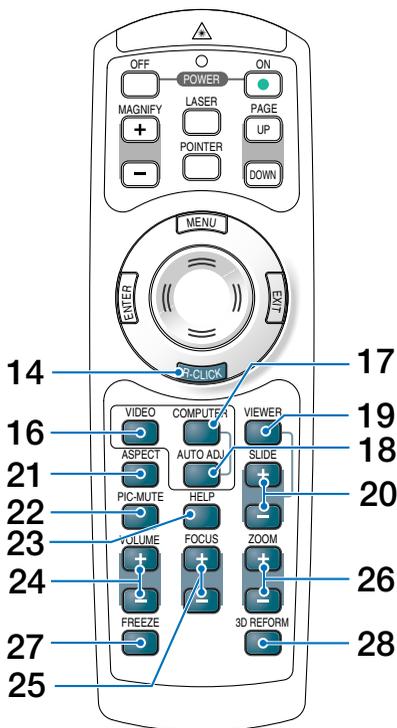
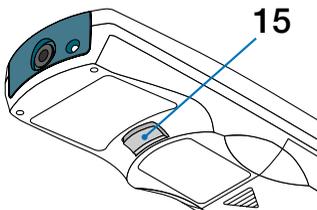
⚠ 警告

レーザー光は人に向けないでください。
 目を痛める原因となります。

(LASER) ボタン以外のボタンを押したとき：赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

- 2 リモコンケーブル接続端子**
 本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けてリモコン操作が行えます。(🔗 27ページ)

- 3 リモコン送信中インジケータ**
 赤外線送信中およびレーザー発光中は赤く点灯します。
- 4 POWER (ON) ボタン**
 2秒以上押し、スタンバイ時 (POWERインジケータがオレンジ色に点灯) に本機の電源を入れます。
- 5 POWER (OFF) ボタン**
 1回押しと画面に確認メッセージが表示されます。続いてもう1回POWER (OFF) ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。
- 6 (MAGNIFY +/-) ボタン**
 画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。(🔗 72ページ)
- 7 (LASER) ボタン**
 レーザーポインタが発光します。
- 8 (POINTER) ボタン**
 ポインタを表示します。画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置の調整ができます。(🔗 71ページ, 72ページ)
- 9 (PAGE UP/DOWN) ボタン**
 パソコンと本機をUSBケーブルで接続しているときに、パソコンの操作をするボタンです。(🔗 76ページ)
 画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使用します。
- 10 (MENU) ボタン**
 各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
- 11 (SELECT) ボタン**
 オンスクリーンメニュー操作や (MAGNIFY +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。
 また、パソコンと本機をUSBケーブルで接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します。(🔗 76ページ)
- 12 (ENTER) ボタン**
 オンスクリーンメニューを表示中は、次の階層のメニューに進みます。
 確認メッセージ表示中は、項目を決定します。
- 13 (EXIT) ボタン**
 オンスクリーンメニューを表示中は、前の階層のメニューに戻ります。
 メニューバーにカーソルがあるときは、オンスクリーンメニューを閉じます。
 確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。



14 (R-CLICK) ボタン

パソコンと本機をUSBケーブルで接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。マウスの右ボタンの動作をします。

15 (L-CLICK) ボタン

パソコンと本機をUSBケーブルで接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。マウスの左ボタンの動作をします。

16 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力、S-ビデオ入力を選択します。

17 (COMPUTER) ボタン

コンピュータ入力、DVIデジタル入力、DVIアナログ入力を選択します。

18 (AUTO ADJ.) ボタン

コンピュータの画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
(▶58ページ)

19 (VIEWER) ボタン

ビューワを表示します。(▶98ページ)

20 (SLIDE +/-) ボタン

ビューワのスライド画面の切り替えや、サムネイル画面でのカーソル送りに使います。

21 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。
(▶120ページ)

22 (PIC-MUTE) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶70ページ)

23 (HELP) ボタン

ヘルプ画面を表示します。(▶73ページ)

24 (VOLUME +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量と音声出力端子 (AUDIO OUT) の音量を調整します。(▶58ページ)

25 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のピントを合わせます。
(▶52ページ)

26 (ZOOM +/-) ボタン

投写画面の大きさの微調整を行います。
(▶148ページ)

27 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(▶70ページ)

28 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の歪みを調整します。
(▶59ページ)

電池の入れかた

- 1 リモコン裏面の電池ケースのふたを開ける。

注意

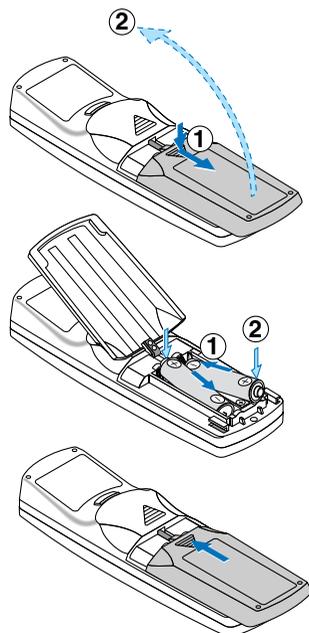
● ふたを強く引っ張らないでください。

- 2 ケース内部に印刷されている+、-の向きに合わせて単4乾電池をセットする。

- 3 もと通りにふたをする。

注意

● 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4アルカリ乾電池をお買い求めください。

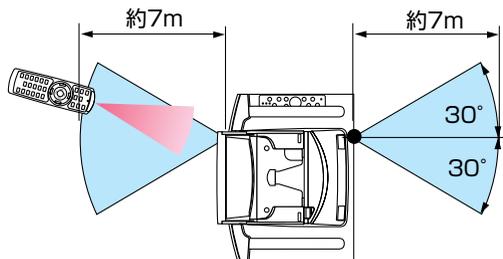


リモコンの有効範囲

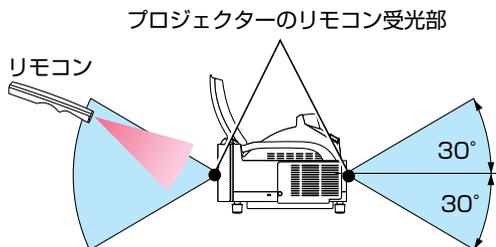
リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。およそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【水平方向の受光範囲】



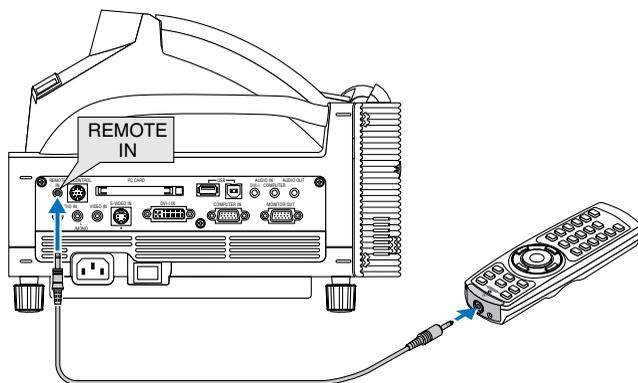
【垂直方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、有効範囲外でリモコン操作するときは、添付のリモコンケーブルを使用してください。



注意

- [スタンバイモード] が「省電力」に設定されている場合に、リモコンケーブルで本機とリモコンを接続すると、[スタンバイモード] の設定が自動的に「ノーマル」に切り替わります。(▶ 145ページ)

リモコンの使用上の注意

- 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- レーザーポインタの使用上のご注意については、「3-8. レーザーポインタを使う」(▶ 61ページ)をご覧ください。

1-5. 電子ペンの使いかた (WT615Jのみ)

WT615Jには、電子ペンが添付されています。

電子ペンは、市販のUSBマウスを本機に接続したとき(▶ 74ページ)と同様な操作が行え、本機の「チョークボード」機能(▶ 77ページ)と組み合わせると、簡易的な“電子ホワイトボード”として使用できます。また、本機のオンスクリーンメニューを操作することもできます。

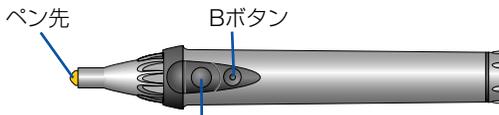
操作について詳しくは、「3-9. 電子ペンを使う」(▶ 62ページ)をご覧ください。

重要

- 電子ペンをはじめて使用する場合、および本機またはスクリーンの設置位置を変更した場合は、電子ペンを使用する前に必ず「ペンキャリブレーション」(▶ 62ページ)を実行してください。
- 複数の電子ペンを同時に使用できません。

各ボタンの働き

電子ペンのペン先およびボタンは、USBマウスのボタンに対応しています。



Aボタン

ペン先：マウスの左ボタン

Aボタン：マウスの右ボタン

Bボタン：チョークボードツールバーの表示／非表示

(注) ・AボタンおよびBボタンは、0.5秒以上押したままにしてください。

・AボタンとBボタンの両方を同時に0.5秒以上押すと、[ペンキャリブレーション] ([62ページ](#)) を実行することができます。

電子ペンの使用条件

次の条件を満たしていないときは、電子ペンは正常に動作しません。

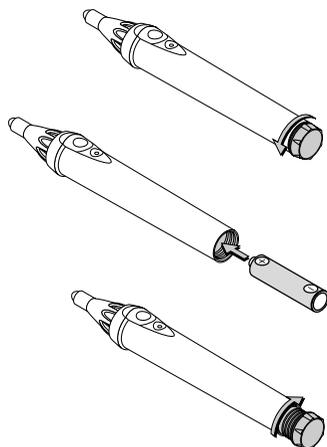
- スクリーンサイズ：40型～80型
- 投写方法：「デスク／フロント」、 「天吊り／フロント」
- スクリーンタイプ： 「4：3」
- アスペクト： 「4：3」
- 解像度： 「フル」
- デジタルズーム： 「100 (%)」
- [4点補正]、 [台形補正]の補正をしていないとき。

電池の入れかた

1 ペン先の反対側のふたを左に回して外す。

2 プラス側を先にして、単3乾電池を挿入する。

3 ペンにふたを取り付け、右に回して固定する。



電子ペンの使用上の注意

- 電子ペンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- 電子ペンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間電子ペンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 電子ペンを使用するときは、電子ペン先端の黒い部分から先は持たないでください。黒い部分より先を持つと、電子ペンが正常に動作しません。

第2章

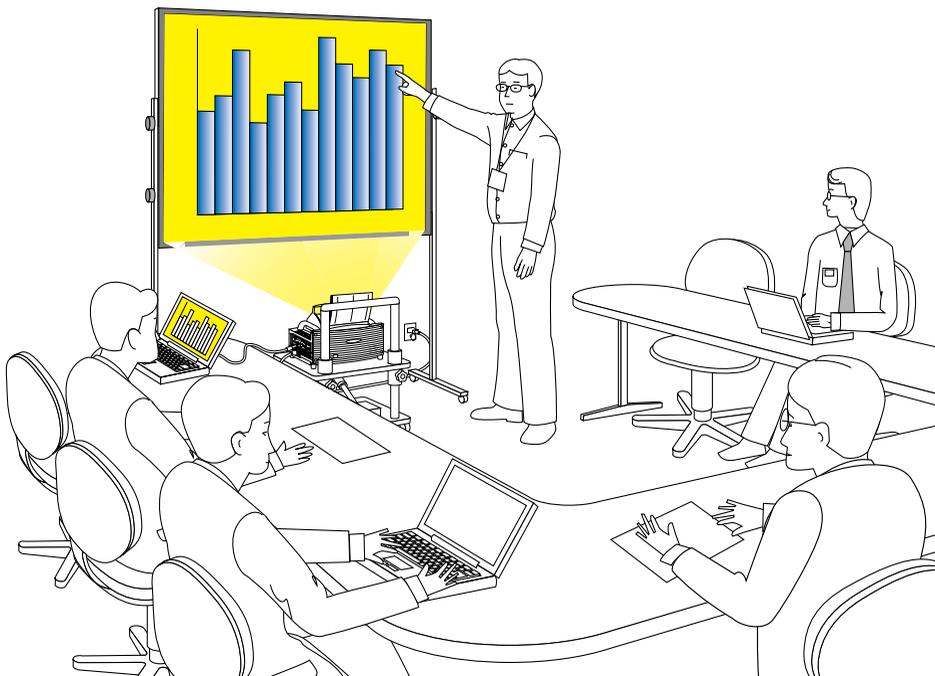
設置と接続

.....

2-1. 設置と接続の流れ	30
2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する	31
2-3. パソコンと接続する	34
2-4. RGBモニタと接続する	36
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する ..	37
2-6. 書画カメラと接続する	39
2-7. LANと接続する	40
2-8. 無線LANカードやフラッシュメモリ カードを本機にセットする	42
2-9. 電源コードを接続する	44

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する (👉 31ページ)



ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどをプロジェクターに接続する

- パソコンと接続する場合 (👉 34ページ)
- RGBモニターと接続する場合 (👉 36ページ)
- DVDプレーヤーやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (👉 37ページ, 38ページ)
- 書画カメラと接続する場合 (👉 39ページ)
- LANと接続する場合 (👉 40ページ, 42ページ)



ステップ 3

電源コードを接続する (👉 44ページ)

2-2. スクリーンとプロジェクターを設置する

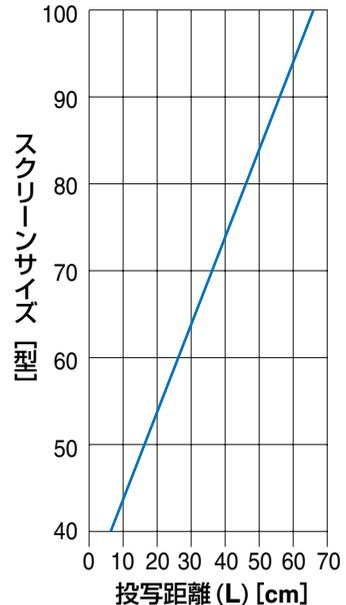
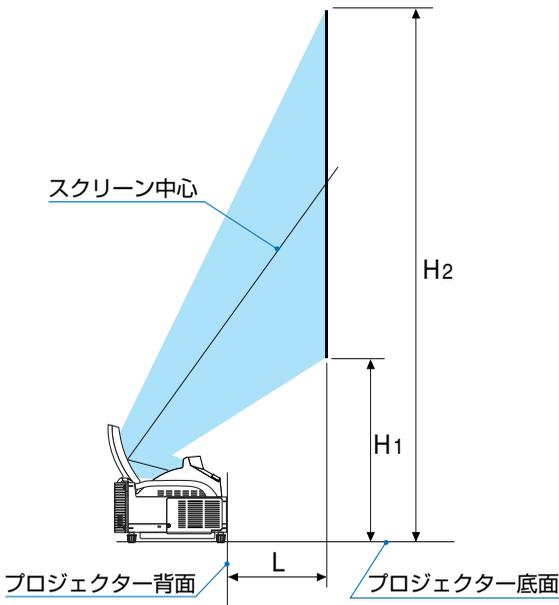
- 1** 図の「投写距離」を参照し、スクリーンサイズに応じて、スクリーンと本機の距離を取ります。

例えば、60型のスクリーンに投写する場合は、約26.3cm離して設置します。

- 2** 図の「スクリーン下端の高さ」を参照し、スクリーンの高低の位置調整、または本機の置き台の高低の位置調整を行います。

例えば、60型のスクリーンに投写する場合は、本機の底面からスクリーン下端までの高さを、約48.2cmに設置します。

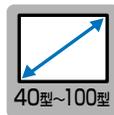
スクリーンサイズ (型)	投写距離 (L) cm	スクリーン下端の高さ (H1) cm	スクリーン上端の高さ (H2) cm
40	6.4	35.4	96.4
50	16.4	41.8	118.0
60	26.3	48.2	139.6
80	46.1	60.9	182.8
100	65.9	73.7	226.1



- 設計値のため、±5%の誤差があります。
- 投写距離およびスクリーン上端／下端の高さは画面比4：3で計算しています。

本機に適したスクリーンについて

- 本機で投写できるスクリーンサイズは、40型（幅81.3cm×高さ61.0cm）～100型（幅203.2cm×高さ152.4cm）です。



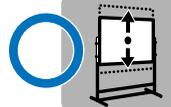
- 表面がフラットなパネルタイプのスクリーンを使用してください。
ロール式のスクリーンなど、スクリーン表面がたわんだり波を打ちやすいものは使用しないでください。投写した映像の歪みが大きくなります。



- スクリーンを真横から見て垂直になるように設置してください。
スクリーンが上方や下方に傾いていると、台形歪みが大きくなります。



- 本機の場合、スクリーンサイズを大きくすると、投写位置が上方に移動します。そのため、高低の位置調整が可能なスクリーンを使用してください。スクリーンと本機の位置関係は、[31ページ](#)をご覧ください。



- リアスクリーンを使用する場合、素材や使用条件により輝度ムラなどが発生することがあります。そのため、リアスクリーンを使用する場合は、導入前に投写して確認することをおすすめします。



- 高ゲインタイプのスクリーンは、本機には適していません。
本機では、スクリーンゲインが低い（スクリーンゲイン1程度）ほど、より美しい映像が投写できます。
スクリーンゲインの値については、スクリーンのカタログなどで確認してください。



- スクリーンの外枠がスクリーン面よりも大きく前方に張り出している場合、スクリーンの外枠によって本機からの光がさえぎられてしまいます。



- スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないほうが、ハイコントラストで美しい映像が見られます。



- スクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いに注意してください。

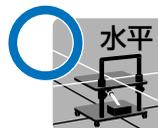


本機に適した置き台について

- 本機の場合、スクリーンサイズを大きくすると、投写位置が上方に移動します。そのため、高低の位置調整が可能な置き台を使用してください。スクリーンと本機の位置関係は、31ページをご覧ください。



- 本機が水平に設置できる置き台を使用してください。水平に設置できない場合は、オンスクリーンメニューで[傾き情報表示]を表示し、本機のフットを回して、水平になるように調整してください。



本機の設置環境に関するご注意

- 空調設備の通風口近くにはスクリーンを設置しないでください。スクリーンに風が当たって投写画面が揺れる場合があります。
- 本機にハロゲンランプなどの強い照明が当たらないようにしてください。本機のセンサが誤動作して、電源が入らないことがあります。

2

設置と接続

WT615Jで電子ペン機能を使用する際のご注意

- スクリーンは、表面が比較的硬いハードタイプかつ表面がフラットなものを使用してください。
また、スクリーンサイズは、40～80型を使用してください。
- スクリーン面の材質によっては、電子ペンを接触した際に、スクリーン面に傷が付く場合があります。電子ペンを使用する前に、スクリーン面の端などの目立たない部分で、電子ペンによって傷が付かないか試してください。
- 次のような場所では使用しないでください。電子ペンが正常に動作しない場合があります。
 - ・ CRTディスプレイやテレビなどの近くでは使用しないでください。
 - ・ 金属などの音を反射しやすい材質の壁や天井で囲まれた場所では使用しないでください。
 - ・ インバータ蛍光灯の近くでは使用しないでください。
 - ・ スクリーン面にエアコンや扇風機の風が直接当たらないようにしてください。
 - ・ 直射日光が当たる場所には本機を設置しないでください。
 - ・ スピーカからの音や騒音がする場所では使用しないでください。
 - ・ 本機を複数台、同じ室内で使用しないでください。
- 電子ペン機能の動作保証温度範囲は、15～35℃です。

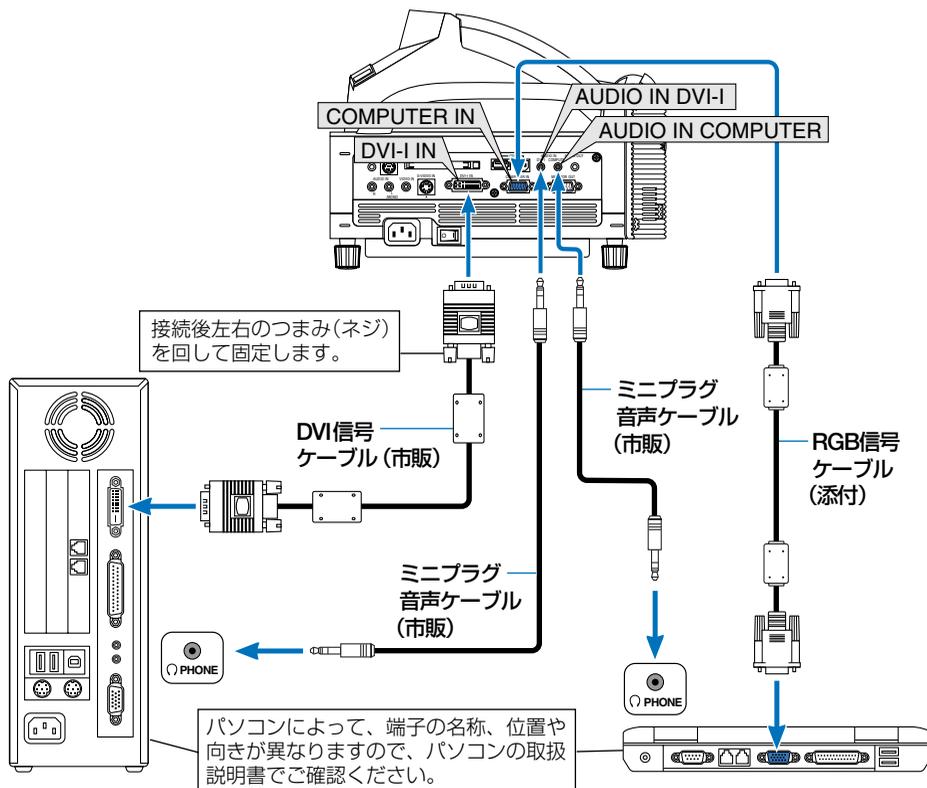
2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ入力端子 (COMPUTER IN) を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。

- パソコン側がDVI出力端子の場合は、市販のDVI信号ケーブルで本機のDVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) に接続します。

そのとき、パソコン側がDVI-I出力端子の場合は、デジタル/アナログの両方の信号を入力できます。

- 市販のDVI-I↔アナログRGB変換ケーブルを使用すると、パソコンのアナログRGB出力端子を本機のDVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) に接続することができます。(🔗 参考)



注意

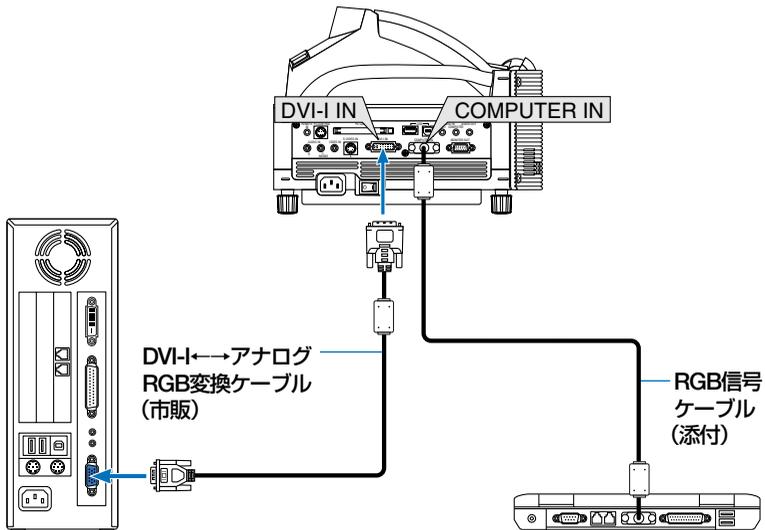
- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット(形名ISS-6020J、ISS-6010J)のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

- DVI (デジタル) 入力時の注意事項

- DVI信号ケーブルは、DDWG Revision1.0に準拠した5m以内のものを使用してください。
- DVI信号ケーブルは、シングル/デュアルのどちらのタイプも使用できます。
- DVI信号ケーブルを接続するときは、本機とパソコンの電源が切れた状態で行ってください。
- DVI (デジタル) 信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、DVI (デジタル) 入力を選択します。最後にパソコンを起動してください。上記の手順通りに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はパソコンを再起動してください。
- パソコンのグラフィックカードによっては、アナログRGB (D-Sub) とDVI (またはDFP) の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub端子にRGB信号ケーブルを接続していると、DVIデジタル信号が出力されない場合があります。
- 本機の電源が入っているときにDVI信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- 本機のDVI (デジタル) 入力は、VGA (640×480)、SVGA (800×600)、XGA (1024×768)、1152×864、およびSXGA (1280×1024/垂直走査周波数60Hzまで) に対応しています。

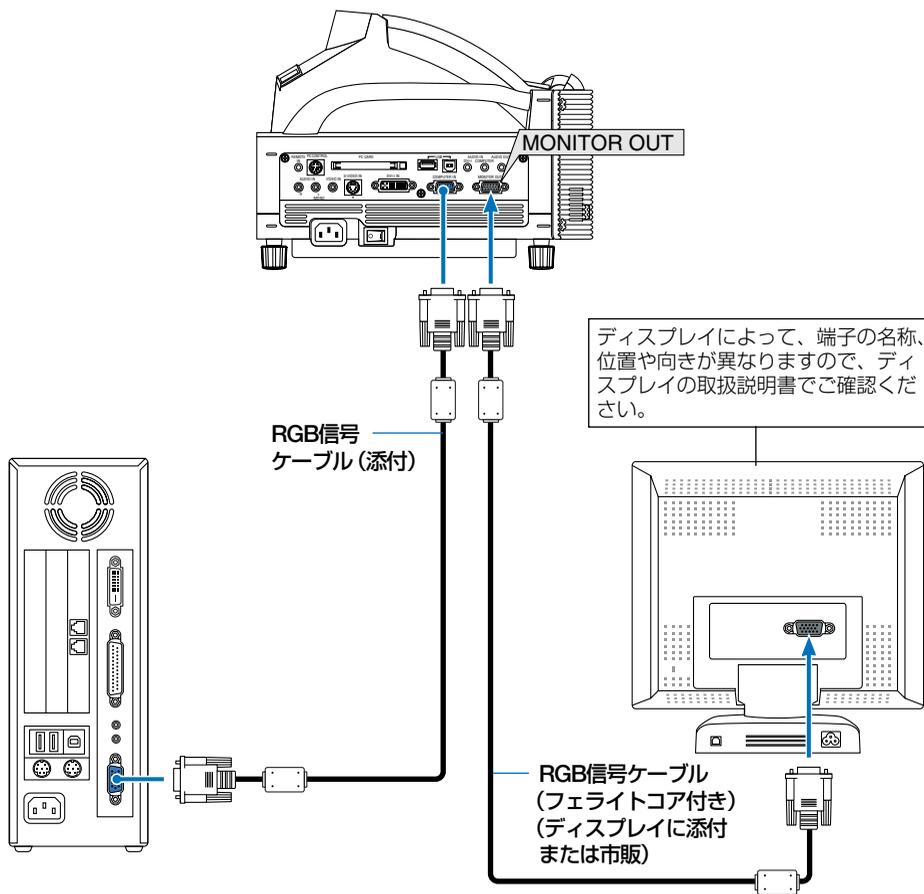
参考

- Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ (市販品) が必要になる場合があります。
- 市販のDVI-I⇄アナログRGB変換ケーブルを使用すると、2系統のアナログRGB入力信号を接続することができます。



2-4. RGBモニタと接続する

図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示 (モニタ) して確認できます。



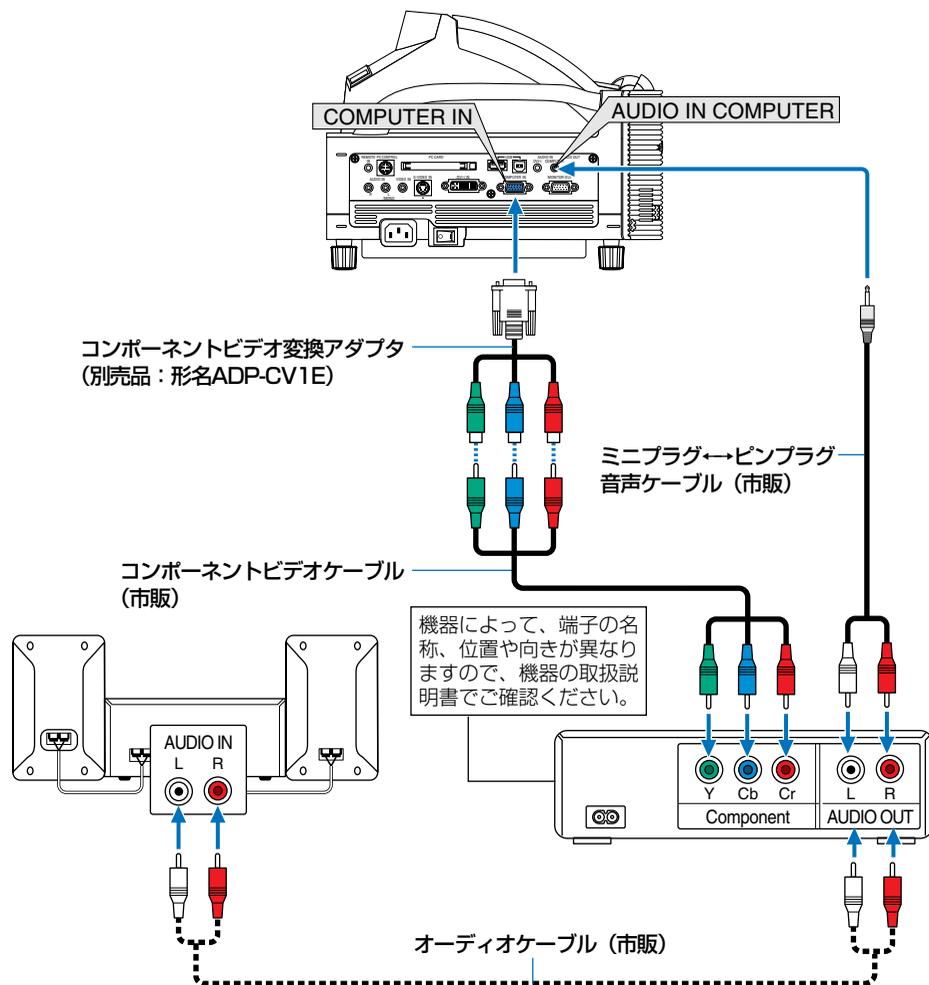
注意

- 本機のモニタ出力端子 (MONITOR OUT) は、1 台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の [スタンバイモード] を「省電力」に切り替えると、本機の電源が入っていないとき (POWERインジケータのみがオレンジ色で点灯しているとき) にモニタ出力端子 (MONITOR OUT) から映像信号が出力されなくなります。(145ページ)

2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

DVDプレーヤの色差出力端子 (DVD映像出力) やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子 (HD映像出力) を使って本機で映すことができます。

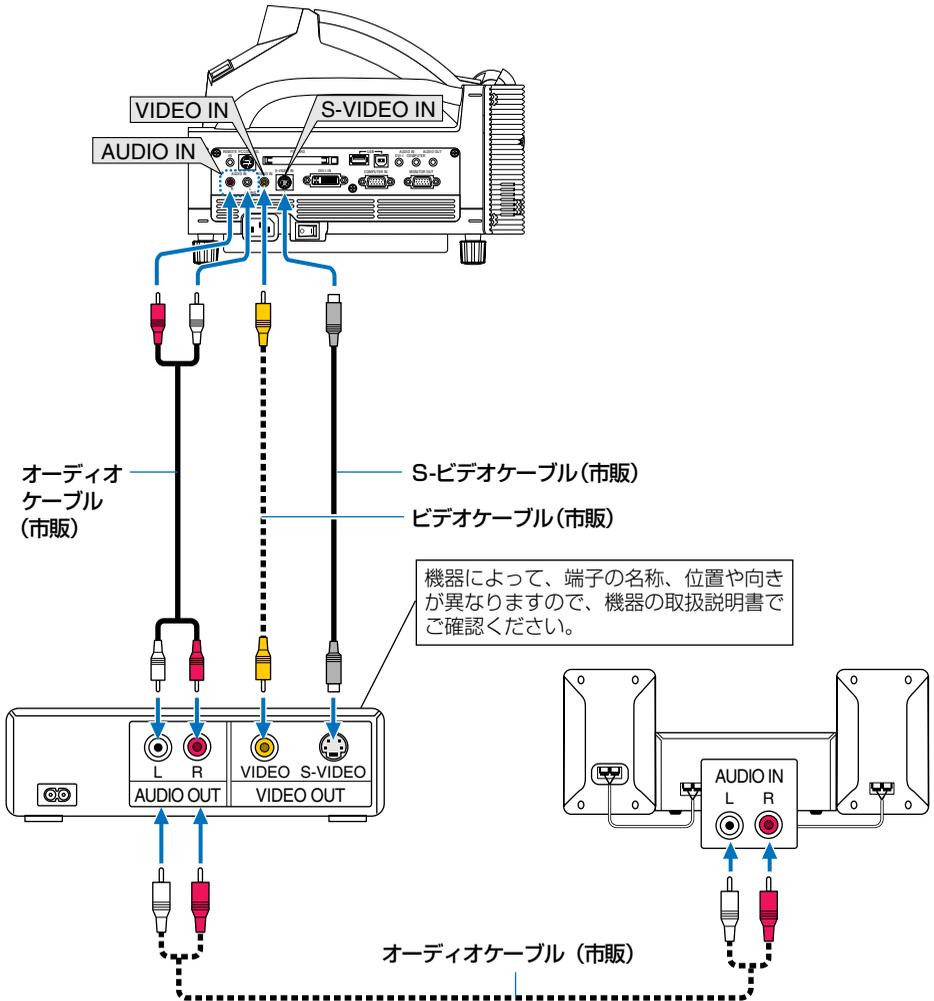


参考

- 通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネントビデオ信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [オプション] → [信号選択] の設定画面でコンピュータ信号を「コンポーネント」に設定してください。(▶ 147ページ)
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ (形名ADP-DT1E) をお使いください。

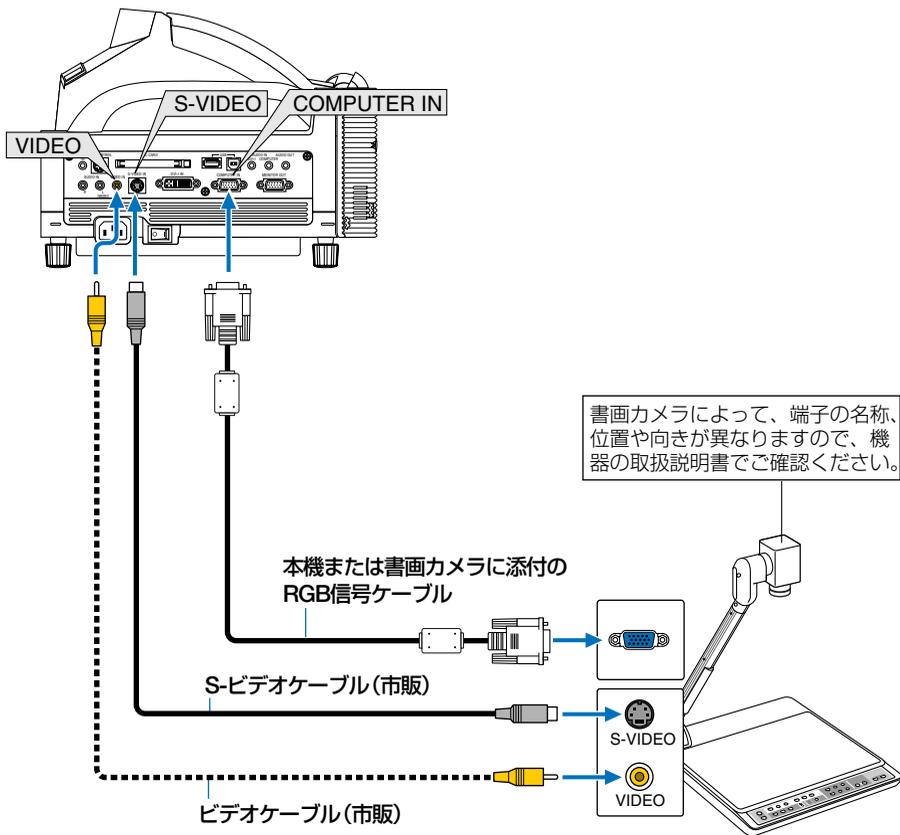
ビデオ機器との接続

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。



2-6. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



2-7. LANと接続する

市販の有線LANカードや添付の無線LANカード（形名NWL-100E）を本機のPCカードスロットに挿入すると、LAN環境を利用することができます。

本機をLAN環境および無線LAN環境で使用する場合は、本機にIPアドレスなどを設定する必要があります。本機へのLANの設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→[セットアップ]→[設置]→[LANモード]をご覧ください。

(▶ 138ページ)

LAN環境を利用してできること

LAN環境および無線LAN環境では、本機の「プロジェクターコントロール機能」と「画像送信機能」が使用できます。

● プロジェクターコントロール機能

- LANおよび無線LANに接続したパソコンから、プロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの制御ができます。次の2つの方法があります。
 - 本機のHTTPサーバ機能を使用する。(▶ 87ページ)
 - 添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているPC Control Utility 3.0を使用する。

● 画像送信機能

- LANおよび無線LANに接続したパソコンの画面やパソコンで選択した画像ファイルを、プロジェクターへ送信してスクリーンに投写することができます。次の2つの方法があります。
 - 添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0を使用する。
 - 添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているUlead Photo Explorer 8.0を使用する。
- LANおよび無線LANに接続したパソコンのデスクトップ画面 (Windows) を、本機に接続した市販のUSBマウスで操作することができます。
 - 添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているDesktop Control Utility 1.0を使用する。

注意

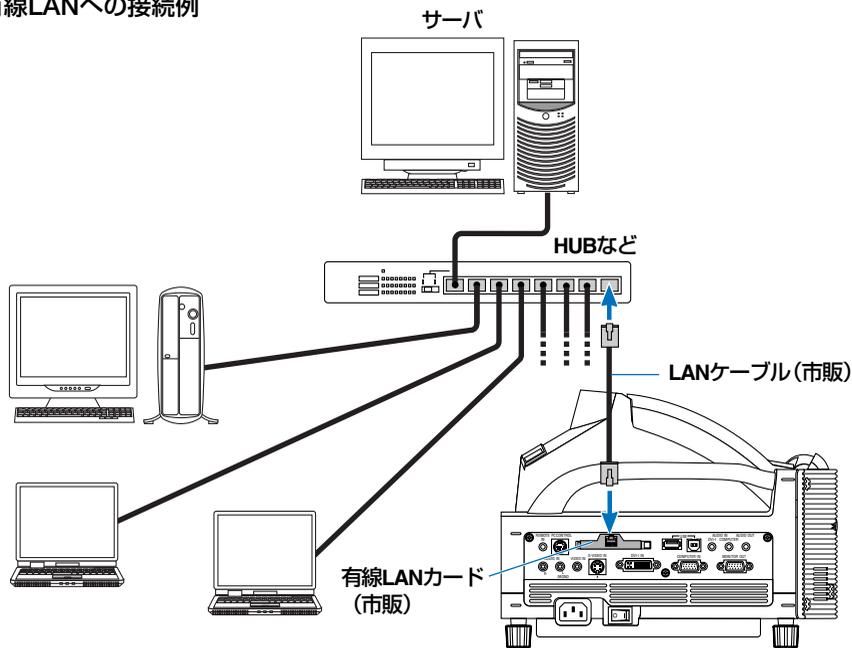
- パソコン側の無線LANカードは、Wi-Fi規格のものを使用してください。
- 本機で使用可能な有線LANカードについては、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

参考

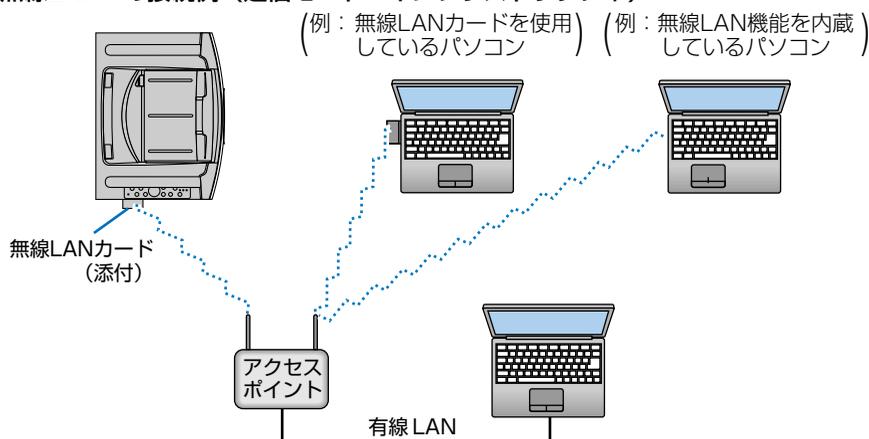
- PC Control Utility 3.0、Image Express Utility 2.0、Ulead Photo Explorer 8.0、Desktop Control Utility 1.0 など、User Supportware 2 CD-ROMに収録しているソフトウェアについては、User Supportware 2 CD-ROM内の「基本操作ガイド」をご覧ください。

接続例

(A) 有線LANへの接続例



(B) 無線LANへの接続例 (通信モード：インフラストラクチャ)

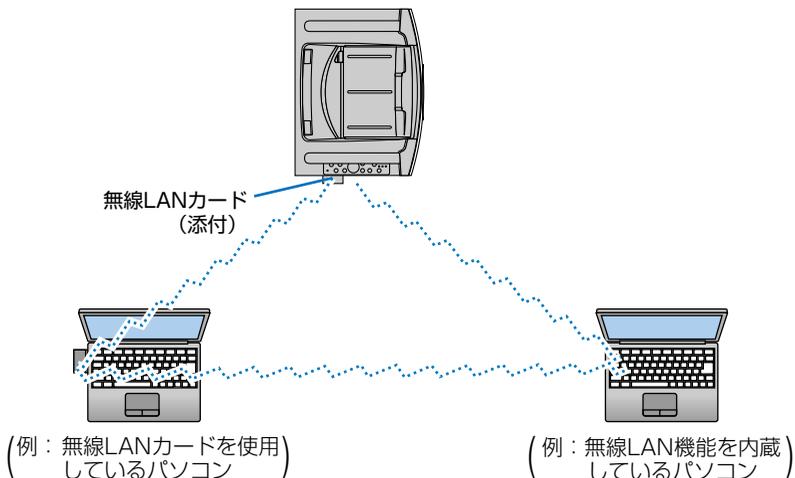


アクセスポイントを介して有線LANと接続する場合は、通信モードを「インフラストラクチャ」に設定します。

オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[設置]→[LANモード]で設定します。

[LANモード]画面では、[プロファイル]のページ内にある[詳細設定]を選択し[詳細設定]画面を表示します。続いて、[詳細設定]画面内の[通信モード]のページで[通信モード]→[インフラストラクチャ]を選択します。

(C) 無線LANへの接続例（通信モード：802.11アドホック）



パソコンと本機をピアツーピア (peer to peer) で通信する場合は、通信モードを「802.11 アドホック」に設定します。

オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [設置] → [LANモード] で設定します。
[LANモード] 画面では、[プロファイル] のページ内にある [詳細設定] を選択し [詳細設定] 画面を表示します。続いて、[詳細設定] 画面内の [通信モード] のページで [通信モード] → [802.11 アドホック] を選択します。

- 参考**
- 通信モードを「802.11アドホック」にした接続の場合は、IEEE 802.11b (最大速度11Mbps) 動作になります。

2-8. 無線LANカードやフラッシュメモリカードを本機にセットする

- 重要**
- LANカードやフラッシュメモリカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。必ずラベル面を上に向けて挿入してください。
 - 誤った操作を行うと、PCカードスロットにセットしているカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
 - 静電気による破損を防ぐため、LANカードに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

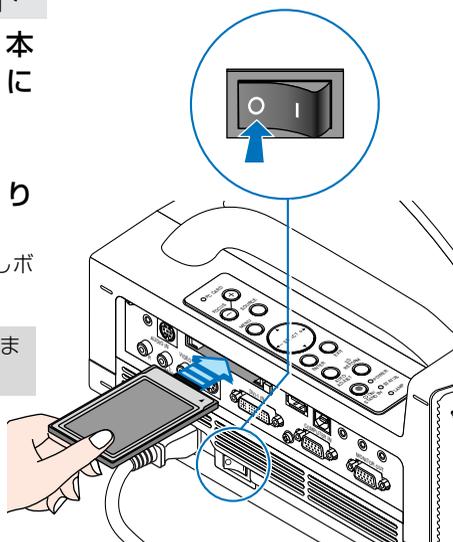
PCカードスロットへのセット

1 LANカードをセットする場合は、本機の主電源スイッチを「○ (切)」にする。

2 ラベル面を上にして水平にゆっくりと差し込む。

・完全に差し込まれると、PCカード取り出しボタンが少し手前に出てきます。

注意 ● 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



PCカードスロットからの取り出し

1 フラッシュメモリカードを取り出す場合は、PCカードアクセスインジケータが消灯していることを確認する。

注意 ● フラッシュメモリカードをセットしている場合、PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき (カード内のデータを読み書きしているとき) は取り出さないでください。カードが破損します。

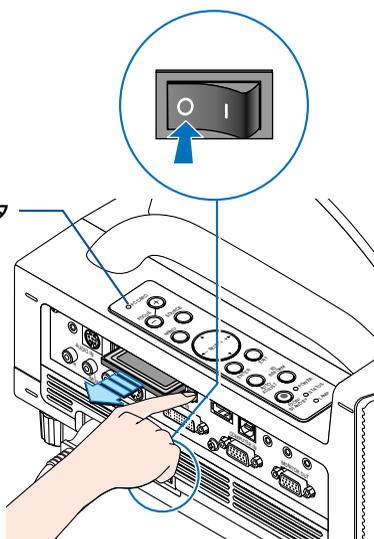
2 LANカードを取り出す場合は、本機の主電源スイッチを「○ (切)」にする。

PCカードアクセスインジケータ

3 PCカード取り出しボタンをゆっくりと押し。

セットしているカードが少し手前が出てきます。

4 カードをゆっくりと引き出す。



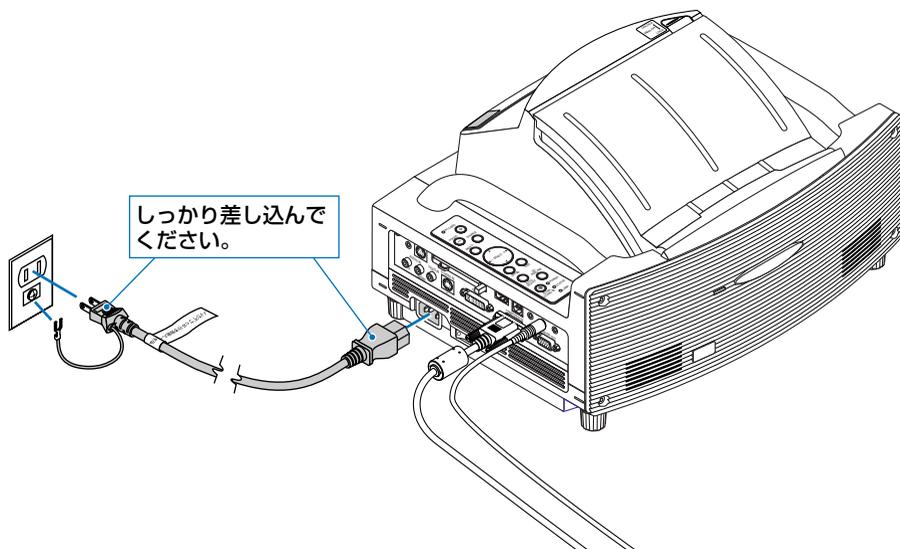
2-9. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子とAC100Vアース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。



注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



注意

- 次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
 - ・ ランプの点灯中
 - ・ 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約90秒間回転します）
 - ・ PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき（ビューワ使用中）またはLAN使用中。
フラッシュメモリカードやLANカード使用時はカードが壊れるおそれがあります。

第3章

映像を投写する(基本操作)

.....

3-1. 映像を投写する流れ	46
3-2. 本機の電源を入れる	47
3-3. 投写画面の位置と大きさを調整する (フォーカス調整) ...	49
3-4. 入力信号を選択する	56
3-5. 映像を自動調整する	58
3-6. 本機の音量を調整する	58
3-7. 糸巻き型または樽型の歪みを調整する (ピンクッション補正) ...	59
3-8. レーザーポインタを使う	61
3-9. 電子ペンを使う (WT615Jのみ)	62
3-10. 本機の電源を切る	66
3-11. あとかたづけ	67

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (▶47ページ)



ステップ 2

投写画面の位置と大きさを調整する (傾き調整、フォーカス調整)
(▶49ページ)



ステップ 3

入力信号を選択する (▶56ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合 (▶58ページ)
・本機の音量を調整する場合 (▶58ページ)



ステップ 5

糸巻き型または樽型の歪みを調整する (ピンクッション補正) (▶59ページ)



ステップ 6

プレゼンテーションを行う
・レーザーポインタを使う場合 (▶61ページ)
・電子ペンを使う場合 (WT615Jのみ) (▶62ページ)



ステップ 7

本機の電源を切る (▶66ページ)



ステップ 8

あとかたづけ (▶67ページ)

3-2. 本機の電源を入れる

準備：「2 設置と接続」(▶29ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

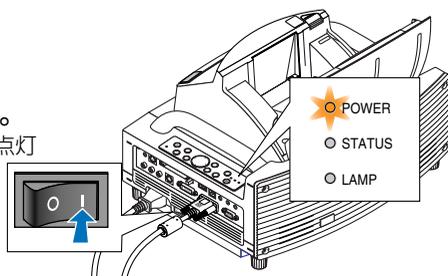


- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「○ (切)」の状態で行ってください。
主電源スイッチが「| (入)」の状態では電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入/切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる (▶このページ)
 - 1 「主電源スイッチ」を「| (入)」にする。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 2 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) ボタン)」を2秒以上押す。
本機の電源が入ります。
- 電源を切る (▶66ページ)
 - 1 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を押す。
画面に確認メッセージが表示されます。
 - 2 もう一度「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を押す。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 3 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○ (切)」にする。
本機の電源が切れます。

1 ミラーを開く。(▶20ページ)

2 主電源スイッチを「| (入)」にする。

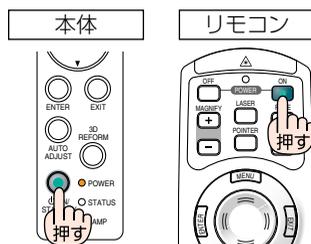
本機のPOWERインジケータがオレンジ色で点灯します(スタンバイ状態)。



3 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

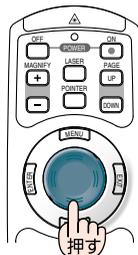
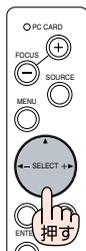
本機の電源が入り、スクリーンに映像が表示され始めます。

- ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
- ・信号が入力されていないときは、青い画面(ブルーバック：工場出荷状態)が表示されます。
- ・ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select (言語選択)」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

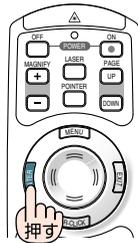
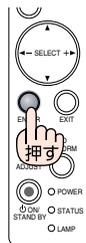


2秒以上押す

- ① (SELECT▼) ボタンを押して、青色のカーソルを [日本語] に合わせる。



- ② (ENTER) ボタンを押す。
選択した言語でメニューが表示されます。



- ③ (EXIT) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが消えます。



注意

- 次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ミラーが閉じているときは電源が入りません。
 - ・ミラー部分(光線の通り道)にあるセンサが異物を感知した場合は電源が入りません。ミラーを傷つけないように注意して、ミラー部分から異物を取り除いてください。
 - ・ミラー部分(光線の通り道)の底にある温度センサが高温を感知した場合は電源が入りません。ミラー部分の底のほこりなどを取り除いてください。
 - ・ミラー部分(光線の通り道)に強い照明を当てないでください。センサが誤動作して、電源が入らないことがあります。
 - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって)から電源を入れてください。
 - ・ランプ交換時間(目安)※に達した場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
 - ・電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅(6回周期の点滅)している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- POWERインジケータ点滅中(約1分間)は電源を切ることができません。
- 電源ON時、ランプが安定して点灯するまで(3~5分)映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後やランプの温度が高いときに電源を入れると、しばらくの間冷却ファンのみが回転し、そのあとスクリーンに映像が投写されます。

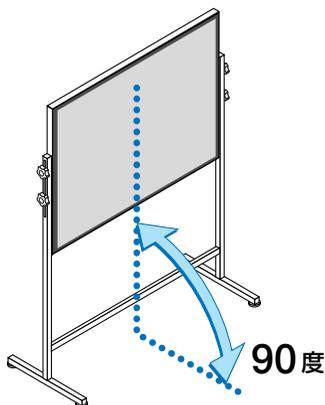
3-3. 投写画面の位置と大きさを調整する (フォーカス調整)

注意

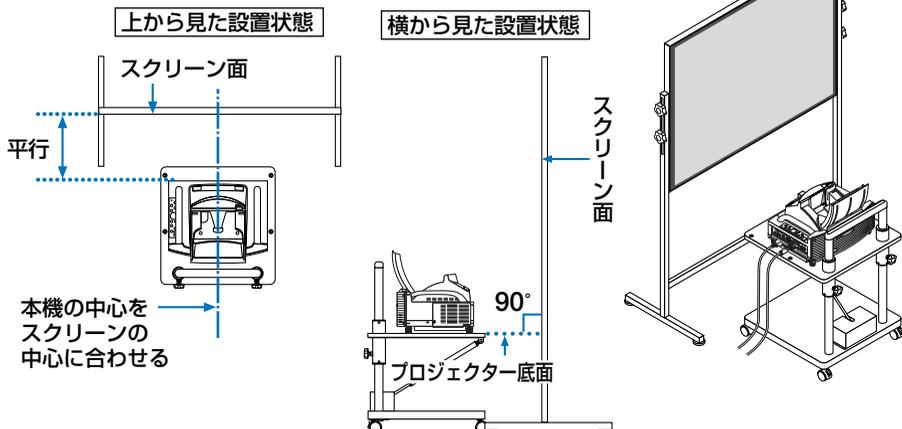
- 電源を入れたあと、ランプが安定して点灯するまで（約3～5分間）映像がちらつく場合があります。また、本機が安定するまでの間（約10分間）投写位置が若干変化する場合があります。
投写画面の調整は、ランプの点灯状態、および投写位置が安定してから行ってください。
- スクリーンが上下や左右に傾いていると台形歪みが大きくなります。次の手順に従って、スクリーンと本機の設置を適正に合わせてください。

WT615J／WT610J共通の操作

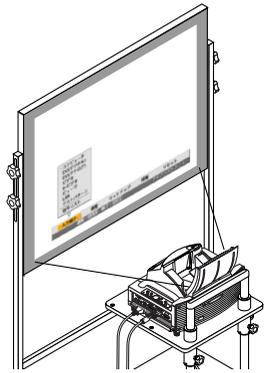
- 1** スクリーンが横から見てほぼ垂直に設置されているかを確認する。



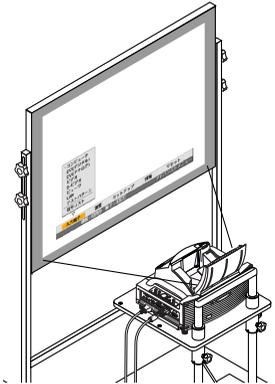
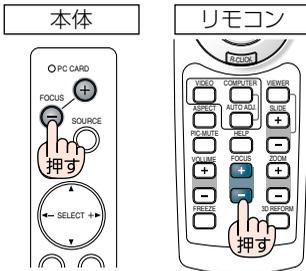
- 2** 本機がスクリーンとほぼ平行に設置されているかを確認する。



- 3** **(MENU)** ボタンを押す。
 オンスクリーンメニューが表示されます。



- 4** **(FOCUS +/-)** ボタンを押して、投写画面のピントを合わせる。



- 5** **(SELECT ▶)** ボタンを押して[セットアップ]にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 ・右の画面は、WT615Jのものです。



- 6** **(SELECT ▼/▲)** ボタンを押して[傾き情報表示]にカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。
 投写画面いっぱいにテストパターンが表示され、同時に投写画面の下側に[傾き情報表示]画面が表示されます。

【WT615Jの画面】

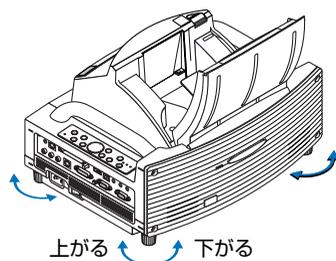


【WT610Jの画面】



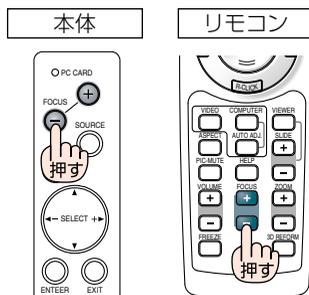
7 本機の底面の四隅にあるフットを回して、本機の傾きを調整する。

本機の傾きが変わると、それに応じて「傾き情報表示」画面の「前後」、「左右」のマーカ位置が変化します。「前後」、「左右」の調整バーのほぼ中央にマーカがくるように調整してください。

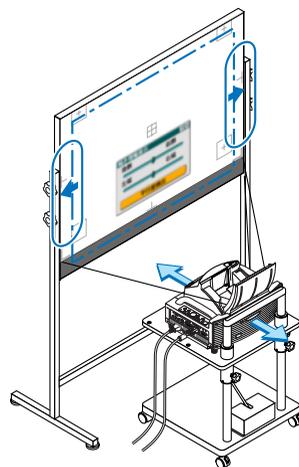


8 (FOCUS +/-) ボタンを押して、投写画面のピントを合わせる。

(FOCUS +/-) ボタンを押すと、ピントが合うと同時に、上下方向の台形歪み (▶ 54ページ) も調整されます。



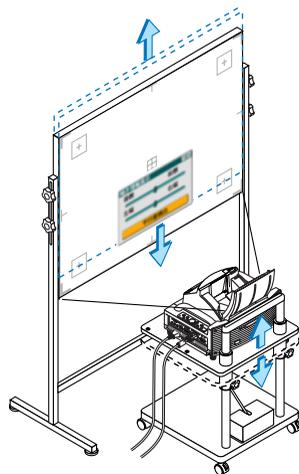
9 本機をスクリーンから離したり近づけたりして、投写画面の左右の端を、スクリーンの幅に合わせる。



10 スクリーンの高さや置き台の高さを調整して、投写画面の下端とスクリーンの下端を合わせる。

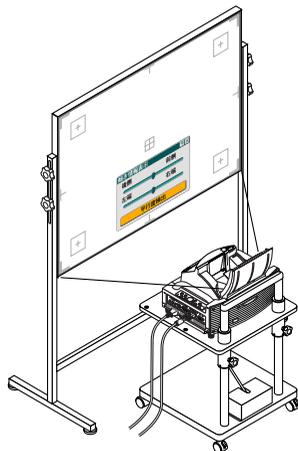


- 別売の専用置き台 (WT60ST) を使用した場合の高さ調整の方法は、専用置き台 (WT60ST) の取扱説明書をご覧ください。



11 (FOCUS +/-) ボタンを押して、もう一度投写画面のピントを合わせる。

- スクリーンから投写画面の位置がずれた場合は、手順 9 ~ 11 を繰り返してください。
- WT615Jでは、電子ペンを使って本機とスクリーンが平行に設置されているかを確認することができます。詳しくは、次の「本機とスクリーンの平行度を確認する」をご覧ください。



12 投写画面の調整が終わったら、(EXIT) ボタンを3回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

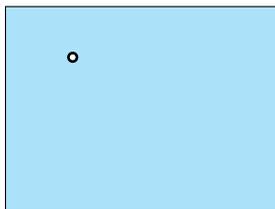
本機とスクリーンの平行度を確認する (WT615Jのみ)

電子ペンでスクリーンの2箇所をタッチして、本機とスクリーンが平行になっているかを確認することができます。

1 [傾き情報表示] 画面が表示されている状態で、(ENTER) ボタンを押す。



画面上に「○」マークが表示されます。



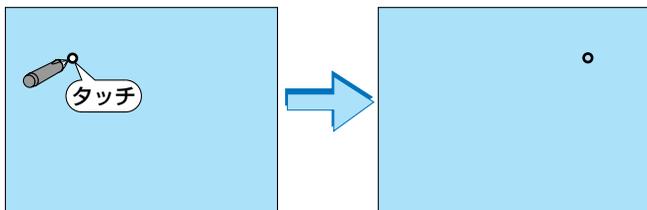
2 画面上の「○」マークの中心を電子ペンでゆっくりタッチする。

- ・「○」マークが消えるまでタッチしたままにしてください。

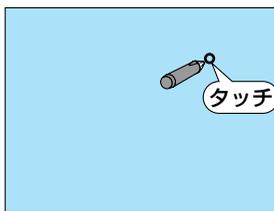
注意

- 電子ペンでスクリーンをタッチする際は、スクリーンに対して電子ペンをできるだけ垂直に立ててタッチしてください。電子ペンを傾けてタッチすると、誤差が大きくなります。

画面上の別な位置に「○」マークが表示されます。



3 画面上の「○」マークの中心を電子ペンでゆっくりタッチする。



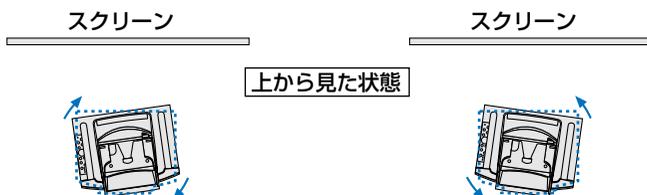
[平行度検出] 画面が表示されます。



[平行度検出] 画面のマーカ位置が中央になっている場合は、手順 **6** に進みます。

[平行度検出] 画面のマーカ位置が中央からずれている場合は、本機とスクリーンが平行に設置されていません。その場合は、次の手順 **4** に進みます。

- 4** 本機がスクリーンに対して平行になるように、左右方向に少しずつ向きを変える。



【マーカが左端に寄っているとき】
スクリーンに対して本機を少し右に
向けます。

【マーカが右端に寄っているとき】
スクリーンに対して本機を少し左に
向けます。

- 5** [平行度検出] 画面上の [再試行] を電子ペンでタッチする。

手順**2**～**4**を繰り返す。

- 6** [平行度検出] 画面のマーカ位置が中央になったら、電子ペンのAボタンを押す。

[傾き情報表示] 画面に戻ります。

- ・Aボタンは、0.5秒以上押しただまにしてください。



- 7** (EXIT) ボタンを3回押す。

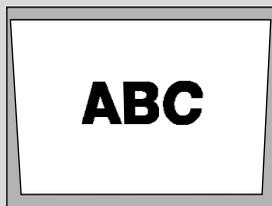
オンスクリーンメニューが消えます。

注意

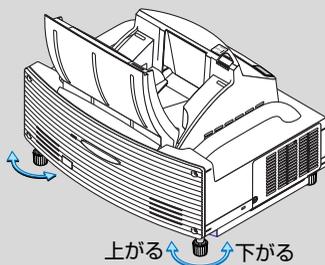
- 本機の光学特性上、台形歪みの他に、僅かに糸巻き型や樽型の歪み (▶59ページ) が生じる場合があります。
投写画面をスクリーンに合わせるには、まず51ページ～52ページの手順**9**～**11** (投写距離の調整→投写画面の高さ調整→フォーカス調整) を行い、投写画面の4つの角をスクリーンの四隅に合わせます。そのあと、糸巻き型または樽型の歪みが気になる場合は、投写する映像信号を選択したあと「3-7.糸巻き型または樽型の歪みを調整する (ピンクッション補正)」を行ってください。
- (FOCUS +/-) ボタンを押してピントを合わせても台形歪みが改善されない場合やアスペクトが合わない場合は、スクリーンまたは本機が上下左右に傾いていることが考えられます。

現象1

右の図のような台形歪みの場合は、スクリーンが僅かに上を向いているか、本機が僅かに上を向いています。



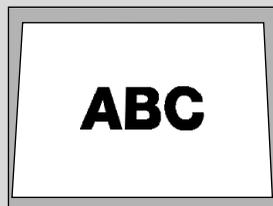
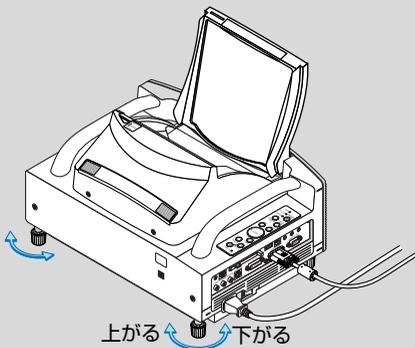
【対処】スクリーンの上部を手前に傾げるか、下図のように本機のフットを回して台形歪みを調整してください。



現象2

右の図のような台形歪みの場合は、スクリーンが僅かに下を向いているか、本機が僅かに下を向いています。

【対処】スクリーンの下部を手前に傾げるか、本機（スクリーン側の）フットを回して台形歪みを調整してください。



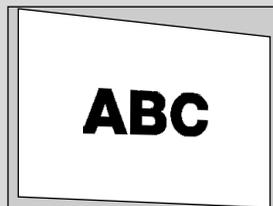
- 右下の図のように投写画面の上端と下端が平行にならず台形に歪んでいる場合は、スクリーンと本機が平行になっていないことが考えられます。

現象3

右の図のように投写画面の左側が上下に広がっている場合は、本機がスクリーンの真正面になっておらず、本機がスクリーンの中央より僅かに左側を向いています。

反対に、投写画面の右側が上下に広がっている場合は、本機がスクリーンの真正面になっておらず、本機がスクリーンの中央より僅かに右側を向いています。

【対処】スクリーンの真正面に本機を設置してください。
スクリーンと本機が平行になるように設置してください。



3-4. 入力信号を選択する

信号選択画面から選択する

- 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (SOURCE) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。

- 3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(SOURCE) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

- 4 (ENTER) ボタンを押す。

- ・ (ENTER) ボタンを押さずに約2秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。



投写する入力信号を自動検出する

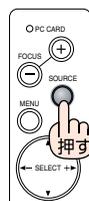
- 1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

- 2 (SOURCE) ボタンを1秒以上押す。

投写可能な信号を自動検出します。

- ・ 1秒以上 (SOURCE) ボタンを押すたびに、コンピュータ→DVI (デジタル) →DVI (アナログ) →ビデオ→S-ビデオ→ビューワ→コンピュータ・・・と映像 (入力信号) が切り替わります。入力信号がないときは次の信号に移ります。



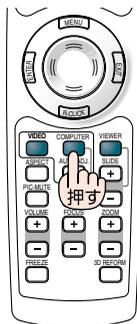
リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの (VIDEO)、(COMPUTER)、(VIEWER) ボタンを押す。

- (VIDEO) ボタンを押すごとに、ビデオ入力と S-ビデオ入力が切り替わります。
- (COMPUTER) ボタンを押すごとに、コンピュータ→DVI (デジタル) →DVI (アナログ) →コンピュータ→… と入力信号が切り替わります。



参考

- 入力信号がないときは、青い画面 (ブルーバック：工場出荷状態) が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、[160ページ](#)を参照してください。
- ビューワまたはLANに切り替えると、DVI-I音声入力端子 (AUDIO IN DVI-I) に入力されている音声スピーカーから出力されます。

3

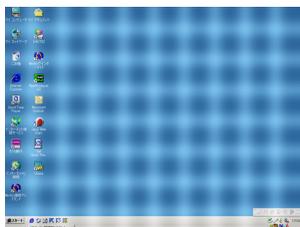
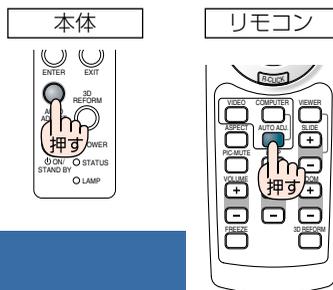
3-5. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

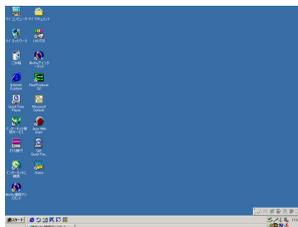
1 (AUTO ADJUST) ボタンを押す。

[砂時計] アイコンが表示され、しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

- ・リモコンで操作する場合は、(AUTO ADJ.) ボタンを押します。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

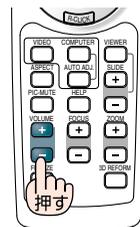
- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください。(▶ 124ページ)
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、160ページを参照してください。

3-6. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

1 リモコンの (VOLUME +/-) ボタンを押す。

- +側…音量が大きくなります。
- 側…音量が小さくなります。



参考

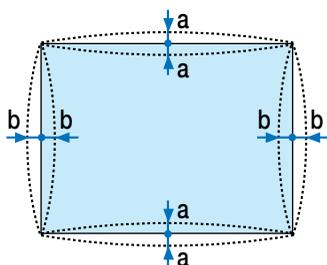
- 画面に本機のメニューが表示されていないときは、本体の (SELECT ◀▶) ボタンでも音量を調整できます。

3-7. 糸巻き型または樽型の歪みを調整する (ピンクッション補正)

糸巻き型または樽型の歪みが気になる場合は、[ピンクッション補正] で調整してください。

参考

- 本機における糸巻き型または樽型の歪み量について
本機の糸巻き型または樽型の歪み量は、水平方向、垂直方向、各2% (TVディストーション) 以下です (スクリーンサイズが40型~100型のとき)。
例えば、スクリーンサイズが60型 (幅121.9cm×高さ91.4cm) の歪み量は、水平方向は約12mm、垂直方向は約9mm以内です。本機では、スクリーンサイズ60型のときに、糸巻き型または樽型の歪み量がもっとも小さくなります。



- a : スクリーンの高さの1%以下
(TVディストーションとしては2%以下)
- b : スクリーンの幅の1%以下
(TVディストーションとしては2%以下)

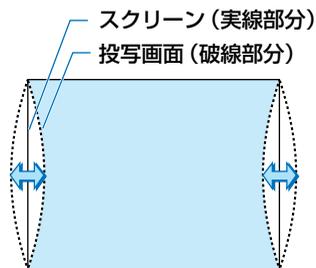
糸巻き型または樽型の歪み量が2% (TVディストーション) を超えるような場合は、本機とスクリーンの設置状態が適切か確認してください。

1 本体またはリモコンの (3D REFORM) ボタンを押す。

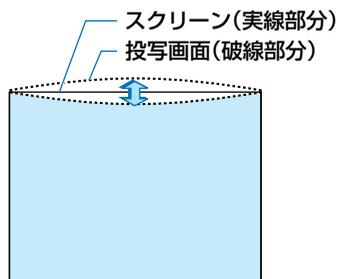
[ピンクッション補正] 画面が表示されます。



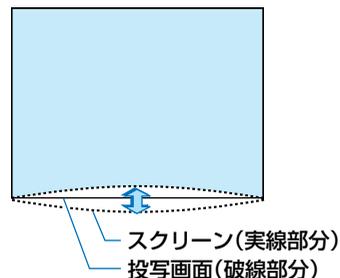
- (SELECT ▼/▲) ボタンを押して [左右] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押すと、投写画面の左右の凹凸を調整できます。



- (SELECT ▼/▲) ボタンを押して [上端] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押すと、投写画面の上端の凹凸を調整できます。



- (SELECT ▼/▲) ボタンを押して [下端] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押すと、投写画面の下端の凹凸を調整できます。



2 [ピンクッション補正] が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。
メニューに戻ります。

3 (EXIT) ボタンを数回押す。
オンスクリーンメニューが消えます。

注意

- [ピンクッション補正] 画面において、[上端] の調整値が「0」のときは [下端] の調整はできません。
また、[上端] の調整値が小さい値 (±5程度) のときは [下端] を調整しても画面はほとんど変化しません。
- [ピンクッション補正] 画面において、[下端] の調整値を「0」より小さくすると、投写画面の下端が僅かに欠けることがあります。欠けた部分 (下端) を表示する場合は、[デジタルズーム] で投写画面を縮小してください。
- すでに [4点補正] または [台形補正] が調整されていると、[ピンクッション補正] は選択できません。[ピンクッション補正] を表示する場合は、[4点補正] または [台形補正] の調整値を工場出荷状態に戻してください。

参考

- [ピンクッション補正] 画面は、オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [ベーシック] で表示することもできます。

3-8. レーザーポインタを使う

レーザーポインタ機能を使って、効果的なプレゼンテーションが行えます。リモコンの先端からレーザー光（赤い光）を出し、説明したいところをピンポイントで指すことができます。



警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあると視力低下・視覚障害の原因となります。

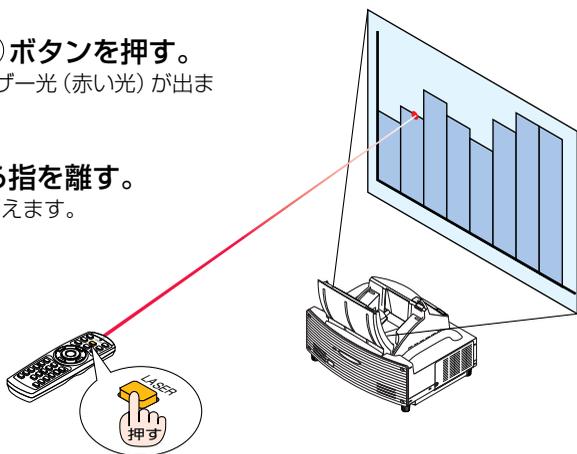
- ・レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない。
- ・レーザー光を人に向けない。
- ・子供には使用させない。

1 リモコンの (LASER) ボタンを押す。

リモコンの先端からレーザー光（赤い光）が出ます。

2 (LASER) ボタンから指を離す。

レーザー光（赤い光）が消えます。



参考

- リモコン底面に次の内容が記載されています。

クラス2レーザー製品 最大出力：1.0mW

波長：640nm～660nm

JIS C 6802:1998

製造者：INTERLINK ELECTRONICS

- レーザーの発光を禁止する場合は、電池ケースの中にあるレーザー光の有効／禁止スイッチを操作してください。

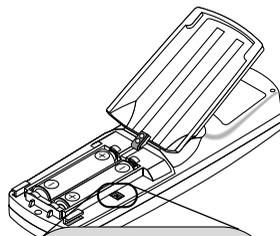
必要に応じて、細いボールペンの先などを使って設定してください。工場出荷状態は「有効」に設定されています。お子様が使用できる環境に置かれる場合は「禁止」に設定してください。

ON側… 有効（LASER）ボタンを押すとレーザーが発光します。）【工場出荷状態】

OFF側… 禁止（LASER）ボタンを押してもレーザーは発光しません。）



JQA



ON
OFF
こちらは
使用しません。

3

映像を投写する（基本操作）

3-9. 電子ペンを使う(WT615Jのみ)

電子ペンを使って「チョークボード」機能を操作すると、簡易的な“電子ホワイトボード”が実現できます。

重要

- 電子ペンをはじめて使用する場合、および本機またはスクリーンの設置位置を変更した場合は、電子ペンを使用する前に必ず「ペンキャリブレーション」を実行してください。
- [ピンクッション補正] (▶ 59ページ) を行う場合は、ペンキャリブレーションの前に行ってください。ペンキャリブレーションのあとに[ピンクッション補正]を行うと、電子ペンの座標の誤差が大きくなります。
- 電子ペンを使用するときは、電子ペン先端の黒い部分から先は持たないでください。黒い部分より先を持つと、電子ペンが正常に動作しません。

ペンキャリブレーション

スクリーン上を電子ペンでタッチしたときの位置（座標）と、WT615J本体のセンサで検出する座標を合わせます。

1 本体またはリモコンの (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

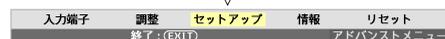
・コンピュータ
DVI(デジタル)
DVI(アナログ)
ビデオ
S-ビデオ
ビューワ
LAN
テストパターン
信号リスト



2 (SELECT ▶) ボタンを押して[セットアップ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

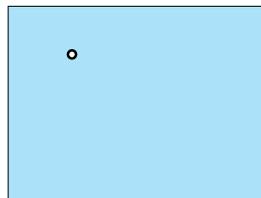
[ベーシック]にカーソルが移動します。

ベーシック | メニュー設定 | セキュリティ | 設定 | オプション |
ペンキャリブレーション
傾き情報表示
ピンクッション補正
4点補正
台形補正
ランプモード
メニューモード
表示言語 |
ノーマルモード
アドバンスメニュー
日本語



3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して[ペンキャリブレーション]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

画面上に「○」マークが表示されます。

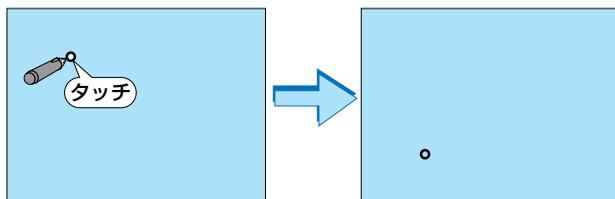


4 画面上の「○」マークの中心を電子ペンでゆっくりタッチする。

- ・「○」マークが消えるまでタッチしたままにしてください。

注意 ● 電子ペンでスクリーンをタッチする際は、スクリーンに対して電子ペンをできるだけ垂直に立ててタッチしてください。電子ペンを傾けてタッチすると、誤差が大きくなります。

画面上の別な位置に「○」マークが表示されます。



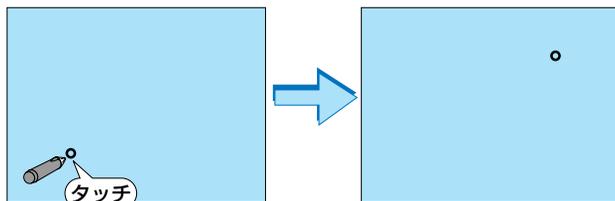
参考

- [ペンキャリブレーション] を中止する場合は、電子ペンのAボタンを0.5秒以上押します。



5 画面上の「○」マークの中心を電子ペンでゆっくりタッチする。

画面上の別な位置に「○」マークが表示されます。



6 手順4 5を何回かくり返す。

ペンキャリブレーションが終了します。

注意

- 次の条件を満たしていないときは、[ペンキャリブレーション] は選択できません。
 - ・ 投写方法：「デスク／フロント」、「天吊り／フロント」
 - ・ スクリーンタイプ：「4：3」
 - ・ アスペクト：「4：3」
 - ・ 解像度：「フル」
 - ・ デジタルズーム：「100 (%)」
 - ・ [4点補正]、[台形補正] の補正をしていないとき。

チョークボード

電子ペンを使って、本機の「チョークボード」機能(▶ 77ページ)を操作します。

注意

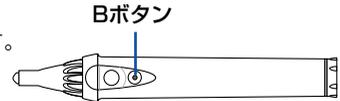
- 電子ペンでスクリーンをタッチしたり線を引いたりする際は、スクリーンに対して電子ペンをできるだけ垂直に立ててタッチしてください。
電子ペンを傾けてタッチすると、ペン先と線の間隔が広がります。また、20度以上傾けてタッチすると、描画されない場合があります。

●チョークボードをスタートする

1 電子ペンのBボタンを押す。

画面の左下にチョークボードツールバーが表示されます。

- ・ Bボタンは、0.5秒以上押したままにしてください。



●線を引く

1 (描画種別) アイコンを電子ペンでタッチし、(ペン) アイコンをタッチする。

描画モードになります。

2 (ペンの太さ) アイコンをタッチし、ペンの太さをタッチする。

ペンの太さが選択されます。

3 (描画色) アイコンをタッチし、線の色をタッチする。

描画色が選択されます。

4 電子ペンのペン先をスクリーンに軽く接触したまま文字や図形を描く。

電子ペンの軌跡通りに図形が描かれます。



●線を消す

1 (ペン) アイコンをタッチし、(消しゴム) アイコンをタッチする。

消去モードになります。

2 (ペンの太さ) アイコンをタッチし、ペン(この場合は[消しゴム])の太さをタッチする。

3 電子ペンのペン先をスクリーンに軽く接触したまま消したい部分へ移動する。

電子ペンの軌跡通りに線が消えます。

●画面全体を消去する

1 (全消去)アイコンをタッチする。

描画した絵柄がすべて消去されます。

●チョークボードを終了する

1 (終了)アイコンをタッチする。

チョークボード画面が閉じます。

参考

- WT610Jの場合は、本機にUSBマウスを接続すると、「チョークボード」機能を使用できます。( 74ページ)
- 「チョークボード」で描いた絵柄は、「キャプチャ」機能を使ってフラッシュメモリカードに保存できます。
WT615Jの場合は、添付のUSBメモリにも保存できます。( 80ページ)
- eBeam Interactiveソフトウェアのご案内
WT615Jの電子ペン機能をさらに便利に使っていただけのように、対話型デジタルプレゼンテーションツール「eBeam Interactive (イービーム・インタラクティブ)ソフトウェア」をご用意しています。
eBeam Interactiveソフトウェアを使うと、電子ペンで描いた絵柄をPowerPointファイルなどに保存することができます。
eBeam Interactiveソフトウェアは、当社プロジェクターのサポートページ(下記URL)からダウンロード(無料)してお使いいただけます。
ダウンロードする前に、ダウンロードページに記載されている使用条件や制限事項等をご確認ください。

<http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/download/index.html>

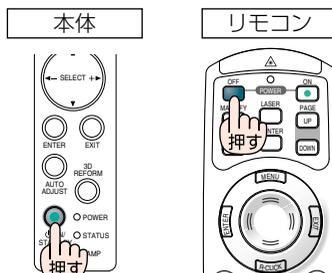


3-10. 本機の電源を切る

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

画面に確認メッセージが表示されます。

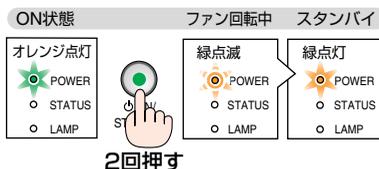
- ・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。



2 もう一度POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

電源が切れPOWERインジケータがオレンジ色に変わります (スタンバイ状態)。

- ・リモコンで操作する場合は、もう一度POWER (OFF) ボタンを押します。

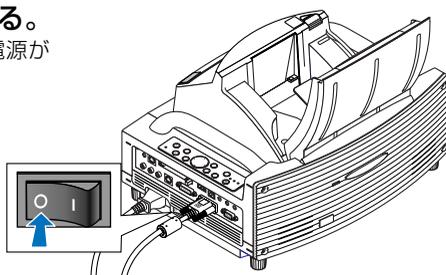


注意

- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後のPOWERインジケータ点滅中 (約1分間) は電源を切ることができません。

3 主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。



注意

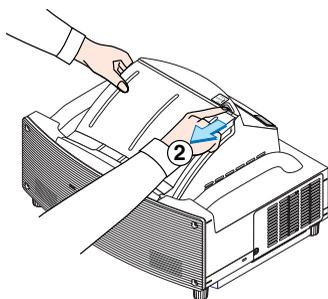
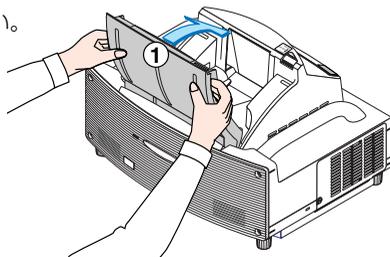
- 次のような場合は、主電源スイッチを切ったり電源プラグをコンセントから抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。
 - ・ランプの点灯中。
 - ・電源を切ったあとのファンの回転中 (ファンは約90秒間回転します)。
 - ・PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき (ビューワ使用中)。
フラッシュメモリカードやLANカード使用時はカードが壊れるおそれがあります。

3-11. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○ (切)」になっていることを確認してください。

1 ミラーを閉じる。

・ミラーを閉じたら、ミラーをロックしてください。



2 電源コードを取り外す。

3 各種信号ケーブルを取り外す。

4 添付の本体カバーをかぶせる。

3

映像を投写する(基本操作)

第4章

便利な機能

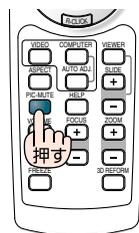
-
- 4-1. 映像と音声を消去する 70
 - 4-2. 動画を静止画にする 70
 - 4-3. ポインタを表示／非表示／移動する … 71
 - 4-4. 映像を拡大する 72
 - 4-5. 本機の操作説明を投写する 73
 - 4-6. 市販のUSBマウスを使って操作する 74
 - 4-7. 本機のリモコンでパソコンの
マウス操作を行う 76
 - 4-8. 投写画面に文字や図形を描く
(チョークボード) 77
 - 4-9. 本機で投写している画像を保存する
(キャプチャ) 80
 - 4-10. セキュリティを設定して無断使用を
防止する 81
 - 4-11. USBメモリを使用する 86
 - 4-12. HTTPを使用したブラウザによる操作 … 87
 - 4-13. ネットワーク接続されたパソコンを本機を使って
操作する (Desktop Control Utility 1.0) 90

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声が一時的に消えます。

- ・もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



参考

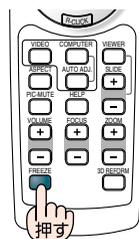
- 画像は消えますが、メニュー表示は消えません。

4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- ・もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。

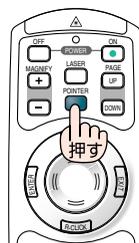


参考

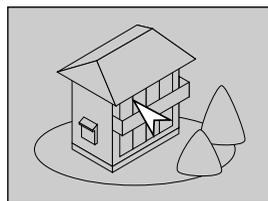
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像 (静止画) を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。
- (FREEZE) ボタンを押して静止画にした画面をフラッシュメモリカードに保存することができます (キャプチャ)。(80ページ)

4-3. ポインタを表示／非表示／移動する

1 リモコンの **POINTER** ボタンを押す。

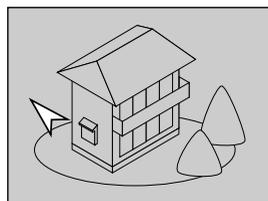


画面にポインタが表示されます。



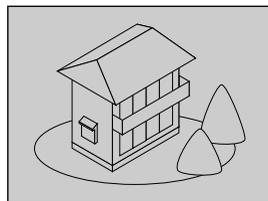
2 **SELECT** **▼▲▶◀** ボタンを押す。

ポインタが移動します。



3 再び **POINTER** ボタンを押す。

ポインタが消えます。



参考

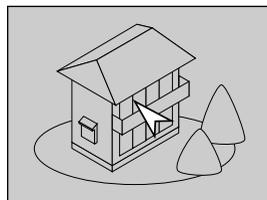
- ポインタの形状はオンスクリーンメニューの [セットアップ] → [ツール] → [ポインタ] で選択できます。( 148ページ)

4

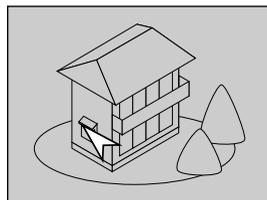
便利な機能

4-4. 映像を拡大する

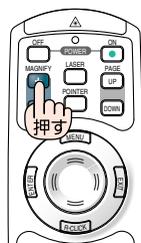
- 1** リモコンの (POINTER) ボタンを押す。
画面にポインタが表示されます。



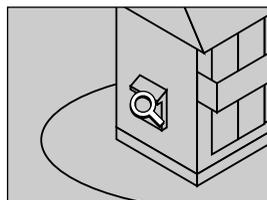
- 2** (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押して、拡大したい位置までポインタを移動する。



- 3** (MAGNIFY+) ボタンを押す。
押すごとに画像が拡大します。
・最大4倍まで拡大できます。
・画像が拡大すると、ポインタが「🔍」になります。



- 4** (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押す。
拡大した画像の表示領域が移動します。



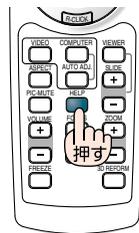
- 5** (MAGNIFY-) ボタンを押す。
押すごとに画像が縮小します。
・拡大する前の画像に戻ると、「🔍」が通常のポインタ表示に戻ります。

参考

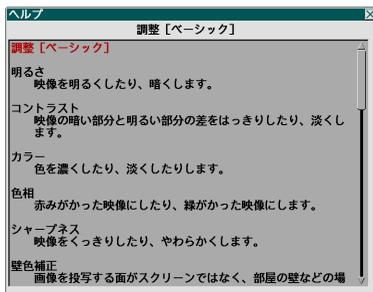
- ポインタを表示しなくても、(MAGNIFY+) ボタンで画面を拡大することができます。ポインタが表示されていない場合は、画面を中心にして拡大(おおよもとのサイズに戻る)します。
また、画面を拡大したとき、(SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押して投写範囲を移動することができます。

4-5. 本機の操作説明を投写する

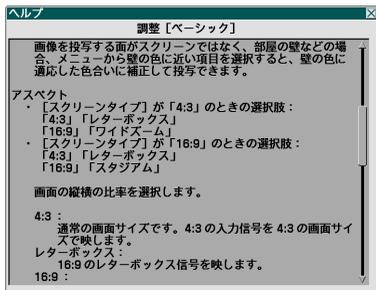
1 リモコンの **(HELP)** ボタンを押す。



- ・メニューが表示されていないときは、「ヘルプの使い方」画面が表示されます。
- ・メニューが表示されているときは、カーソルが合っている機能の説明画面が表示されます。



2 **(SELECT ▼/▲)** ボタンを押して、説明画面をスクロールする。



3 **(EXIT)** ボタンを押す。
ヘルプ画面が閉じます。

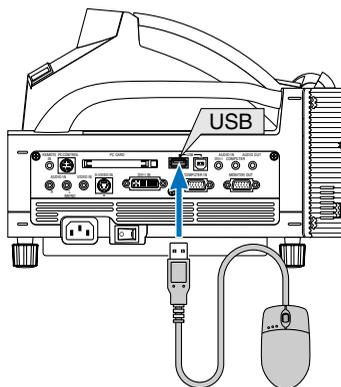
4-6. 市販のUSBマウスを使って操作する

市販のUSBマウスを本機に接続すると、USBマウスを使って、オンスクリーンメニューなどを操作することができます。

USBマウスの接続

1 USBマウスの平形プラグを、本機のUSBポート(タイプA)に差し込む。

- USBマウスを接続すると、画面にマウスポインタが表示されます。
- 約10秒間マウス操作を行わないと、マウスポインタは消えます。
- 再びマウス操作を行うと、マウスポインタが表示されます。



USBマウスでの操作

1 USBマウスで左クリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

- オンスクリーンメニューが表示されているときに、メニュー画面以外のところをクリックすると、メニューが消えます。



2 選択したい項目にマウスポインタを移動し、左クリックする。

項目が選択されます。

【操作例】



- 調整は [◀ ▶] を左クリックします。
調整バーをクリックしたまま、左右にドラッグ(移動)して調整することもできます。
- 調整を確定する場合は、[×] を左クリックします。
- [?] を左クリックすると、その項目の [ヘルプ] を表示します。
- メニュー画面(調整ウインドウ)のタイトルバー部分を左クリックしたままドラッグすると、メニュー画面の表示位置を移動できます。

本機に接続したUSBマウスでパソコンのマウス操作を行う

1 市販のUSBマウスを本機に接続する。

(→前ページ)

2 添付のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続する。

(→次ページ)

注意

- 本機にUSBマウスを接続して操作する場合、本機のUSBポート（タイプB）の接続状態によって、動作が異なります。
 - 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているとき
本機に接続しているUSBマウスで、パソコンのマウス操作が行えます。
ただし、オンスクリーンメニュー表示中、ビューワ表示中、チョークボード表示中、および（**MAGNIFY+**）ボタンによる）画面拡大中は、USBマウスで本機の操作が行えません。
オンスクリーンメニューを表示するには、本体またはリモコンの（**MENU**）ボタンを押します。
 - 本機とパソコンが接続されていないとき
本機に接続しているUSBマウスで、本機のオンスクリーンメニューなどを操作できます。
- Windows XP/2000/Me/98以外のOSでは使用できません。
- USBマウスによっては、本機で使用できないものがあります。
使用可能なUSBマウスについては、当社ホームページ (http://www.nec-display.com/support/projector/move_check.html) をご覧ください。

参考

- マウスポインタの形状（デザイン）は変更することができます。オンスクリーンメニューの [セットアップ] → [ツール] の [マウス設定] で選択します。
(👉 148ページ)
- “スクロールボタン” または “スクロールホイール” 付きのUSBマウスの場合は、次の操作が行えます。
 - [ヘルプ] などスクロールバーが表示されているメニュー上で、“スクロールボタン” または “スクロールホイール” を使ってスクロールすることができます。
 - 各種調整メニュー上で、“スクロールボタン” または “スクロールホイール” を使って調整バーを動かすことができます。
 - メニュー表示以外の部分にマウスポインタを動かして “スクロールボタン” または “スクロールホイール” をクリックすると、チョークボードツールバーの表示/消去ができます。

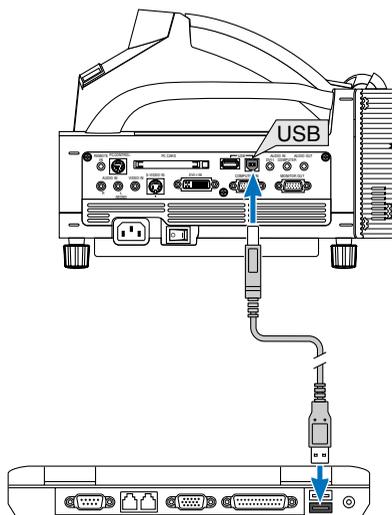
4-7. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

本機のリモコンを使って、本機と接続しているパソコンのマウス操作を行うことができます。

USBケーブルの接続

添付のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続します。

- 1 USBケーブルの角形のプラグを本機のUSBポート(タイプB)に差し込む。
- 2 USBケーブルの平形のプラグをパソコンのUSBポート(タイプA)に差し込む。



注意

- PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機の場合、Windows 98/Me/2000/XP以外のOSでは使用できません。
- USBポートからプラグを抜いて再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの差し込みを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (PAGE UP/DOWN) ボタン …画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン……マウスポインタを移動します。
- (L-CLICK) ボタン……………マウスの左クリックの働きをします。
- (R-CLICK) ボタン ……………マウスの右クリックの働きをします。

注意

- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲◀▶) ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプが取扱説明書をご覧ください。

4-8. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)

市販のUSBマウスを本機に接続したり、電子ペン^(注)を使用すると、あたかも“ホワイトボードに図形を描く”ように、投写画面にフリーハンドの曲線や四角形を描くことができます。この機能を「チョークボード」と言います。

(注) 電子ペンは、WT615Jでのみ使用できます。

- チョークボード画面は、背景色を変更することができます。オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[ツール]→[背景色]で選択してください。背景色を変更すると、変更する前に描いていた絵柄が消去されます。
- PCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットすると、チョークボード画面をキャプチャすることができます。(▶80ページ)
- チョークボードを終了しても、電源を切るまでは、描いた絵柄は本体内のメモリに記憶されています。チョークボードを終了したあと、電源を切らなければ、再びチョークボードをスタートしたときに、以前描いた絵柄が表示されます。ただし、他の入力信号に切り替えたときは、絵柄が消去されます。

チョークボードをスタートする



- USBマウスに“スクロールボタン”または“スクロールホイール”が付いていない場合は、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[ツール]→[チョークボード]を選択してください。

準備：本機に市販のUSBマウスを接続してください。(▶74ページ)

または、電子ペンを用意してください。(▶27ページ)

ここでは、USBマウスを使ったときの操作を説明しますが、電子ペンでも同様に操作できます。

1 USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックする。

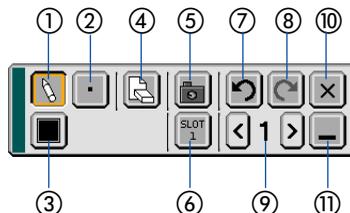
画面の左下にチョークボードツールバーが表示されます。

- ・電子ペンの場合は、Bボタンを0.5秒以上押したままにしてください。



(注) この画面はWT615Jのものです。

チョークボードツールバー(各アイコンの働き)



(注) この画面はWT615Jのものです。

チョークボードツールバーの各アイコンは、USBマウスの左クリックで選択します。電子ペンの場合は、ペン先でタッチして選択します。

アイコン名	働 き
① 描画種別	描画モードに切り替えます。描画モードでは、線や四角を描いたり、それらを消したりできます。 ペン ()、消しゴム ()、四角枠 ()、四角塗り () の4つの中から選択します。
② ペンの太さ	ペンや消しゴムの太さを選択します。
③ 描画色	ペン、四角枠、四角塗りの色を選択します。
④ 全消去	選択されている [背景色] ( 147ページ) で塗りつぶします。 すでに描画してある絵柄は、すべて消去されます。
⑤ キャプチャ	チョークボードで描いた絵柄と投写画面を合成し、キャプチャ (画面の保存) を実行します。PNG形式の画像ファイルで保存されます。
⑥ ドライブ (注) WT610Jでは表示されません。	キャプチャ (画面の保存) 先を選択します。[SLOT1]は、本機のPCカードスロットを指しています。 本機のUSBポート (タイプA) にUSBメモリを接続したときにキャプチャ先を切り替えることができます。
⑦ もとに戻す (UnDo)	少し前の絵柄に戻します。クリックするごとに、時間をさかのぼって絵柄を戻していきます。 ただし、描いた絵柄の履歴を記憶しているメモリの分しかさかのぼることはできません。
⑧ やりなおす (Redo)	[もとに戻す] で戻した絵柄を、あとの状態に進めます。 [もとに戻す] で戻した絵柄を修正すると、[やりなおす] は選択できなくなります。
⑨ ページ切り替え、ページ番号表示	チョークボードでは、4つのページを持っており、次ページ ()、前ページ () で表示を切り替えることができます。
⑩ 終了	チョークボードを終了します。 描画した絵柄は、電源を切るまでメモリ内に記憶されています。電源を切ると、絵柄はクリアされます。
⑪ 非表示	一時的にチョークボードツールバーを消します。 画面上で右クリックすると、チョークボードツールバーが表示/非表示されます。

線を引く

-  (描画種別) アイコンを左クリックし、
 (ペン) アイコンを左クリックして選択する。

マウスポインタをチョークボードツールバーから離すと、マウスポインタがペンポインタに変わります。

- 2  (ペンの太さ) アイコンを左クリックし、ペンの太さを左クリックして選択する。
- 3  (描画色) アイコンを左クリックし、線の色を左クリックして選択する。
- 4 左クリックしたままマウスを移動する。
マウスの軌跡通りに線が描かれます。

線を消す

- 1  (ペン) アイコンを左クリックし、 (消しゴム) アイコンを左クリックして選択する。
マウスポインタをチョークボードツールバーから離すと、マウスポインタが消しゴムポインタに変わります。
- 2  (ペンの太さ) アイコンを左クリックし、ペン(この場合は[消しゴム])の太さを左クリックして選択する。
- 3 左クリックしたままマウスを移動する。
マウスの軌跡通りに線が消されます。

画面全体を消去する

- 1  (全消去) アイコンを左クリックする。
描画した絵柄がすべて消去されます。

チョークボードを終了する

- 1  (終了) アイコンを左クリックする。
チョークボード画面が閉じます。

参考

- USBマウスの“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックしても、チョークボードを終了できます。

4-9. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)



- キャプチャ機能を使用して映像・写真・イラストなどを取り込んだり、取り込んだものを加工または編集する場合、著作権者の目的となっている著作物は、個人で使用する以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。
- WT615Jにおいて、キャプチャ機能で表示画面をUSBメモリに保存する場合は、必ずWT615Jに添付しているUSBメモリを使用してください。市販のUSBメモリを使用した場合は、USBメモリが壊れるおそれがあります。

1 フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットする。(42ページ)

2 キャプチャする映像を投写する。

3 リモコンの(FREEZE) ボタンを押す。
映像が静止画になります。

4 (MENU) ボタンを押す。
キャプチャメニューが表示されます。
・右の画面はWT615Jのもので



5 [キャプチャ] にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。

画面がフラッシュメモリカードに保存されます。

- ・本機のUSBポート(タイプA)にUSBメモリを接続しているときは、キャプチャメニューの[ドライブ]で保存先を選択してください。^(注)

(注) WT610Jでは、USBメモリは使用できません。



- キャプチャ中は、「砂時計」アイコンが表示されます。このとき、フラッシュメモリカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。フラッシュメモリカードやUSBメモリが破損します。

キャプチャ(保存処理)が終了すると、「砂時計」アイコンが消えます。

6 [終了] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キャプチャメニューが消えます。

7 リモコンの(FREEZE) ボタンを押す。

静止画の状態が解除されます。

- 別な画面をキャプチャする場合は、上の手順 3 ~ 7 を繰り返します。
- キャプチャした画面を本機で投写する場合は、信号選択画面で [ビューワ] を選択してください。
(▶ 115ページ)

注意

- フラッシュメモ리카ードを本機にセットしていないと [キャプチャ] は選択できません。
- キャプチャされた画像ファイルのサイズは、入力信号の解像度により異なります。
- キャプチャした画像は、JPEG形式で圧縮されるため、若干画質が劣化します。
- キャプチャには5~10秒かかります。解像度や給柄によって、さらに時間がかかる場合があります。
- 正常に保存できなかつたり、フラッシュメモ리카ードの空き容量がなくなった場合は、カードエラーが表示されます。
- DVI (デジタル) 入力時の映像はキャプチャできません。

参考

- チョークボード画面をキャプチャすることもできます。(▶ 77ページ)

4-10. セキュリティを設定して無断使用を防止する

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

キーワードを入力し、セキュリティを有効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。



2 (SELECT) ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

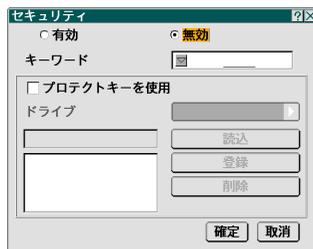
[ベーシック] にカーソルが移動します。



3 (SELECT▶) ボタンを2回押して [セキュリティ] にカーソルを合わせる。

4 (SELECT▼) ボタンを押して [セキュリティ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティ画面が表示されます。



5 (SELECT▼) ボタンを1回押して [キーワード] 入力欄にカーソルを合わせ、

(ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

ここでは、「1234」の入力を例として説明します。



重要

- キーワードは、忘れないようにメモしておいてください。
- キーワードにスペース (SP) を含めることはできません。

1 [1] にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。

[キーワード] 入力欄に「*」と表示されます。

2 (SELECT▶) ボタンを1回押して、[2] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

[キーワード] 入力欄の表示が「**」に変わります。

3 手順**2**と同様に [3] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

[キーワード] 入力欄の表示が「***」に変わります。

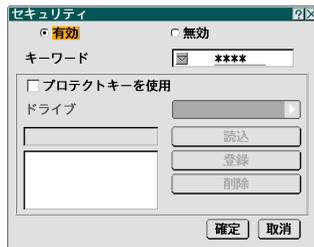
4 手順**2**と同様に [4] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

[キーワード] 入力欄の表示が「****」に変わります。

5 (SELECT▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が消えます。

- 6** **SELECT ▲** ボタンを1回押して「無効」にカーソルを合わせ、**SELECT ◀** ボタンを押す。
「有効」にカーソルが合います。



- 7** **SELECT ▼** ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押す。
確認画面が表示されます。

- 8** メッセージを確認し、**ENTER** ボタンを押す。
[セキュリティ]が設定されました。

参考

- USBメモリやフラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録することができます。
USBメモリやフラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録しておく、本機の電源を入れる際に、そのUSBメモリまたはフラッシュメモリカードを挿入することによりキーワード入力操作を省略できます。(133ページ)

セキュリティを確認する

本機の電源を一旦切り、再び電源を入れてセキュリティの設定を確認します。

- 1** 本機の電源を切るために、**POWER (ON/STAND BY)** ボタンを2回押す。
ランプが消灯し、POWERインジケータがオレンジ色で点滅します。
POWERインジケータがオレンジ色の点滅から点灯に変わるまで、しばらく待ちます。
- 2** POWERインジケータがオレンジ色の点灯に変わったら、主電源スイッチを「○(切)」にする。
本機の電源が切れます。
- 3** 再度主電源スイッチを「I(入)」にする。
POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、スタンバイ状態になります。

4 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

本機の電源が入ります。

投写画面の下部に「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」と表示されません。

5 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。



6 (ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

7 82ページの手順①～⑤を参照し、「1234」と入力する。

1文字入力するごとに「*」が表示されます。キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。

8 文字入力が終わったら、キーワード入力画面で [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード入力画面が消え、本機が使用できるようになります。

セキュリティの設定を無効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

↑
参考

- 本機の電源を入れた直後など、投写画面の下部に「セキュリティロック中です。」と表示されているときに (MENU) ボタンを押すと、キーワード入力画面が表示されます。
そのときは、もう一度 (MENU) ボタンを押すと、オンスクリーンメニューが表示されます。

2 (SELECT ▶) ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

[ベーシック] にカーソルが移動します。

3 (SELECT▶) ボタンを2回押して、
[セキュリティ]にカーソルを合わせる。

4 (SELECT▼) ボタンを押して [セキュリ
ティ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボ
タンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。



5 (ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

6 82ページの手順①～⑤を参照し、
「1234」と入力する。

1文字入力ごとに「*」が表示されます。
キーワード入力欄に実際の文字は表示されません。

7 文字入力が終わったら、キーワード入
力画面で [確定] にカーソルを合わ
せ、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード入力画面が消え、セキュリティ画面が
表示されます。

8 [有効] にカーソルが合っていること
を確認し、(SELECT▶) ボタンを押して
[無効] にカーソルを合わせる。

9 (SELECT▼) ボタンを押して [確定] に
カーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを
押す。

[セキュリティ]が無効に設定されました。



注意

- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、お客様お問い合わせ窓口 (NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター) (📄 裏表紙) にご連絡ください。

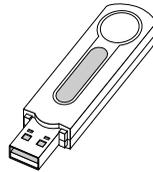
4-11. USBメモリを使用する

本書では、データの保存場所として、フラッシュメモリカードを主に説明していますが、本機のビューワやセキュリティ（プロテクトキー）において、USBメモリが使用できます。（WT615Jには、USBメモリを添付しています。）



- WT615Jにおいて、キャプチャ機能で表示画面をUSBメモリに保存する場合は、必ずWT615Jに添付しているUSBメモリを使用してください。市販のUSBメモリを使用した場合は、USBメモリが壊れるおそれがあります。

- 本機で使用可能なUSBメモリについては、当社ホームページ http://www.nec-display.com/support/projector/move_check.html でご確認ください。
- USBメモリの端子を、本機のUSBポートに挿入します。
- ビューワのフォルダー一覧（▶ 99ページ）、キャプチャメニュー^(注)（▶ 80ページ）の[ドライブ]で「USB1」～「USB4」を選択します。USBドライブは最大4つまで認識できます。
(注) WT610Jのキャプチャメニューでは、USBメモリは選択できません。
- セキュリティでプロテクトキー（▶ 133ページ）として使用する場合は、[ドライブ]で「USB1」～「USB4」を選択します。



USBメモリ



- 本機にUSBマウスを接続しているときは、USBメモリは使用できません。
- USBメモリのアクセスランプが点灯・点滅しているとき（メモリ内のデータを読み書きしているとき）は、次の操作に注意してください。誤った操作を行うと、USBメモリが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
 - ・本機のUSBポートからUSBメモリを抜かないでください。
 - ・本機の主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。
- 「USB1」～「USB4」のドライブ表示は、USBメモリが本機に接続されているときのみ表示されます。
- USBメモリによっては、本機のプロテクトキーとして使用できないものがあります。

4-12. HTTPを使用したブラウザによる操作

概要

HTTPサーバ機能を使用することにより、Webブラウザから本機を操作することができます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTPサーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスまたはURLの入力欄へ

http://〈本機のIPアドレス〉/index.html と指定することで行えます。

注意

- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れ直してください。
- HTTPサーバ機能と添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録されているPC Control Utility 3.0を同時に使用しないでください。接続できなかったり、通信に時間がかかることがあります。

使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください。(▶40ページ)

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用しないことを推奨します。

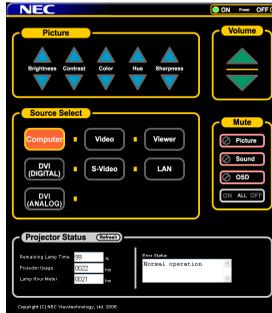
ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたはURL欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメイン名サーバへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている場合、もしくは使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIPアドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

(例1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
 HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
 http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例2) 本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合
 HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
 http://192.168.73.1/index.html と指定します。

HTTPサーバの構成



Power	<p>本機の電源をオン/オフします。</p> <p>On 電源をオンにします。</p> <p>Off 電源をオフにします。</p>
Volume	<p>本機の音量をコントロールします。</p> <p>▲ 音量調整値をアップします。</p> <p>▼ 音量調整値をダウンします。</p>
Mute	<p>本機のMUTEをコントロールします。</p> <p>Picture On 映像をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>Picture Off 映像ミュートを解除します。</p> <p>Sound On 音声をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>Sound Off 音声ミュートを解除します。</p> <p>OSD On メニュー表示をミュート（一時的に消去）します。</p> <p>OSD Off メニュー表示のミュートを解除します。</p> <p>ALL On 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート（一時的に消去）します。</p> <p>ALL Off 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。</p>
Picture	<p>本機の映像調整をコントロールします。</p> <p>Brightness ▲ 明るさの調整値をアップします。</p> <p>Brightness ▼ 明るさの調整値をダウンします。</p> <p>Contrast ▲ コントラストの調整値をアップします。</p> <p>Contrast ▼ コントラストの調整値をダウンします。</p> <p>Color ▲ カラーの調整値をアップします。</p> <p>Color ▼ カラーの調整値をダウンします。</p> <p>Hue ▲ 色相の調整値をアップします。</p> <p>Hue ▼ 色相の調整値をダウンします。</p> <p>Sharpness ▲ シャープネスの調整値をアップします。</p> <p>Sharpness ▼ シャープネスの調整値をダウンします。</p>

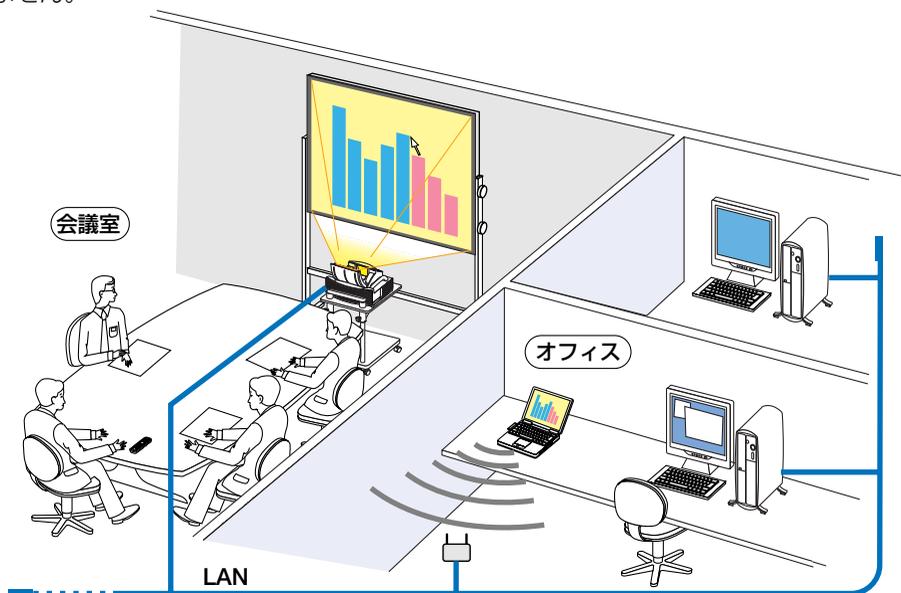
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「6-4 調整」
 (119ページ)をご覧ください。

Source Select	本機の入力端子を切り替えます。
Computer	コンピュータ映像入力に切り替えます。
DVI (DIGITAL)	DVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) のデジタルRGB入力に切り替えます。
DVI (ANALOG)	DVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) のアナログRGB入力に切り替えます。
Video	ビデオ映像入力に切り替えます。
S-Video	S-ビデオ映像入力に切り替えます。
Viewer	本機のPCカードスロットにセットしたフラッシュメモ리카ードのデータ表示に切り替えます。
LAN	LANから送られてくるデータ表示に切り替えます。
Projector Status	本機の状態を表示します。
Refresh	状態表示を更新します。
Remaining Lamp Time	ランプの残り使用時間を%表示します。
Projector Usage	本機の使用時間を表示します。
Lamp Hour Meter	ランプの使用時間を表示します。
Error Status	本機内部のエラー発生状況を表示します。

4-13. ネットワーク接続されたパソコンを本機を使って操作する (Desktop Control Utility 1.0)

添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているDesktop Control Utility 1.0をパソコンにインストールすると、ネットワークを介して、本機からそのパソコンを操作することができます。

例えば、会議で発表するPowerPointファイルを事務所にあるパソコンに保存してあるとします。そこで会議の際に、事務所にあるパソコンと会議室にある本機がLANで接続されていれば、本機を操作することによって、事務所にあるパソコン（Windows 2000/XP）のデスクトップ画面を投写し、会議で発表するPowerPointファイルを表示することができます。つまり、事務所にあるパソコンを会議室へ持ち込む必要がありません。



重要

- Desktop Control Utility 1.0では、離れた場所にあるパソコンをネットワーク経由で操作します。そのため、無断で第三者にパソコンの画面（重要な資料）を見られたり、ファイルをコピーされたり、パソコンの電源を切られたりしないように十分注意してください。

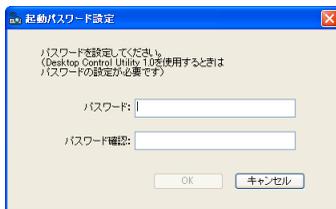
当社は、Desktop Control Utility 1.0使用中の機密漏洩、システム障害等に対して、いかなる責任も負いかねます。

- Windowsの【コントロールパネル】→【電源オプション】の設定で、【システム スタンバイ(T)】を「なし」に設定してください。Desktop Control Utility 1.0を使用中に、パソコンがスタンバイ状態になると、LANが切断されます。
- Desktop Control Utility 1.0が起動中は、スクリーンセーブ機能がオフになります。
- この操作を行うには、本機に市販のUSBマウスを接続しておく必要があります。WT615Jでは、USBマウスの代わりに電子ペンで操作することができます。ここでは、USBマウスを使ったときの操作を説明します。

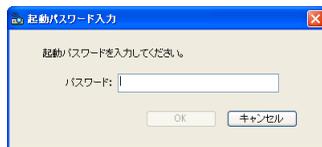
パソコン側の操作

- 1 パソコンをLANに接続し、必要な設定を行う。
- 2 パソコンにDesktop Control Utility 1.0をインストールする。
 - ・インストール操作については、添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録している「基本操作ガイド」をご覧ください。
 - ・ソフトの操作方法については、Desktop Control Utility 1.0のヘルプをご覧ください。
- 3 会議で発表する資料を作成し、パソコンへ保存する。
- 4 Desktop Control Utility 1.0を起動する。
起動パスワード画面が表示されます。

はじめて起動したときの画面



すでに起動パスワードを設定しているときの画面



- 起動パスワードは、Desktop Control Utility 1.0を起動するたびに入力が必要です。起動パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- 万一起動パスワードを忘れた場合は、Desktop Control Utility 1.0を再インストールしてください。

- 5 Desktop Control Utility 1.0の起動パスワードを入力し[OK]をクリックする。
今回のパスワード画面が表示されます。



- 6 パスワード欄に表示された文字列を紙にメモする。
- 7 [OK]をクリックする。
Desktop Control Utility 1.0がスタートします。

手順6でパスワードをメモした用紙を持って、本機が設置されている部屋へ移動してください。

本機側の操作 (パソコンと接続する)

1 本機のLANの設定を行う。

LANの設定は、オンスクリーンメニューの[セットアップ]→[設置]→[LANモード]で行います。

(👉 138ページ)

2 本機に市販のUSBマウスを接続する。

(👉 74ページ)

3 USBマウスをクリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

4 [入力端子]をクリックし、「LAN」をクリックする。

メッセージ画面が表示されます。

このメッセージは、Desktop Control用パスワードが登録されているときには表示されません。



5 メッセージに従って、プロジェクター本体またはリモコンの (MENU) ボタンを押す。

画面の左下に、接続バーが表示されます。



6 (パスワード入力アイコン)をクリックする。

パスワードの登録/削除画面が表示されます。



7 [登録]をクリックする。

パスワード入力画面が表示されます。



8 [入力]をクリックする。

文字入力画面が表示されます。(👉 111ページ)

9 91ページの「パソコン側の操作」の手順6においてメモしたパスワードを入力する。

10 パスワードを入力したら、パスワード入力画面の[確定]をクリックする。

パスワード入力画面が消えます。

11 (PC検索アイコン)をクリックする。

PC検索画面が表示されます。



12 [確定] をクリックする。

接続選択画面が表示されます。

- PC検索で接続先が見つからなかった場合、または接続先のパソコンのIPアドレスを入力して検索する場合は、PC検索画面で「▶」をクリックし、「IPアドレス入力」をクリックして[確定]をクリックします。

13 接続先のパソコンをクリックし、[確定] をクリックする。

接続先のパソコンのデスクトップ画面が表示されます。



注意

- デスクトップ画面が表示されると、USBマウスをクリックしてもオンスクリーンメニューは表示されません。デスクトップ画面表示中にオンスクリーンメニューを表示する場合は、プロジェクター本体またはリモコンの **(MENU)** ボタンを2回押してください。

本機側の操作 (デスクトップ画面を操作する)

本機に接続したUSBマウスを使って、表示されたデスクトップ画面を操作することができます。

デスクトップ画面を表示中に、プロジェクター本体またはリモコンの **(MENU)** ボタンを押すと、画面の左下に補助操作バーが表示されます。

補助操作バーの操作は、プロジェクター本体の操作ボタンまたはリモコンで操作してください。



- ①  (切断アイコン) ……パソコンとの通信を切断します。
- ②  (Shiftアイコン) ……カーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押すと、シフトロックの状態になります。
もう1回カーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押すと、シフトロックが解除されます。
- ③  (Ctrlアイコン) ……カーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押すと、コントロールロックの状態になります。
もう1回カーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押すと、コントロールロックが解除されます。
- ④  (Escアイコン) ……パソコンの [Esc] キーを押した動作になります。
例えば、PowerPointのスライドショーを中止するときなどに使用します。

本機側の操作（通信を切断する）

- 1 デスクトップ画面表示中に、プロジェクター本体またはリモコンの **(MENU)** ボタンを押す。

画面の左下に補助操作バーが表示されます。



- 2  (切断アイコン) にカーソルを合わせ **(ENTER)** ボタンを押す。

画面左下に接続バーが表示されます。

- ・通信を再開する場合は、 (PC検索アイコン) をクリックします。

以降は93ページの手順12～の操作を行います。



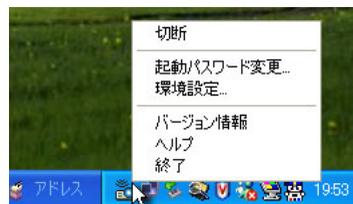
参考

- デスクトップ画面表示中に、タスクトレイのプロジェクターアイコンをクリックし、[切断] をクリックしても、通信を切断することができます。

本機側の操作（Desktop Control Utility 1.0を終了する）

- 1 デスクトップ画面表示中に、タスクトレイのプロジェクターアイコンをクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



- 2 [終了] をクリックする。

Desktop Control Utility 1.0が終了します。

- 3 USBマウスをクリックする。

オンスクリーンメニューが表示されます。

- 4 [入力端子] をクリックし、[LAN] 以外の端子をクリックする。

オンスクリーンメニューが消えます。

第5章

ビューワを使う

.....

5-1. ビューワでできること	96
5-2. フラッシュメモリカードへ データを保存する	97
5-3. フラッシュメモリカードのデータを映す (ビューワ)	98

5-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機のPCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットしたり、本機のUSBポートにUSBメモリをセットして、フラッシュメモリカード内やUSBメモリ内のデータを投写する機能です。

ビューワには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、あらかじめフラッシュメモリカードやUSBメモリに保存しておくこと、パソコンと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。パソコンを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 本機を使って広告などを映す際、画像の自動切り替えができます。
- ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像などをキャプチャし、ビューワで投写することができます（キャプチャ）。
- ビューワで表示している画像を本機のバックグラウンドロゴとして登録できます。
- デジタルカメラで撮影した画像などを投写できます（JPEG、BMP、PNG、GIF）。
- JPEG、BMP、PNG、GIF、Index*といった5種類のファイルを選択して投写できます。

* 添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているUlead Photo Explorer 8.0で作成したファイル形式。

注意

- フラッシュメモリカードやUSBメモリは、最寄りのパソコンショップなどでお買い求めください。
- 本機で使用できるフラッシュメモリカードは、PCMCIA-Type 2（ATA仕様）のフラッシュメモリカードです。
- コンパクトフラッシュ、SDカードなどをアダプタを用いて変換した場合、本機で使用できないことがあります。使用可能なカードやUSBメモリについては、当社ホームページ（http://www.nec-display.com/support/projector/move_check.html）をご覧ください。
- 本機は、NTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。
本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT32形式、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。
フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- DVI（デジタル）入力時の映像はキャプチャできません。

5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する

フラッシュメモリカードやUSBメモリにデータを保存するには、次の方法があります。

Ulead Photo Explorer 8.0 を使う

添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているUlead Photo Explorer 8.0をパソコンにインストールして、パソコンで作成したPowerPointファイルなどを、フラッシュメモリカードやUSBメモリに保存します。

Ulead Photo Explorer 8.0で作成したファイルは、Index形式になります。

Ulead Photo Explorer 8.0については、添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録している「基本操作ガイド」およびUlead Photo Explorer 8.0のヘルプをご覧ください。

Windowsのエクスプローラなどを使って、ファイルをコピーする

ビューワを使って投写できるのは、JPEG、BMP、PNG、GIF、Indexなどの形式のファイルです。

ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像を保存する

本機のキャプチャ機能を使用します。

詳しくは、「4-9. 本機で投写している画像を保存する (キャプチャ)」をご覧ください。

(🔗 80ページ)

5-3. フラッシュメモリカードのデータを映す(ビューワ)

ビューワをスタートする

準備：投写する画像を保存したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。

1 (SOURCE) ボタンを数回押して、
「ビューワ」を選択する。(56ページ)

ビューワ画面が表示されます(本機の工場出荷状態は「スライド画面」が表示されます)。

- ・ リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタンを押してください。

ビューワ画面の操作

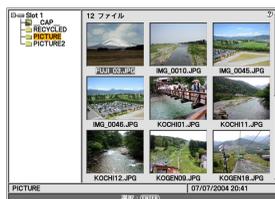
●スライド画面とサムネイル画面

- ビューワには「スライド画面」と「サムネイル画面」の2つの画面があります。

スライド画面



サムネイル画面

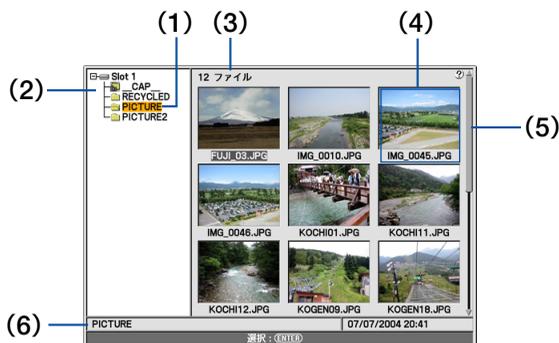


- 入力選択を[ビューワ]に切り替えた直後に「スライド画面」と「サムネイル画面」のどちらを表示するかは、ビューワメニューの[オプション]の[開始]で設定できます(本機の工場出荷状態は「スライド画面」に設定されています)。
- フラッシュメモリカード内にビューワで表示可能な画像ファイルがない場合は、サムネイル画面が表示されます。

●スライド画面をサムネイル画面に切り替える

- スライド画面からサムネイル画面に切り替えるには、スライド画面で(MENU) ボタンを押してビューワメニューを表示し、[サムネイル]にカーソルを合わせ(ENTER) ボタンを押します。

●サムネイル画面内の名称と操作



(1) カーソル

フォルダ名やファイル名がオレンジ色になっている部分をカーソルと呼びます。

(SELECT ▼▲▶◀) ボタン、(ENTER) ボタン、(EXIT) ボタンを押すとカーソルを移動できます。

(2) フォルダ一覧

- 本機のPCカードスロットにセットしたフラッシュメモリーカード（「Slot 1」と表示されます）のフォルダ一覧を表示します。また、本機のUSBポートにUSBメモリを接続した場合は、「USB1」、「USB2」と表示されます。（▶ 86ページ）
- 本機のキャプチャ機能を実行した場合は「__CAP__」という名前のキャプチャ専用フォルダが自動的に作成され、このフォルダ内にキャプチャした画面（JPEGファイル）が保存されます。（▶ 80ページ）
- (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押すと、フォルダ一覧内でカーソルが移動し、カーソルが合ったフォルダ内の画像ファイルが画面の右側にサムネイル表示されます。フォルダ一覧内をカーソルが移動するたびにサムネイル表示が切り替わります。
- 各ボタンの働きは次の通りです。

(SELECT ▼/▲) ボタン	カーソルを上下のフォルダに移動できます。
(SELECT ▶) ボタン	下の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [+]マークが付いたフォルダの場合、省略表示されている下の階層のフォルダが表示されます。そして[-]マークに変わります。
(SELECT ◀) ボタン	上の階層のフォルダにカーソルが移動します。 [-]マークが付いたフォルダの場合、下の階層のフォルダが省略されます。そして[+]マークに変わります。
(ENTER) ボタン	サムネイル/ファイル名にカーソルが移動します。
(MENU) ボタン	ビューワメニューを表示します。（▶ 101ページ）

(3) ファイル数

- フォルダ一覧で指定したフォルダ内において、ビューワで表示可能なファイル数を表示します。
- スライドとして認識するファイルの数は、1つのフォルダにつき約1000個までです。

(4) サムネイル／ファイル名

- ・フォルダー一覧で指定したフォルダ内の画像ファイルのイメージを縮小して表示します(サムネイル)。サムネイル／ファイル名は、1画面に9個まで表示できます。
- ・サムネイルの下にはファイル名が表示されます。ファイル名が長い場合は、途中までしか表示されません。
- ・ビューワメニューの[オプション]で、サムネイル表示を「オフ」(アイコン表示)にすると、画面の切り替えが早くなります。
- ・各ボタンの働きは次の通りです。

(SELECT ▼▲◀▶) ボタン	カーソルが上下左右のサムネイルに移動します。 ファイルが9個を超える場合、下段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▼) ボタンを押すと次の画面に切り替わります。また、次の画面で上段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▲) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。 先頭の画面の上段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▲) ボタンを押すと、最終画面に切り替わります。また、最終画面の下段のサムネイルにカーソルがあるときに (SELECT ▼) ボタンを押すと、先頭画面に切り替わります。
(ENTER) ボタン	カーソルが合っているサムネイルがスライド表示(画面一杯に拡大表示)されます。
(EXIT) ボタン	フォルダー一覧にカーソルが移動します。
(MENU) ボタン	ビューワメニューを表示します。(▶ 101ページ)

(5) スクロールバー

サムネイル表示が9個を超えると、画面の右側にスクロールバーが表示されます。

(6) 情報表示

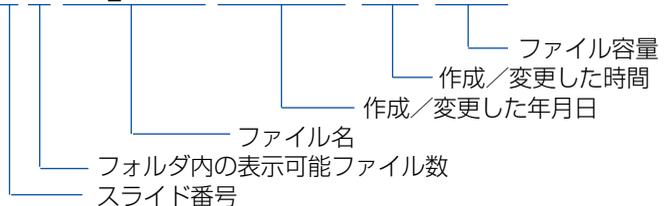
カーソルが合っているフォルダやファイルの情報を表示します。

【表示例】

フォルダの場合： PICTURE 09/22/2004 16:42



ファイルの場合： 1/12 FILE_N1.JPG 09/22/2004 07:47 173KB



ビューワメニュー

1 スライド画面またはサムネイル画面で (MENU) ボタンを押す。

ビューワメニューが表示されます。

- ・使用できない機能は灰色の文字で表示され選択できません。
- ・ビューワメニューを消す場合は (EXIT) ボタンを押します。



●スライドショーを開始する (再生)

- ・スライド画面に切り替え、ビューワメニューの [オプション] の設定に従ってスライドショーを開始します。
- ・[オプション] で「手動」を設定しているときは、(SELECT▶) ボタンを押して次のスライドを表示します。また、(SELECT◀) ボタンを押すと1画面前のスライドを表示します。
- ・[オプション] で「自動」を設定して再生したときに (SELECT◀/▶) ボタンを押すと、自動再生は解除され手動再生になります。

●スライドショーを止める (停止)

- ・スライドショーを自動再生しているときに、スライドの切り替えを一時停止します。再開する場合は、ビューワメニューの [再生] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。

●スライド一覧画面を表示する (サムネイル)

- ・スライド画面をサムネイル画面に切り替えます。

●キャプチャした画像を削除する (削除)

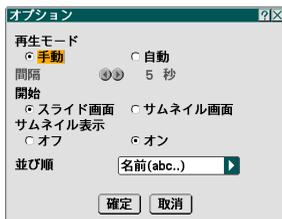
- ・キャプチャした画像を削除します。(▶ 80ページ)
- ・キャプチャ専用フォルダ「__CAP__」にカーソルを合わせ削除を実行すると、1度にすべてのキャプチャ画像を削除できます。ただし、キャプチャ専用フォルダ「__CAP__」は削除されません。
- ・キャプチャした画像以外は削除できません。

●バックグラウンドロゴを登録する (ロゴ)

- ・カーソルが合っているファイル (画像) を、本機のバックグラウンドの絵柄として登録します。
- ・画像ファイルの形式はJPEG、BMP、PNG、GIF のいずれかとし、ファイルサイズは256キロバイト以下にしてください。

注意

- バックグラウンドロゴを変更すると、[リセット] を行っても工場出荷時のロゴ (NECロゴ) には戻りません。
バックグラウンドロゴを工場出荷時のNECロゴに戻すには、添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録されているNECロゴ (¥Logo¥nec_b_x.jpg) をフラッシュメモリカードにコピーしてください。そのフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットし、ビューワで「NEC_B_X.JPG」を選択して、ビューワメニューの [ロゴ] で本機に登録しなおしてください。

●ビューワオプションを設定する (オプション)**再生モード**

手動	ビューワメニューで [再生] を選択したあと、(SELECT ◀▶) ボタンを押してスライドを切り替えます。
自動	ビューワメニューで [再生] を選択すると、[間隔] で設定した時間ごとにスライドが自動的に切り替わります。

間隔

5~300秒	自動再生するときのスライドの切り替え間隔を設定します。
--------	-----------------------------

開始

スライド画面	信号選択で [ビューワ] に切り替えたときにスライド画面で表示します。
サムネイル画面	信号選択で [ビューワ] に切り替えたときにサムネイル画面で表示します。

サムネイル表示

オフ	サムネイル画面において、サムネイル表示をせずにアイコンで表示します。サムネイルを表示しないので、表示が早くなります。
オン	サムネイル画面において、サムネイル表示を行います。

並び順

スライド画面での画像の表示順、およびサムネイル画面での画像の並び順を変更します。
名前(ファイル名)の昇順/降順、種類(拡張子)の昇順/降順、日付(ファイル作成日)の新/旧、サイズ(ファイル容量)の大/小で並び順を変更できます。

注意

- 次のフォルダでは [並び順] は変更できません。
 - ・ キャプチャ専用フォルダ「__CAP__」
 - ・ Ulead Photo Explorer 8.0の「ビューワ出力」機能およびViewer PPT Converter 3.0で作成したフォルダ

ビューワを終了する

1 (SOURCE) ボタンを押して、[ビューワ] 以外の入力を選択する。

- ・ リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタン以外の (COMPUTER) ボタンや (VIDEO) ボタンを押してください。
- ・ (MENU) ボタンを押してビューワメニューを表示し、もう一度 (MENU) ボタンを押すとオンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューの [入力端子] で、[ビューワ] 以外の入力を選択することによりビューワを終了することもできます。

第6章

オンスクリーンメニュー

.....

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作…	106
6-2. オンスクリーンメニュー一覧 ……	112
6-3. 入力端子 ……………	115
6-4. 調整 ……………	119
6-5. セットアップ ……………	128
6-6. 情報 ……………	149
6-7. リセット ……………	150

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

オンスクリーンメニューの種類

本機で投写する画像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

本機のメニューには「ベーシックメニュー」と「アドバンスメニュー」の2つがあります。

(1) アドバンスメニュー ……すべての項目を表示するメニューです。

(2) ベーシックメニュー ……基本的な項目に絞ったメニューです。

本機の工場出荷時は、「アドバンスメニュー」が表示されるように設定されています。

「アドバンスメニュー」と「ベーシックメニュー」の切り替えは、「メニューモード」(▶108ページ)で行います。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(MENU)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(EXIT)ボタンを押します。

ここでは、アドバンスメニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

1 (MENU) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは[入力端子]のポップアップメニューが表示されます。



2 (SELECT) ボタンを1回押す。

カーソルが[調整]に移動し、[調整]のポップアップメニューが表示されます。



3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 [明るさ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

画面の明るさが調整されます。

- ・「◀▶」(選択可能マーク) が付いている項目は (SELECT ◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。

「◀▶」(選択可能マーク) が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。

- ・ポップアップメニュー内の [リセット] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、[調整] のすべて調整値を工場出荷状態に戻します。

5 (EXIT) ボタンを 1 回押します。

カーソルがメニューバーの [調整] に移動します。

6 (SELECT ▶) ボタンを 1 回押す。

カーソルが [セットアップ] に移動し、[セットアップ] のポップアップメニューが表示されます。(この画面は、WT615Jのものです。)



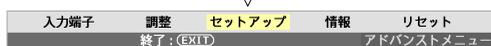
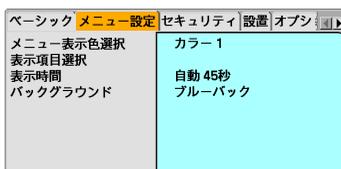
7 (ENTER) ボタンを押す。

[ベーシック] にカーソルが移動します。

- ・[セットアップ] には [ベーシック]、[メニュー設定]、[セキュリティ]、[設置]、[オプション]、[ツール] という6つのページがあり、ページタブを選択して切り替えます。

8 (SELECT ▶) ボタンを 1 回押して [メニュー設定] にカーソルを合わせる。

[メニュー設定] ページの設定項目に切り替わります。



9 (SELECT ▼) ボタンを4回押して [バックグラウンド] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・[バックグラウンド] とは、無信号時に表示される画面のことです。



10 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

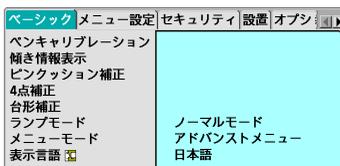
- 11** (SELECT▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
 バックグラウンドが設定されます。
- 選択したい項目 (ここでは「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれか) にカーソルが合っている状態で (ENTER) ボタンを押しても、項目を決定することができません。
 - 選択を取り消す場合は、[取消] にカーソルを合わせて (ENTER) ボタンを押すか、(EXIT) ボタンを押します。
- 12** (EXIT) ボタンを2回押す。
 メニューが消えます。

注意 ● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

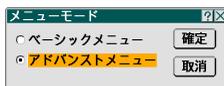
「アドバンスメニュー」と「ベーシックメニュー」の切り替え

アドバンスメニューからベーシックメニューへの切り替え (またはその逆) は、[メニューモード] で行います。

- 1** (MENU) ボタンを押す。
 メニューが表示されます。
- メニューは、前回メニューを消したときのカーソルの位置を保持した状態で表示されます。ここでは [セットアップ] にカーソルが合った状態で表示されます。



- 2** (SELECT▲) ボタンを2回押して [メニューモード] にカーソルを合わせる。
- 3** (ENTER) ボタンを押す。
 メニューモード画面が表示されます。



- 4** (SELECT▲) ボタンを1回押して、「ベーシックメニュー」にカーソルを合わせる。
- 5** (SELECT▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
 ベーシックメニューに切り替わります。



表示中のメニューの種類

6 (EXIT) ボタンを2回押す。

メニューが消えます。

- ・再びアドバンスメニューに戻す場合は、手順**4**で「アドバンスメニュー」を選択して (ENTER) ボタンを押します。

参考

- 「アドバンスメニュー」と「ベーシックメニュー」で表示される項目については、[112ページ](#)をご覧ください。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中から1つ「」を選びます。

【例1】[表示時間]の選択

アドバンスメニューの[セットアップ] → [メニュー設定] → [表示時間]

ラジオボタン



1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。

選択されているマーク () が移動します。

2 選択する項目に「」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

【例2】[表示項目選択]の選択

アドバンスメニューの[セットアップ] → [メニュー設定] → [表示項目選択]



1 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、設定する項目にカーソルを合わせる。

この画面の場合は「入力端子」と「メッセージ」のどちらを設定するかを選びます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、選択肢にカーソルを合わせる。

選択されているマーク () が移動します。

3 必要があれば手順**1** **2**を繰り返す。

4 選択する項目に「」を移動したら、(ENTER) ボタンを押す。

●プルダウンリストからの選択

リストの中から項目を選択します。

プルダウンリストには、項目名の右側に「▶」マークが付いています。

【例3】【オフタイマー】の選択

アドバンスメニューの[セットアップ] → [ツール] → [オフタイマー]



- 1 選択する項目にカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。



- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
項目が選択されて、プルダウンリストが閉じます。
・再度プルダウンリストを表示する場合は、もう一度 (SELECT ▶) ボタンを押してください。



- 3 項目を選択したら、(SELECT ▼) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
選択した項目が決定されます。

●実行ボタン

機能を実行します。

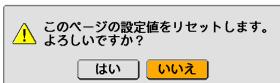
実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で (EXIT) ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

【例4】【調整】の [リセット]



- 1 [リセット] (実行ボタン) にカーソルが合っていることを確認する。

- 2 (ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。



- 3 実行する場合は、(SELECT ◀▶) ボタンを押して [はい] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
機能が実行されます。
・機能を実行しない場合は、確認メッセージで [いいえ] を選択し、(ENTER) ボタンを押します。

●英数字の入力方法

[パスワード(ロゴ)] や [セキュリティ] のキーワード入力などの項目には英数字を入力します。

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。
・USBマウスで操作している場合は、文字入力欄左側の▼を左クリックします。

【パスワード(ロゴ)のとき】



【セキュリティのとき】



- 2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
文字が入力されます。
・文字以外の項目は、次のような働きをします。
・[◀] [▶] ……英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
・[モード] ……英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
・[SP] ……スペースを入力します。
・[BS] ……カーソルの左側にある1文字を消します。
・[確定] ……入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
・[取消] ……入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

- 3 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニューバー	ページタブ	ポップアップメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	参照ページ
入力端子		コンピュータ B			115
		DVI (デジタル) B			
		DVI (アナログ) B			
		ビデオ B			
		S-ビデオ B			
		ビューワ B			
		LAN B			
		テストパターン			
調整	ベーシック	信号リスト	呼出/登録/カット/コピー/貼付け/編集/全削除		115
		明るさ B	暗 ↔ 明		119
		コントラスト B	淡 ↔ 濃		
		カラー B	淡 ↔ 濃		
		色相 B	緑 ↔ 赤		
		シャープネス B	弱 ↔ 強		
		壁色補正 B	オフ/黒板/黒板(グレー)/ライトイエロー/ ライトグリーン/ライトブルー/スカイブルー/ ライトローズ/ピンク		119
	アスペクト B	(スクリーンタイプが4:3のとき) 4:3/レターボックス/16:9/ワイドズーム (スクリーンタイプが16:9のとき) 4:3/レターボックス/16:9/スタジアム		120	
	音量 B	小 ↔ 大		121	
	リセット B			121	
	ピクチャー マネージ メント	プリセット	プレゼンテーション/ビデオ/ムービー/ グラフィック/sRGB		121
		詳細設定	1 参照	プレゼンテーション/ビデオ/ ムービー/グラフィック/sRGB	122
			ガンマ補正	ダイナミック/ナチュラル/ ソフト	
			色温度	5000/6500/7800/8500/ 9300/10500	
			ホワイトニング	0 ↔ 5	
		2 ホワイトバランス	明るさ赤/明るさ緑/明るさ青/ コントラスト赤/コントラスト緑/ コントラスト青		
		3 色補正	赤/緑/青/イエロー/ マゼンタ/シアン/カラーゲイン		
信号形式	RGB/コンポーネント		123		
ビデオ帯域フィルタ	オフ/弱/強		123		
画像設定	クロック周波数			124	
	位相			124	
	表示位置 (水平)			124	
	表示位置 (垂直)			124	
	プランキング	上端/下端/左端/右端		125	
	解像度	フル/リアル		125	

		オーバースキャン	0%/5%/10%	126
	ビデオ	ノイズリダクション	オフ/弱/中/強	126
		カラーマトリクス	HDTV/SDTV	126
		I/P 変換	デインターレース (自動判別) /デインターレース (静止画) /インターレース	127
セットアップ	ベーシック	ペンキリプレーション (WT615Jのみ) B		128
		傾き情報表示 B	後側一前側/左側一右側	128
		ピンクッション補正 B	左端/右端/上端/下端	128
		4点補正 B		128
		台形補正 B	水平/垂直	129
		ランプモード B	ノーマルモード/エコモード	130
		メニューモード B	ベーシックメニュー/アドバンスメニュー	130
		表示言語 B	English/Deutsch/Français/Italiano/ Español/Svenska/Suomi/Norsk/ Nederlands/Türkçe/Polski/Русский/ Ελληνικά/Magyar/Português/Čeština/ عربي/Dansk/日本語/한국어/中文	130
	メニュー設定	メニュー表示色選択	カラー1~カラー5/モノクロ	131
		表示項目選択	入力端子 オン/オフ メッセージ オン/オフ	131
		表示時間	手動/自動 5秒/自動15秒/自動45秒	131
		バックグラウンド	ブルーバック/ブラックバック/ロゴ	132
	セキュリティ	本体キーロック	アンロック/ロック	132
		パスワード(メニュー)	登録/削除	132
		パスワード(ロゴ)	登録/削除	
		セキュリティ	有効/無効 キーワード プロテクトキーを使用 オフ/オン ドライブ/読み/登録/削除 (USBメモリまたはフラッシュ メモリカード使用時)	133
	設置	投写方法	デスク/フロント/天吊り/リア/デスク/リア/ 天吊り/フロント	137
		スクリーン設定	スクリーンタイプ 4:3/16:9 表示位置 -64↔64 (スクリーンタイプで16:9 を選択時に有効)	138
		LANモード	プロファイル プロファイル かんたん接続/プロファ イル1/プロファイル2 138 DHCP オン/オフ IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ DNS設定 詳細設定 通信モード サイトサーベ イ SSID 通信モード WEP オン/オフ キーインデックス キー1~キー4	141
			再接続	141
		ドメイン	ホスト名 ドメイン名	143
		メール	メール通知 オン/オフ 差出人アドレス SMTPサーバ名	144

		宛先アドレス1		
		宛先アドレス2		
		宛先アドレス3		
		送信テスト		
		プロジェクト名	145	
		通信速度	4800/9600/19200/38400 145	
		スタンバイモード	ノーマル/省電力 145	
オプション		自動調整	オフ/ノーマル/ファイン 145	
		オートスタート	オフ/オン 146	
		パワーマネージメント	オフ/0:05/0:10/0:20/0:30 146	
		ファンモード	自動/高速 146	
		初期入力選択	ラスト/自動/選択 (コンピュータ/DVI(デジタル)/DVI(アナログ)) ビデオ/S-ビデオ/ビューワ/LAN) 146	
		信号選択	コンピュータ	RGB/コンポーネント/RGB/コンポーネント/Scart 147
			DVI(アナログ)	RGB/コンポーネント/RGB/コンポーネント
			ビデオ	自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM
			S-ビデオ	自動判別/NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM
		モニタ出力	ラスト/コンピュータ/DVI(アナログ)	147
ツール		チョークボード B	147	
		背景色 B	透過/ダークグレー/ライトグレー/ダークシアン/青/黒 147	
		デジタルズーム B	ズーム/表示位置 (水平) /表示位置 (垂直) 147	
		オフタイマー B	残り時間 148	
			登録時間	オフ/0:30/1:00/2:00/4:00/8:00/12:00/16:00
		マウス設定 B	マウスポインタ	ポインタ1/.../ポインタ9 148
			ボタン設定	右手用/左手用
			スピード設定	高速/標準/低速
		ポインタ B	ポインタ1/.../ポインタ9	148
		クロズドキャプション	オフ/キャプション1~4/テキスト1~4	148
情報	使用時間 B	ランプ残量 (%) /ランプ使用时间/機器使用时间	149	
	信号ページ1 B	入力端子/信号形式/ビデオ標準/信号名/登録番号		
	信号ページ2 B	水平同期周波数/垂直同期周波数/同期形態/同期極性/インターレース		
	LAN プロファイル	IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/MACアドレス		
	LAN 無線	SSID/通信モード/WEP/チャンネル/信号レベル		
	Version B	Firmware/Data		
リセット		表示中の信号	150	
		全データ		
		全データ (信号リストを含む)		
		ランプ時間クリア		

6-3. 入力端子

・コンピュータ
DVI(デジタル)
DVI(アナログ)
ビデオ
S-ビデオ
ビューワ
LAN
テストパターン
信号リスト

入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

コンピュータ	コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) に接続している機器の映像を映します。
DVI (デジタル)	DVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) に接続している機器からのデジタルRGBの映像を映します。
DVI (アナログ)	DVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) に接続している機器からのアナログRGBの映像を映します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) に接続している機器の映像を映します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) に接続している機器の映像を映します。
ビューワ	PCカードスロットにセットしたフラッシュメモ리카ードのデータを映します。
LAN	LANで接続されたパソコンから送られてくるデータを映します。
テストパターン	投写位置を調整するためのテストパターンを映します。
信号リスト	信号リストから選択して映像を映します。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ映像入力端子に接続している場合も、「コンピュータ」を選択してください。( 147ページ)
- ビューワまたはLANに切り替えると、DVI-I音声入力端子 (AUDIO IN DVI-I) に入力されている音声スピーカーから出力されます。

信号リストを利用する

画像設定を少しでも行くと、信号の調整値が本機の「信号リスト」に自動的に登録されます。登録された信号 (の調整値) は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号 (の調整値) は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

1 (MENU) ボタンを押す。

アドバンストメニューが表示されます。

・ベーシックメニューが表示される場合はアドバンストメニューに切り替えてください。

(▶108ページ)

2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して [入力端子] にカーソルを合わせる。

信号選択のポップアップメニューが表示されます。

・コンピュータ
DVI(デジタル)
DVI(アナログ)
ビデオ
S-ビデオ
ビューワ
LAN
テストパターン
信号リスト

3 (SELECT ▼▲) ボタンを押して [信号リスト] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

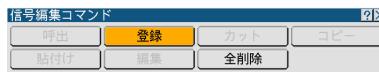
信号リストが表示されます。



●投写している信号を登録する [登録]

1 信号リストで (SELECT ▼▲) ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号編集コマンド画面が表示されます。



2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する [呼出]

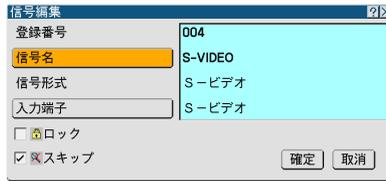
1 信号リストで (SELECT ▼▲) ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

信号編集コマンド画面が表示されます。

2 (SELECT ◀▶) ボタンを押して [呼出] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [編集] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。



信号名	最大英数18文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。RGB信号は、コンピュータ/DVI (デジタル) /DVI (アナログ) の切り替えができます。 ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ/S-ビデオの切り替えができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク)を付けておくと、[全削除]を行ったときに残しておくことができます。 また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🗑️)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク)を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

●信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [カット] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストの一番下の「クリップボード」に、削除した信号が表示されます。



- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面で「ロック」した信号を選択した場合は、[カット] は灰色の文字になり選択できません。



- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの [貼付け] で信号リストに貼り付ける (複製する) ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じても消えません。

●信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで (SELECT ▼/▲) ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [コピー] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストの一番下の「クリップボード」に、コピーする信号が表示されます。
- 3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 4 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [貼付け] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

- 1 信号リストで、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [全削除] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して [[はい] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 信号編集画面で「ロック」した信号は削除されません。

6-4. 調整

ベーシック



●明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。



- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	明るさ	コントラスト	カラー	色相	シャープネス
RGB (コンピュータ)	○	○	×	×	×
DVI (デジタル)	○	×	×	×	×
DVI (アナログ)	○	○	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

(○：調整可、×：調整不可)

●壁色補正



画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

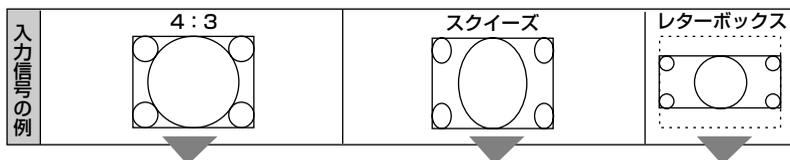
●アスペクト

[スクリーンタイプ]が「4:3」のとき [スクリーンタイプ]が「16:9」のとき



画面の縦横の比率を選択します。

4:3	通常の画面サイズです。4:3の入力信号を4:3の画面サイズで映します。
レターボックス	16:9のレターボックス信号を映します。
16:9	16:9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16:9の画面サイズで映します。
ワイドズーム	[スクリーンタイプ]が「4:3」のときに選択できます。16:9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4:3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。
スタジアム	[スクリーンタイプ]が「16:9」のときに選択できます。4:3の入力信号を左右に引き伸ばして16:9の画面サイズで映します。



アスペクト選択項目	4:3	16:9	ワイドズーム	レターボックス
スクリーンタイプ 4:3 選択時 の投写イメージ				
アスペクト選択項目	4:3	スタジアム	16:9	レターボックス
スクリーンタイプ 16:9 選択時 の投写イメージ				

注意

- アスペクトを設定する前に、[スクリーンタイプ](4:3/16:9)を選択してください。(▶138ページ)
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト]や[スクリーンタイプ]などの画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- 台形補正または4点補正で投写画面の台形歪みを調整している場合、[アスペクト]の設定を変更できないことがあります。そのときは、台形補正または4点補正の調整値をいったんクリアし、[アスペクト]の設定を変更したあと、再度台形補正または4点補正で投写画面を調整してください。
[アスペクト]の設定を変更した場合、台形補正および4点補正の調整範囲が狭くなる場合があります。

参考

- スクリーンタイプを16：9にしているときは、[表示位置]で垂直位置を調整できます。
(▶ 138ページ)
- ビデオ映像の標準アスペクト比4：3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのピスタサイズ1.85：1やシネマスコープ2.35：1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

●音量

本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子（AUDIO OUT）から出される音声の音量を調整します。

参考

- 工場出荷時、音量は18に設定されています。
- 音量は、メニューが表示されていないとき、本体操作部の **(SELECT ◀/▶)** ボタン、およびリモコンの **(VOLUME +/-)** ボタンでも調整できます。

●リセット

このページのすべての設定値を工場出荷状態に戻します。

ピクチャーマネージメント



●プリセット



映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～5に、あらかじめ次の設定がされています。また、お好みの色調およびガンマにするための細かな調整ができ、調整値をプリセット項目1～5に登録できます。

1：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
2：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
3：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
4：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
5：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。
調整値を登録するには、プリセット項目1～5のいずれかを選択し、[詳細設定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。



ガンマ補正、色温度、ホワイトピーキング、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな調整ができます。

参照 (ページ1)

[詳細設定] のもとになるモードを選択します。

ガンマ補正 (ページ1)

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

色温度 (ページ1)

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。

右 ↓ 左	色温度が高くなり、青みがかった白になります。 色温度が低くなり、赤みがかった白になります。
-------------	--

ホワイトピーキング (ページ1)

白の明るさを選択します。暗くしたほうがより自然な映像になります。

ホワイトバランス (ページ2)

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	画像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	画像の白色を調整します。

色補正 (ページ3)

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ(紫)、シアン(明るい青緑)の各色の色味と色の濃さを調整できます。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 紫あるいはシアンがかかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかかったシアンに調整できます。
カラーゲイン	全体の色の濃さを調整します。

注意

- [参照] で「プレゼンテーション」を選択した場合は、[色補正] は選択できません。
- [ホワイトバランス] を操作した場合は、[色温度] の数値と実際の色合いが異なります。

●信号形式

RGBまたはコンポーネント信号(コンピュータ/DVI(アナログ))を投写したとき、画像の色彩が不自然な場合に設定を切り替えます。

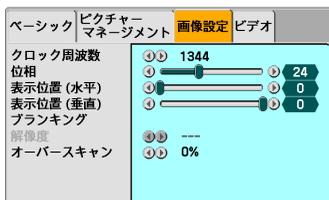
RGB	RGBに切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント信号に切り替えます。

●ビデオ帯域フィルタ

RGB信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター(文字などの微妙な揺れ)を低減させます。

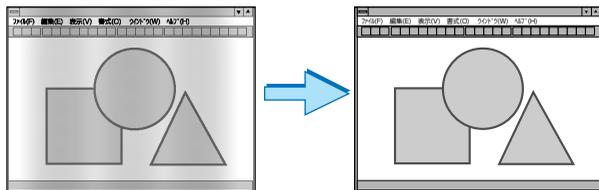
工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定されています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

画像設定



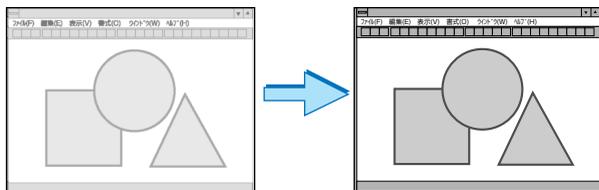
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



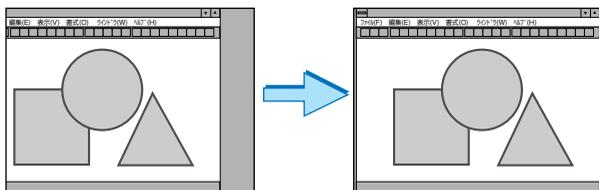
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



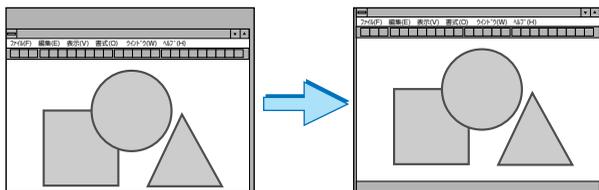
●表示位置 (水平)

画面を水平方向に移動します。



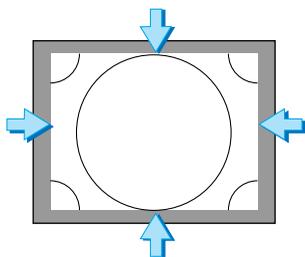
●表示位置 (垂直)

画面を垂直方向に移動します。



●ブランキング

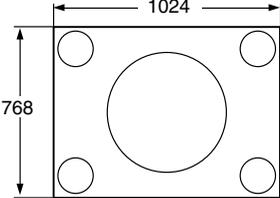
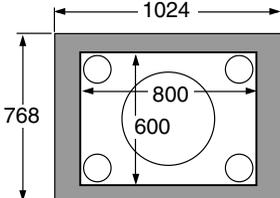
映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲（ブランキング）を調整します。



●解像度

パソコンの画面を投写するとき、（パソコンからの信号の解像度に関係なく）本機の表示画素数（1024×768ドット）になるように、自動的に拡大・縮小します。

本機の表示画素数より下の解像度（VGA、SVGAなど）の信号を投写した場合、「フル」と「リアル」を選択することができます。

フル	信号の解像度（VGA、SVGAなど）を、本機の表示画素数（1024×768）になるように自動的に拡大して投写します。	例：信号が800×600ドットの場合 
リアル	そのままの解像度で投写します。	例：信号が800×600ドットの場合 

注意

- 本機の表示画素数以上の解像度（XGA、SXGA、U-XGAなど）の信号を投写した場合、[解像度]は選択できません。
- [解像度]を「リアル」に設定すると、[4点補正]、[台形補正]、[アスペクト]、[スクリーン設定]、[オーバースキャン]は選択できません。また、設定を「フル」に戻すまで、各調整値、設定値は工場出荷状態になります。

参考

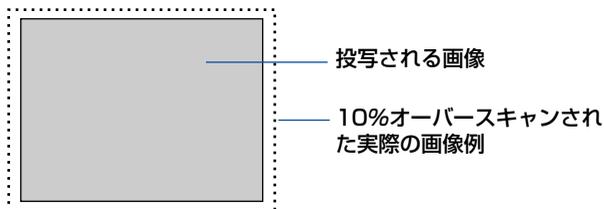
- アドバンスド・アキュブレンドを使って画面を拡大・縮小しています。
アドバンスド・アキュブレンドとは、パソコンの出力信号のドット数とプロジェクターの液晶パネルのドット数が一致しない場合（例：パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクターが1024×768ドット）や拡大表示する場合に、NEC独自のデジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示する技術です。

従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけだったので、表の罫線が数本完全に消えてしまう、斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい場合がありますが、アドバンスド・アキュブレンドにより、そのような点が解消、軽減されました。



●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



注意

- 入力信号によっては、0%が選択できない場合があります。

ビデオ



●ノイズリダクション

映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。



注意

- RGB信号のときは選択できません。

●カラーマトリクス

信号のタイプを選択します。

HDTV	ハイビジョン放送仕様の信号です。
SDTV	ハイビジョン放送仕様以外の信号です。



注意

- RGB信号のときは選択できません。

●I/P変換

インターレース信号が入力された場合、インターレースとデインターレース(インターレース解除)を切り替えることができます。

デインターレース(自動判別)	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「インターレース」を選択してください。
デインターレース(静止画)	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。
インターレース	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。

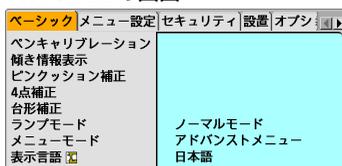
参考

- 工場出荷時、ビデオ/S-ビデオ映像入力は「デインターレース(自動判別)」に設定されています。

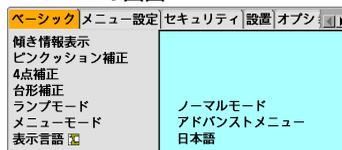
6-5. セットアップ

ベーシック

WT615Jの画面



WT610Jの画面



●ペンキャリブレーション (WT615Jのみ)

スクリーン上を電子ペンでタッチしたときの位置（座標）と、WT615J本体のセンサで検出する座標を合わせます。

操作について詳しくは、「3-9.電子ペンを使う」(▶62ページ)をご覧ください。



- 電子ペンをはじめて使用する場合、および本体またはスクリーンの設置位置を変更した場合は、電子ペンを使用する前に必ず「ペンキャリブレーション」を実行してください。

●傾き情報表示

本機を水平に設置するために、前後左右の傾き情報を表示します。

操作について詳しくは、「3-3.投写画面の位置と大きさを調整する（フォーカス調整）」(▶49ページ)をご覧ください。

WT615Jでは、本機に対するスクリーンの左右方向の傾き情報も表示できます。傾き情報を表示するには、電子ペンを使って、画面に表示された2つのポイントをタッチします。

●ピンクッション補正

投写画面が糸巻き型または樽型に歪んでいる場合に補正を行います。

操作について詳しくは、「3-7.糸巻き型または樽型の歪みを調整する（ピンクッション補正）」(▶59ページ)をご覧ください。

●4点補正



- 1 (SELECT ▼▲▶◀) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。

- 3 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、画面の外枠を動かす。
- 4 (ENTER) ボタンを押す。
- 5 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、別の角の「▼」を選ぶ。
- 6 手順 2 ～ 5 を繰り返し、画面サイズを調整する。
- 7 画面サイズの調整が終わったら、4点補正画面で [終了] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 8 (SELECT ◀▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
調整結果が確定します。
 - ・ [取消] を選ぶと、4点補正画面に戻ります。
 - ・ [リセット] を選ぶと、[4点補正] の調整値を工場出荷状態に戻します。
 - ・ [元に戻す] を選ぶと、4点補正を行う前の状態に戻ります。

●台形補正



- 1 (SELECT ◀▶) ボタンを押す。
水平方向の画面サイズが調整できます。
- 2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。
「垂直」を選択します。
- 3 (SELECT ◀▶) ボタンを押す。
垂直方向の画面サイズが調整できます。
- 4 画面サイズの調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。
メニューに戻ります。

注意

- [解像度] を「リアル」に設定しているときは、[4点補正]、[台形補正] は白文字になり選択できません。また、[解像度] を「リアル」に設定すると、すでに設定している [4点補正] および [台形補正] の設定は無効 (工場出荷状態) になります。
- [アスペクト] を [スタジアム] に設定しているときは、[4点補正]、[ピンクッション補正]、および [台形補正 (水平)] は白文字になり選択できません。[台形補正 (垂直)] のみ調整できます。
- [デジタルズーム] または [ピンクッション補正] を調整すると、[4点補正]、[台形補正] は白文字になり選択できません。
- [4点補正]、[台形補正] で台形歪みを調整している場合、[アスペクト] や [スクリーン設定] が変更できなくなることがあります。そのときは、[4点補正]、[台形補正] の調整値をいったんリセットし、各設定を変更したあと、再度 [4点補正]、[台形補正] で台形歪みを調整してください。
[アスペクト] や [スクリーン設定] を変更した場合、[4点補正]、[台形補正] の調整範囲が狭くなることがあります。

▲ **参考**

- (3D REFORM) ボタンを2秒以上押し、[ピンクッション補正]、[4点補正]、[台形補正]の調整値を工場出荷状態に戻すことができます。
- USBマウスを本機に接続すると、4点補正をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。左クリックで4つの角の位置合わせを行い、右クリックで確認画面を表示します。
- [4点補正]、[台形補正]での調整範囲は次の通りです。
 - 水平方向……………最大±約5度
 - 垂直方向……………最大0度～約5度※上記の最大調整範囲の条件(すべてを満たす場合)
 - ・入力信号がXGA信号の場合。
本機の表示画素数より上の解像度の信号を入力した場合は調整範囲が狭くなります。
 - ・メニュー項目を次のように設定した場合。
 - [アスペクト] ………………[4:3]
 - [スクリーンタイプ] (スクリーン設定) ………………[4:3]上記以外の設定では調整範囲は狭くなります。
 - ・水平・垂直を各々単独で調整した場合。
水平・垂直を組み合わせて調整すると、調整範囲は狭くなります。

● ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ交換時期を延ばすことができます。

ノーマルモード	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約75%になります。ランプ交換時期が延びます。ランプの輝度がさがるのと連動し、冷却ファンの回転数もさがります。

● メニューモード

ベーシックメニューとアドバンスとメニューを切り替えます。

ベーシックメニュー	基本的な項目に絞ったメニューです。
アドバンストメニュー	すべての項目を表示するメニューです。

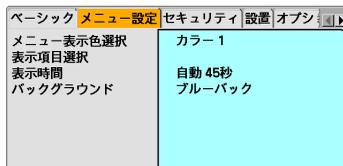
● 表示言語

メニューに表示される言語を選択します。

▲ **参考**

- 表示言語は、[リセット] を行っても変更されません。

メニュー設定



●メニュー表示色選択

本機のオンスクリーンメニューの表示色を変更します。

●表示項目選択

入力端子	画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。 「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。 ・入力信号を切り換えたときに、画面右上に[コンピュータ]などの入力端子名を表示します。 ・信号が入力されていないとき、画面右上に[無信号]と表示されます。
メッセージ	投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。 「オフ」を選択しても、次のメッセージは表示されます。 ・ランプ時間の警告(電源ON時のみ) ・セキュリティロック中の警告 ただし、ランプ時間の警告は(EXIT) ボタンを押すと表示が消えます。また、セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。



- 画面右上の端子表示は、[表示時間]で設定している時間だけ表示されます。[表示時間]で「手動」を選択している場合、画面右上の表示は消えません。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で閉じる時間を選択します。



- メニューが自動的に画面から消えたあとに (MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(EXIT) ボタン、(SELECT ▼/▲) ボタンのいずれかを押すと、閉じる前に表示していた状態のメニューが表示されます。
ただし、メニューが閉じている間に入力信号を切り替えた場合は、閉じる前に表示していたメニューは表示されず、通常メニュー操作と同様になります。
- テストパターンおよび[傾き情報表示]画面は、[表示時間]の設定に関係なく表示され続けます。

●バックグラウンド

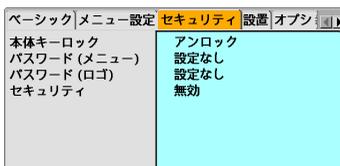
入力信号が無いときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

参考

- 「ロゴ」を選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、ビューワの「バックグラウンドロゴを登録する」をご覧ください。(101ページ)
- バックグラウンドは、[リセット]を行っても変更されません。

セキュリティ



●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

アンロック	本体操作部のボタンが働きます。
ロック	本体操作部のボタンが動かなくなります。

注意

- 本体キーロックの解除方法
本体の操作ボタンが「ロック」されているときに、本体の(EXIT) ボタンを約10秒間押し続けると、ロックが解除されます (本体キーロックの設定が「アンロック」になります)。

参考

- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体キーロックは、[リセット]を行っても解除されません。

●パスワード(メニュー)／パスワード(ロゴ)

- メニュー用パスワードを設定すると、ベーシックメニューからアドバンスドメニューに切り替えるときにパスワード確認画面を表示します。
- ロゴ用パスワードを設定すると、バックグラウンドを切り替えるとき(このページ)、およびビューワでロゴデータを変更するとき(101ページ)に、パスワード確認画面を表示します。

登録



パスワードを登録します（英数字で最大15桁）。

1 パスワードを入力する。

- ・パスワード入力欄にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。（[82ページ](#)）
- ・USBマウスで操作している場合は、パスワード入力欄左側の▼を左クリックします。
- ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。



●パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

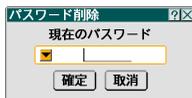
2 パスワードを入力したら、**[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
パスワード確認画面が表示されます。

3 手順**1**で入力したパスワードを、再度入力する。

- ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

4 **[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
パスワードが登録されメニューに戻ります。

削除



登録しているパスワードを削除します。

1 パスワードを入力する。

- ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

2 **[確定]**にカーソルを合わせ、**(ENTER)**ボタンを押す。
パスワードが削除されメニューに戻ります。

参考

- 登録したロゴ用パスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口（NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。
- パスワード（メニュー）およびパスワード（ロゴ）は、**[リセット]**を行っても解除されません。

●セキュリティ

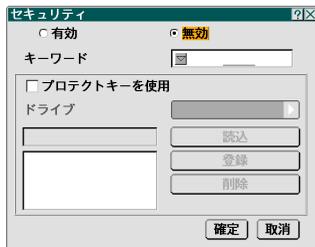
キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。また、USBメモリやフラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録することで、本機の電源を入れたときに、登録したカードが本機にセットされていないと投写できないようにします。

詳しい操作は「4-10.セキュリティを設定して無断使用を防止する」をご覧ください。（[81ページ](#)）



- USBメモリ（WT615Jに添付されているものを含む）やフラッシュメモリカードをプロテクトキーとして使用する場合は、購入後に1度フォーマットしたものを必ず使用してください。
購入後に1度もフォーマットしていないものをプロテクトキーとして使用すると、他のUSBメモリやフラッシュメモリカードを用いてセキュリティが解除されてしまう場合があります。

- USBメモリやフラッシュメモリカードをフォーマットする場合は、パソコンを使用して、FAT32形式、FAT16形式、またはFAT形式で行ってください。
本機は、NTFS形式でフォーマットされたUSBメモリやフラッシュメモリカードを認識できません。本機にセットしたUSBメモリやフラッシュメモリカードが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。



有効/無効	セキュリティを有効にするか、無効にするかを選択します。	
キーワード	セキュリティを使用する際に必要なキーワードを入力します(最大10文字)。キーワードを入力しないとセキュリティは有効になりません。	
プロテクトキーを使用	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける)	キーワードとUSBメモリ(またはフラッシュメモリカード)の両方を登録してセキュリティロックをかけます。
	<input type="checkbox"/> (チェックマークを外す)	キーワードのみでセキュリティロックをかけます。
ドライブ	プロテクトキーの場所(PCカードスロットまたはUSB)を切り替えます。	
読み込み	登録するUSBメモリ(またはフラッシュメモリカード)の情報を読み込みます。	
登録	読み込んだUSBメモリ(またはフラッシュメモリカード)の情報を登録します。 [プロテクトキーを使用]に <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク)を付けた場合、USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)が1つも登録されていないとセキュリティは有効になりません。 最大5枚のカードを登録できます。	
削除	登録したフラッシュメモリカードの情報を削除します。	

セキュリティを有効にする

USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)を使用しない場合

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンで[キーワード]にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。

重要 ● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 2 (SELECT▼/▲) ボタンで[無効]にカーソルを合わせ、(SELECT◀/▶) ボタンで[有効]にカーソルを合わせる。
- 3 (SELECT▼/▲) ボタンで[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)をプロテクトキーとして使用する場合

準備：USBメモリを本機のUSBポート(タイプA)に接続してください。

(▶ 23ページ)

またはフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。(▶ 42ページ)

1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [プロテクトキーを使用] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

(チェックマーク) が付きます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで [読込] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)の情報が読み込まれます。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンで [登録] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
読み込まれたUSBメモリ(またはフラッシュメモリカード)の情報が登録され、登録リストに表示されます。

4 (SELECT ▼/▲) ボタンで [キーワード] にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

5 (SELECT ▼/▲) ボタンで [無効] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで [有効] にカーソルを合わせる。

6 (SELECT ▼/▲) ボタンで [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)を使用しない場合

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

2 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。

3 キーワード入力画面にキーワードを入力する。

セキュリティロックが解除され、選択されている信号を投写します。

USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)をプロテクトキーとして使用する場合

準備：情報を登録したUSBメモリを本機のUSBポート(タイプA)に接続してください。(▶ 23ページ)

または情報を登録したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください。(▶ 42ページ)

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。

電源が入り、USBメモリ(またはフラッシュメモリカード)が認識されると入力信号を投写します。

電源が入ったあとはUSBメモリ(またはフラッシュメモリカード)を抜いてもそのまま動作します。

注意

- 本機の電源を入れたとき、情報を登録したUSBメモリ（またはフラッシュメモリカード）が本機にセットされていないと、セキュリティロック中のメッセージが表示され画面が投写されません。その場合は、情報を登録したUSBメモリ（またはフラッシュメモリカード）を本機にセットすると、セキュリティロックを解除することができます。
- セキュリティロックの解除状態は、主電源をOFFする（主電源スイッチを「O（切）」にするか、電源コードを抜く）まで保持されます。
次の場合に、プロテクトキーのチェック、もしくはキーワードの要求を行います。
 - (1) セキュリティ設定画面で「確定」して電源をOFFしたあとと電源をONしたとき。
 - (2) セキュリティ有効中に主電源をOFFしたあと再び主電源をONにし電源をONしたとき。
 - (3) セキュリティ有効中にセキュリティ設定画面を表示しようとしたとき。
- キーワードに空白（スペース）は使用できません。

登録したカード情報を削除する

- 1** (SELECT ▼/▲) ボタンで「削除」にカーソルを合わせ、(SELECT ◀) ボタンで登録リスト内にカーソルを移動する。
- 2** (SELECT ▼/▲) ボタンで削除したいUSBメモリ（またはフラッシュメモリカード）の情報を選択する。
- 3** (SELECT ▶) ボタンで「削除」にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
USBメモリ（またはフラッシュメモリカード）の情報が削除されます。

注意

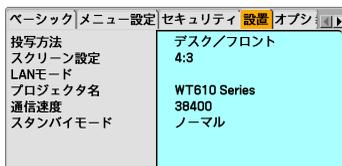
- USBメモリ（またはフラッシュメモリカード）によってはプロテクトキーとして登録できないものもあります。
- 登録したUSBメモリ（またはフラッシュメモリカード）が破損、紛失したときのために、複数のUSBメモリ（またはフラッシュメモリカード）を登録しておくことをおすすめします。最大5つのUSBメモリ（またはフラッシュメモリカード）を登録できます。
- プロテクトキーとして登録したあと、USBメモリ（またはフラッシュメモリカード）をフォーマットすると、プロテクトキーとして認識できなくなります。

参考

- プロテクトキーとして登録したカードを紛失してしまったときの対応
 - 1** POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
 - ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。
 - 2** (MENU) ボタンを押す。
キーワード入力画面といっしょにお問い合わせコード（Request Code）（英数字24文字）が表示されます。

- セキュリティ設定画面で登録したキーワードと、表示されたお問い合わせコードの2つをお客様問い合わせ窓口（NECプロジェクター・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。解除コード（Release Code）をお知らせします。
 - 3** キーワード入力画面に解除コードを入力する。
セキュリティロックが解除されます。
- キーワードを忘れたときの対処
お客様問い合わせ窓口（NECプロジェクター・カスタマサポートセンター）にご連絡ください。
- セキュリティは、[リセット] を行っても解除されません。

設置



●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

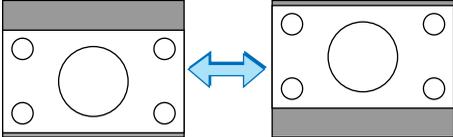


警告

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置したときは、本機にぶらさがらないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク/フロント	置き台に設置してスクリーンの 前面から投写	
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの 背面から投写	
デスク/リア	置き台に設置してスクリーンの 背面から投写	
天吊り/フロント	天井に設置してスクリーンの 前面から投写	

●スクリーン設定

スクリーンタイプ	投写するスクリーンの比率を設定します。 <table border="1"><tr><td>4 : 3</td><td>縦横比が4 : 3のスクリーンの場合</td></tr><tr><td>16 : 9</td><td>縦横比が16 : 9のスクリーンの場合</td></tr></table>	4 : 3	縦横比が4 : 3のスクリーンの場合	16 : 9	縦横比が16 : 9のスクリーンの場合
4 : 3	縦横比が4 : 3のスクリーンの場合				
16 : 9	縦横比が16 : 9のスクリーンの場合				
表示位置	[スクリーンタイプ]が「16 : 9」のときに、表示領域の垂直位置を調整します。 下へ↓  上へ↑				

注意

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。([120ページ](#))
- [スクリーンタイプ] が「4 : 3」のとき、および [アスペクト] が「レターボックス」のときは、[表示位置] は灰色の文字になり選択できません。
- 台形補正または4点補正で投写画面の台形歪みを調整している場合、[スクリーンタイプ] および [表示位置] の設定を変更できないことがあります。そのときは、台形補正または4点補正の調整値をいったんクリアし、[スクリーンタイプ] や [表示位置] の設定を変更したあと、再度台形補正または4点補正で投写画面を調整してください。[スクリーンタイプ] や [表示位置] の設定を変更した場合、台形補正および4点補正の調整範囲が狭くなる場合があります。

●LANモード

重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 市販の有線LANカード、または添付の無線LANカード(形名NWL-100E)を本機のPCカードスロットにセットしてください。
本機で使用可能な有線LANカードについては、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。
- PCカードスロットへのセット方法は、「2-8. 無線LANカードやフラッシュメモリカードを本機にセットする」([42ページ](#))をご覧ください。
- LANカードのセット／取り出しは、本機の主電源スイッチが「○ (切)」のときに行ってください。
本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときにLANカードのセット／取り出しを行うと、LANカードが壊れたり、本機が誤動作することがあります。
万一本機が誤動作した場合は、本機の主電源スイッチを切り、電源を入れなおしてください。

参考

- LANモードの各設定は、[リセット] を行っても変更されません。

本機にLANの設定を行うヒント

● LANの設定を行うには？（設定を本機のメモリに記憶するには？）

[プロファイル] ページを表示し、[プロファイル] のリストから、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。

本機では、LANの設定を2通り、メモリに記憶することができます。

続いて、同じページで、[DHCP] の有効/無効、[IPアドレス]、[サブネットマスク] などの設定後、[確定] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。(▶140ページ)

● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

[プロファイル] ページの [プロファイル] のリストから呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。(▶140ページ)

● DHCPサーバに接続するには？

[プロファイル] ページで [DHCP] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

チェックマークが付きます。[DHCP] にカーソルを合わせ、もう一度 (ENTER) ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCPサーバを使用せず直接IPアドレスを設定する場合は、[DHCP] のチェックマークを外してください。(▶140ページ)

● 無線LAN特有の設定 (通信モードやWEP) を行うには？

[プロファイル] ページの [プロファイル] で、「プロファイル1」または「プロファイル2」を選択します。

続いて、同じページの [詳細設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。[詳細設定] 画面が表示されます。(▶140ページ, 141ページ)

● 接続するSSIDを選択するには？

[プロファイル] ページの [詳細設定] → [通信モード] ページで [サイトサーベイ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。リストの中から、接続するSSIDにカーソルを合わせます。(SELECT▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し (ENTER) ボタンを押します。

または、同じ [通信モード] ページで、[通信モード] を「インフラストラクチャ」に設定します。(▶142ページ)

● プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーをEメールで受け取るには？

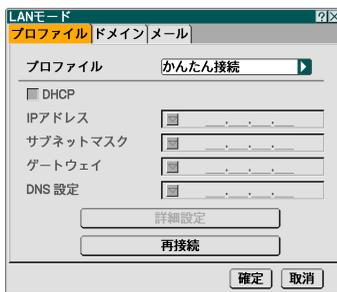
[メール] ページで [メール通知] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTPサーバ名]、[宛先アドレス] などを設定し、[確定] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。(▶144ページ)

● Image Express Utility 2.0 を使って “かんたん接続” を行うには？

添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0 では、無線LANを使ったパソコンとプロジェクターの接続を少ない手順で行う “かんたん接続” モードがあります。

“かんたん接続” を行う場合は、[プロファイル] ページの [プロファイル] のリストの中から “かんたん接続” を選択します。

(注) パソコン側の無線LANカードによっては、“かんたん接続” が動作しないことがあります。



<p>プロフィール</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 2通りのLANの設定を本機のメモリに記憶することができます。 • 「プロフィール 1」、「プロフィール 2」を選択し、[DHCP] 以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の [確定] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。設定内容が本機のメモリに記憶されます。 • 本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、[プロフィール] から選んで画面下の [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。 • 添付のUser Supportware 2 CD-ROMに収録しているImage Express Utility 2.0を使って“かんたん接続”を行う場合は、[プロフィール] のリストから「かんたん接続」を選択します。 	<p>—</p>
<p>DHCP</p>	<p>本機を接続するネットワークが、DHCPサーバによってIPアドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IPアドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ☑ (チェックマークを付ける) ……DHCPサーバによってIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 • ☐ (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスやサブネットマスクを設定します。 	<p>—</p>
<p>IPアドレス</p>	<p>[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIPアドレスを設定します。</p>	<p>数字 12文字</p>
<p>サブネットマスク</p>	<p>[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。</p>	<p>数字 12文字</p>

ゲートウェイ	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12文字
DNS設定	本機を接続するネットワークのDNSサーバのIPアドレスを設定します。	数字 12文字
詳細設定	無線LANに接続するための詳細設定（通信モード、WEP）を行います。	—
再接続	ネットワークの接続を試みます。[プロファイル] を変更したときなどに実行してください。	—



- 注意** ● [プロファイル] で「かんたん接続」を選択した場合は、DHCP以下の項目の設定を変更できません。

詳細設定(通信モード) (無線LAN使用時のみ設定が必要)



サイトサーベイ	<p>その場所で接続可能な無線LANのSSIDをリスト表示し、リストの中から接続するSSIDを選択します。SSIDを選択するには、SSIDにカーソルを合わせ、(SELECT ▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し、(ENTER) ボタンを押します。リストに表示されるアイコンは、次の意味を持っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> : アクセスポイント : パソコン (アドホック) : WEPの設定あり <p>注意 ● チャンネルが14のSSIDはリストに表示されないため、接続することができません。</p>	—
SSID	無線LANの識別名 (SSID) を入力します。SSIDが一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大32文字 注：大文字と小文字は区別されます。

通信モード	<p>無線LANを使用するときの通信方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インフラストラクチャ……アクセスポイントを経由して、有線LANや無線LANで接続されている複数の機器と通信を行うときに選択します。 ・ 802.11アドホック……通信手段として無線LANのみを使って、本機とパソコンをピアツーピア (peer to peer) で通信する際に選択します。 	—
-------	--	---

詳細設定 (WEP) (無線LAN使用時のみ設定が必要)



WEP	<p>WEP (暗号化) をするかしないかを選択します。 暗号化する場合は、暗号キーを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無効 ……WEP (暗号化) を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。 ・ 64bit ……秘密鍵に64bit長のデータを使います。 ・ 128bit ……秘密鍵に128bit長のデータを使います。 ・ 152bit ……秘密鍵に152bit長のデータを使います。 64bit < 128bit < 152bit というようにbit数が大きくなるにつれセキュリティが強化されます。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WEPは、無線をする相手の機器 (パソコンやアクセスポイント) と同じ設定にしてください。 ● WEPを使用すると、画像転送速度が低下します。 												
キーインデックス	<p>[WEP] で「64bit」、「128bit」または「152bit」を選択した場合、下のキー1～キー4のどの暗号キーを使うかを選択します。</p>												
キー1/キー2/ キー3/キー4	<p>[WEP] で「64bit」、「128bit」または「152bit」を選択した場合、暗号キーを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最大入力文字数 <table border="1" data-bbox="396 1382 967 1490"> <thead> <tr> <th>選択ビット</th> <th>英数文字 (ASCII)</th> <th>16進数 (HEX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64bit</td> <td>5文字</td> <td>10文字</td> </tr> <tr> <td>128bit</td> <td>13文字</td> <td>26文字</td> </tr> <tr> <td>152bit</td> <td>16文字</td> <td>32文字</td> </tr> </tbody> </table>	選択ビット	英数文字 (ASCII)	16進数 (HEX)	64bit	5文字	10文字	128bit	13文字	26文字	152bit	16文字	32文字
選択ビット	英数文字 (ASCII)	16進数 (HEX)											
64bit	5文字	10文字											
128bit	13文字	26文字											
152bit	16文字	32文字											

●暗号キーの入力（英数文字入力と16進数入力の切り替え）

[キー1]～[キー4]に暗号キーを入力する場合は、次のように操作します。

- 1 カーソルが [キー1] ～ [キー4] に合っているときに (ENTER) ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。



- 2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字が入力されます。

- ・文字入力画面の操作については、111ページをご覧ください。
- ・暗号キーを入力する場合は、英数文字 (ASCII) と16進数 (HEX) の2通りの入力が行えます。次のようにして切り替えます。
- ・文字入力画面の左下に「HEX」と表示されているときは、英数文字 (ASCII) が入力できます。
- ・16進数を入力する場合は、「HEX」にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押します。「HEX」表示が「ASCII」表示に変わります。
- ・文字入力画面の左下に「ASCII」と表示されているときは、16進数が入力できます。
- ・16進数入力の場合は、入力欄の先頭に自動的に「0x (ゼロエックス)」と表示されます。

- 3 暗号キーを入力したら、(SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押して、[確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

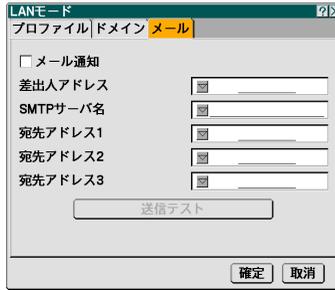
●ドメイン



本機のホスト名とドメイン名を設定します。

ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大60文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大60文字

●メール



<p>メール通知</p>	<p>本機をLANに接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでパソコンなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。 <p>【本機から送信されるEメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。</p> <p>プロジェクト名：xxxx</p> <p>ランプ使用時間：xxxx [H]</p> <p>機器使用時間：xxxx [H]</p> </div>	
<p>差出人アドレス</p>	<p>本機からEメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。</p> <p>Eメールの「from」にあたるアドレスです。</p>	<p>英数字、記号 最大60文字</p>
<p>SMTPサーバ名</p>	<p>本機が接続をするネットワークのSMTPサーバを設定します。</p>	<p>英数字 最大60文字</p>
<p>宛先アドレス1 宛先アドレス2 宛先アドレス3</p>	<p>本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は3つまで設定できます。</p> <p>Eメールの「to」にあたるアドレスです。</p>	<p>英数字、記号 最大60文字</p>
<p>送信テスト</p>	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、LANモードの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。 	

注意

- 無線LANでメール通知を使用する場合は、[通信モード]で「インフラストラクチャ」を選択してください。
- 次の3つの項目が設定されていないと[送信テスト]は選択できません。
「差出人アドレス」、「SMTPサーバ名」、「宛先アドレス1~3(のいずれか)」
- 「メール」以外のLANモードの設定を変更した場合は、[確定]を選んで変更した設定を決定したあとで、[送信テスト]を行ってください。

●プロジェクト名

本機を含む複数のプロジェクトがLANに接続されている場合、パソコン側でプロジェクトを識別するのに使います。

英数字および記号が使用でき、最大16文字まで入力できます。

参考

- プロジェクト名は、[リセット]を行っても変更されません。

●通信速度

PCコントロール端子(PC CONTROL)のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

参考

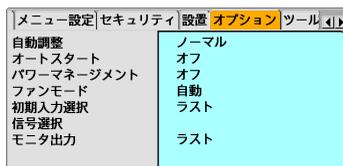
- 通信速度は、[リセット]を行っても変更されません。

●スタンバイモード

本機のスタンバイ状態をノーマルモードまたは省電力モードに切り替えます。

ノーマル	本機の電源を切ったときにモニタ出力端子(MONITOR OUT)から映像・音声信号が出力されます。
省電力モード	本機の電源を切ったときに省電力モードになります。 省電力モードでは、ノーマルモードのときに比べ消費電力が低くなります。

オプション



●自動調整

調整されていないRGB信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 本体の(AUTO ADJUST)ボタン、またはリモコンの(AUTO ADJ.)を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあとと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- 本体の (AUTO ADJUST) ボタン、またはリモコンの (AUTO ADJ.) を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●オートスタート

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	スタンバイ状態になります。
オン	オートスタートが動作し本機の電源が入ります。

注意

- オートスタートを有効にする場合は、本機の主電源スイッチを常に「入」にしておいてください。

●パワーマネージメント

入力選択がコンピュータ、DVI (デジタル)、DVI (アナログ)、ビデオ、S-ビデオのとき、設定した時間 (5分、10分、20分、30分) 以上信号入力がないと自動で本機の電源を切りスタンバイ状態にします。

オフ	パワーマネージメント機能は動きません
オン	自動的にスタンバイ状態になります。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるため冷却ファンを、常に高速で回転させます。

自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転させます。

注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」にしてください。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号 (入力端子) にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を映します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を映します。
選択	選択した入力信号を映します。 この選択項目の下のプルダウンリストの中から、目的の入力信号を選択します。

●信号選択

本機の各映像入力端子の信号モードを選択します。

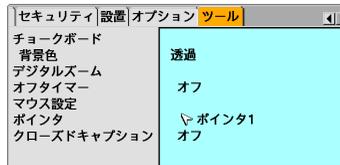
コンピュータ、 DVI (アナログ)	DVDプレーヤなどのコンポーネント出力を、コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) およびDVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) に専用ケーブルで接続する場合に選択します。(37ページ) また、コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) には、欧州で使用されているSCARTケーブルを接続することができます。
ビデオ/S-ビデオ	NTSCやPALなど、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。

●モニタ出力

本機がスタンバイ状態のときにモニタ出力端子 (MONITOR OUT) から出力する信号を選択します。

ラスト	コンピュータ、DVI (アナログ) のうち、スタンバイ状態になる前に出力していた信号を出力します。
コンピュータ	コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER IN) の信号を出力します。
DVI (アナログ)	DVI-I映像入力端子 (DVI-I IN) のアナログRGB信号を出力します。

ツール



●チョークボード

市販のUSBマウスを本機に接続すると「チョークボード」機能が使用できます。また、WT615Jの電子ペンでも「チョークボード」機能を使用できます。操作について詳しくは、「4-8.投写画面に文字や図形を描く (チョークボード)」([75ページ](#)) をご覧ください。

●背景色

チョークボード画面の背景色を選択します。

●デジタルズーム



ズーム	投写画面の大きさを微調整します。 0～100（80～100%）の範囲で調整できます。
表示位置（水平）	投写画面の水平方向の位置を調整します。
表示位置（垂直）	投写画面の垂直方向の位置を調整します。



- [ズーム] は、アスペクト比を維持したまま、縦横の長さが80%まで縮小します。
- [表示位置（水平／垂直）] は、[ズーム] で縮小した画面を、縦横の長さが100%の範囲内で移動することができます。
- [4点補正] または [台形補正] を調整すると、[デジタルズーム] は白文字になり選択できません。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておくこと、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。[登録時間]後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。[残り時間]には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

●マウス設定

市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。
(74ページ)

このときのマウスの設定です。

マウスポインタ	投写画面に表示されるマウスポインタの形状（デザイン）を選択します。				
ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>右手用</td> <td>マウスボタンが右手用の動作をします。</td> </tr> <tr> <td>左手用</td> <td>マウスボタンが左手用の動作をします。</td> </tr> </table>	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。	左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。
右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。				
左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。				
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。				

●ポインタ

投写画面にポインタを表示する (71ページ) ときのポインタの形状（デザイン）を選択します。

●クローズドキャプション

ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に、字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。



- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に映し出す際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

6-6. 情報

使用時間 信号 ページ1 信号 ページ2 LAN プロファイル LAN 無線

ランプ残量 100%

ランプ使用時間 00000[時間]

機器使用時間 00000[時間]

使用時間 信号 ページ1 信号 ページ2 LAN プロファイル LAN 無線

入力端子 S-ビデオ

信号形式 S-ビデオ

ビデオ標準 コンポーネント60Hz

信号名 S-VIDEO

登録番号 4

使用時間 信号 ページ1 信号 ページ2 LAN プロファイル LAN 無線

水平同期周波数 60.00[kHz]

垂直同期周波数 75.03[Hz]

同期形態 セパレート

同期極性 H:(+) V:(+)

インターレース ノンインターレース

使用時間 信号 ページ1 信号 ページ2 LAN プロファイル LAN 無線

IPアドレス 192.168. 10. 11

サブネットマスク 255.255.255. 0

ゲートウェイ

MACアドレス 00-02-70-00-00-11

信号 ページ1 信号 ページ2 LAN プロファイル LAN 無線 Vers

SSID NECPJ

通信モード インフラストラクチャ

WEP オン

チャンネル 2

信号レベル 30 %

信号 ページ2 LAN プロファイル LAN 無線 Version

Firmware 1.00

Data 1.00

ランプ使用時間、本機の使用時間、入力選択されている入力信号の詳細、PCカード(無線LANカード)のLAN設定の状態、およびバージョン情報を表示します。

- 信号ページ1, 信号ページ2は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(164ページ)もあわせてご覧ください。

参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプ交換時間(目安)*が異なります。

[ランプ使用時間] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます(メッセージは、投写中も表示され続けます)。

新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-3. ランプの交換」をご覧ください。(154ページ)

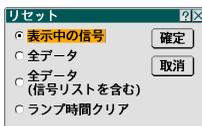
- ランプ交換時間(目安)*に到達(ランプ残量0%)後、[ランプ残量]表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量]表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして[ランプ残量]表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードでのみ使用 (最小)	エコモードでのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ交換時間 (目安)*	2000時間	4000時間	0%

*保証時間ではありません。

- 機器使用時間は、[リセット]を行っても変更されません。

6-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

[信号リスト]・[表示言語]・[バックグラウンド]・[本体キーロック]・[パスワード(メニュー)]・
[パスワード(ロゴ)]・[セキュリティ]・[LANモード]・[プロジェクト名]・[通信速度]・
[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[機器使用時間]・[スタンバイモード]・
[ペンキャリブレーション]

●全データ (信号リストを含む)

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

[表示言語]・[バックグラウンド]・[本体キーロック]・[パスワード(メニュー)]・
[パスワード(ロゴ)]・[セキュリティ]・[LANモード]・[プロジェクト名]・[通信速度]・
[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[機器使用時間]・[スタンバイモード]・
[ペンキャリブレーション]

注意 ● 信号リストでロックされている信号の調整値は削除されません。

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに[ランプ残量]と[ランプ使用時間]をクリアします。

第7章

本体のお手入れ／ランプの交換

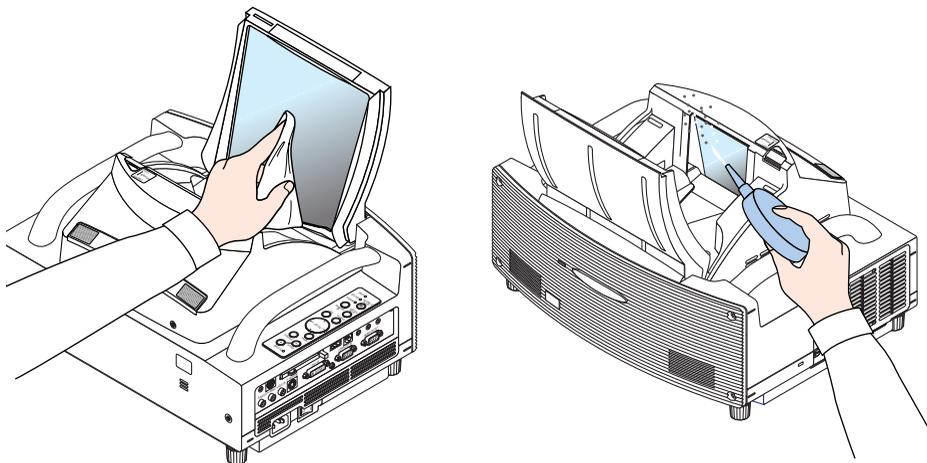


7-1. ミラーの清掃	152
7-2. キャビネットの清掃	153
7-3. ランプの交換	154

7-1. ミラーの清掃

ミラーを清掃する場合は、添付のミラー用クリーニングクロス(布)を使用してください。その際、ミラーを傷つけないように十分注意してください。

また、ミラー部分(光線の通り道)の底やミラーの周辺に溜まっているほこりやゴミなどを取り除く場合は、市販のカメラ用ブローワーを使用してください。

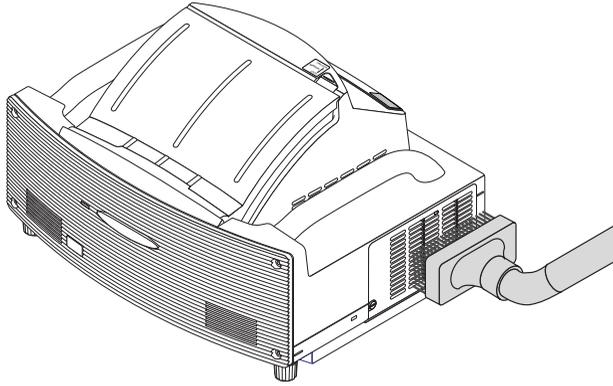


注意

- ミラーの清掃は、主電源スイッチを切った状態で行ってください。
- 掃除機は、ミラーを傷つけるので使用しないでください。
- ガラスクリーナーは、ミラー表面が腐食する原因になるため使用しないでください。
- 投写中、ミラー部分(光線の通り道)は高温になるため、ミラー部分に異物が入らないように注意してください。
- ミラー部分(光線の通り道)には異物を感知するセンサがあり、センサが異物を感知すると、本機の電源が入りません。また、投写中にセンサが異物を感知すると、映像が消えます。これらのとき、STATUSインジケータが赤色で点灯します。
- ミラー部分(光線の通り道)の底には温度センサがあり、センサが高温を感知すると、本機の電源が入りません。また、投写中にセンサが高温を感知すると、ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。これらのとき、STATUSインジケータが赤色で点滅します。

7-2. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の掃除については、お買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやミラーおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-3. ランプの交換

光源に使われているランプの使用時間が2000時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間（目安）*が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安は149ページをご覧ください。

- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名WT61LPとご指定ください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターまたは販売店に交換を依頼してください。
- ランプ交換時間（目安）*に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※保証時間ではありません。



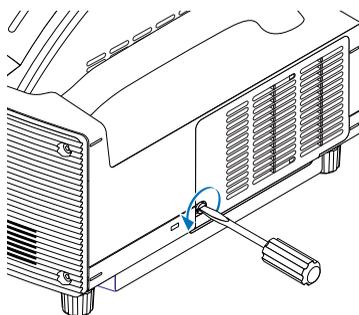
注意

ランプの交換は、電源を切り約90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

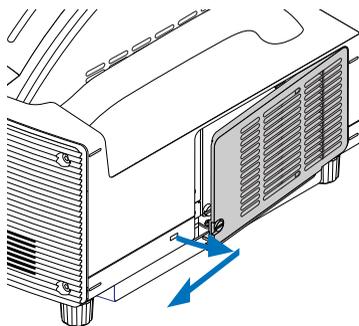
準備：マイナスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

- ① ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
 - ・ネジは外れません。

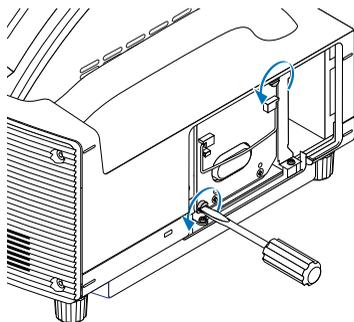


- ② ランプカバーネジ側を持ち上げ、引いて外す。

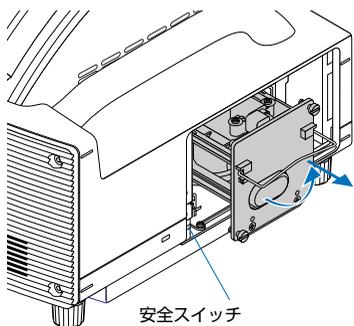


② ランプハウスを外す。

- ① ランプハウス固定のネジ(2箇所)を左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。

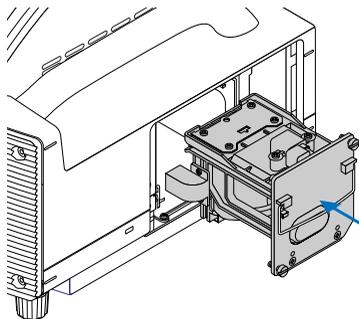


- ② ランプハウスの取っ手を持って引く。
・本機には安全スイッチが付いています。
安全スイッチには触れないでください。



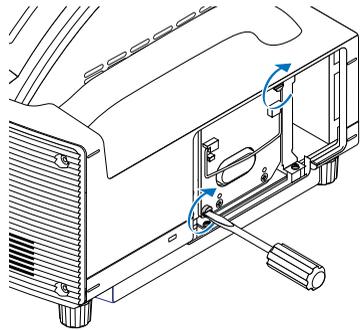
③ 新しいランプハウスを取り付ける。

- ① ランプハウスを静かに入れる。



- ② ランプハウス固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。

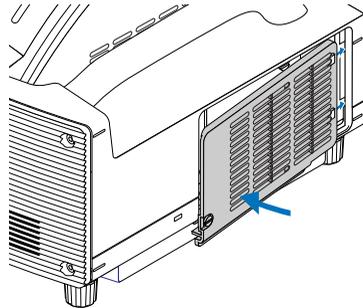
・ネジは確実にしめてください。



- ③ ランプハウスの取っ手を倒す。

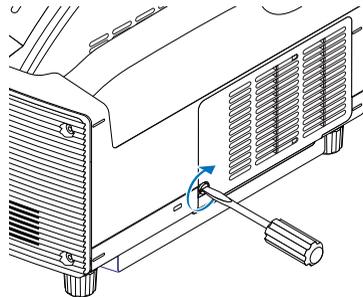
4 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーのツメを本体のガイドに入れ、ランプカバーを閉める。



- ② ランプカバーネジを右に回してしめる。

・ネジは確実にしめてください。



5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

6 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

オンスクリーンメニューの [リセット] で、「ランプ時間クリア」を実行してください。

(▶ 150ページ)

これで、ランプ交換が終わりました。

参考

- ランプ交換時間 (目安)* (ノーマルモードのみ使用時2000時間) に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの (HELP) ボタンを10秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。

※保証時間ではありません。

第8章

付録

.....

故障かな？と思ったら	158
インジケータ表示一覧	162
対応解像度一覧.....	164
外観図	165
関連商品一覧	166
コンピュータ映像入力端子の ピン配列と信号名	166
仕様	167
トラブルチェックシート	169
保証と修理サービス (必ずお読みください) ...	171
索引	172
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターと ビューライトクラブのご案内.....	裏表紙

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	44ページ
	主電源スイッチは「I (入)」になっていますか。	47ページ
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	156ページ
	ランプ交換時間 (目安)*を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの (HELP) ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	149ページ
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	163ページ
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「パワーマネージメント」を「オン」にしていませんか。	146ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいませんか。	56ページ
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	34ページ～ 40ページ
	[調整]の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	119ページ
	DVDプレーヤをコンピュータ映像入力端子またはDVI-I映像入力端子と接続しているとき、RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。	147ページ
	RGB (コンピュータ) 入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	164ページ
	RGB (コンピュータ) 入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	58ページ
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、160ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	112ページ
	それでも解決しない場合は、[リセット]を行ってみてください。	150ページ
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	135ページ

	ランプの消灯直後やランプの温度が高いときに電源を入れると、しばらくの間冷却ファンのみが回転し、映像が投写されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
映像が歪む	正しく設置されていますか。	49ページ
	台形状に歪む場合はフォーカス調整または台形補正を行ってください。	51ページ
映像がぼやける	フォーカスは合っていますか。	50ページ
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	49ページ
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	31ページ
	ミラーなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとミラーや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	RGB(コンピュータ)入力の場合は、本体の(AUTO ADJUST)ボタンまたはリモコンの(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。	58ページ
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB(コンピュータ)入力の場合、[表示位置(水平、垂直)]を正しく調整しましたか。	124ページ
	RGB(コンピュータ)入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	164ページ
RGB(コンピュータ)入力 で文字がちらついたり 色がずれている	オンスクリーンメニューの[クロック周波数]と[位相]を調整してください。	124ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	26ページ
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	26ページ
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	27ページ
	リモコンの有効範囲(7m)を超えていませんか。	26ページ
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のUSBケーブルで、本機とパソコンを接続してください。	76ページ
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	162ページ
USBマウスが動作しない	USBマウスが正しく取り付けられていますか。マウスによっては使用できないものもあります。	74ページ
電子ペンが動作しない (WT615Jのみ)	[ペンキャリブレーション]を行いましたか。	62ページ
	次のような場所で使用していませんか。 ・スクリーン面にエアコンなどの風が直接当たる。 ・インバータ蛍光灯の近く。 ・金属などの音を反射しやすい材質の壁や天井で囲まれた場所。 ・CRTディスプレイやテレビなどの近く。 ・直射日光が当たる場所。	33ページ

<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカーからの音や騒音がする場所。 ・室内にWT615Jが複数台設置されている。 	33ページ
複数の電子ペンを同時に使用していませんか。	27ページ
電子ペンの電池が消耗していませんか。 新しい電池と交換してください。	28ページ
電子ペンの使用条件を満たしていますか（スクリーンサイズ、投写方法、アスペクトなど）。	28ページ
本機とパソコンがUSBケーブルで接続されているときは、電子ペンを使って、オンスクリーンメニューの表示、チョークボードの表示、ペンキャリプレーションの起動はできません。	76ページ

パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してください

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、「情報」の「水平同期周波数」を確認してください。
水平同期周波数が「_ _ _」と表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。(▶ 149ページ)

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機（IBM PC/AT 100%互換機）の場合は、[Fn] キー + [F1] ~ [F12] キーのいずれか（機種によって異なります）を押します。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ(市販品)を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

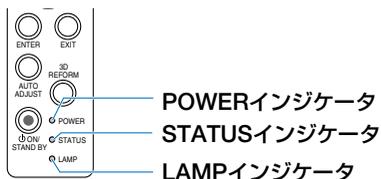
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源OFF	—	
点滅	緑色(短い点滅)	電源ON準備中	しばらくお待ちください。
	緑色(長い点滅)	オフタイマー(有効状態)	—
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源ON状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態〔スタンバイモード〕が「ノーマル」および「省電力」のとき	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし	—	
点滅	赤色(1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(●156ページ)
		ミラーカバー異常	ミラーが閉じています。ミラーを開いてください。(●20ページ)
	赤色(2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。
		ミラー部分の温度異常	ミラー部分が高温になっています。高温になる原因(ほこりや異物)を取り除いてください。(●152ページ)
	赤色(3回周期)	電源異常	電源が正常に動作していません。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色(4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	赤色(6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
点灯	緑色	ランプ再点灯処理中	ランプ再点灯処理中(本体冷却中)です。しばらくお待ちください。
	緑色	〔スタンバイモード〕が「ノーマル」のとき	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(●132ページ)
	赤色	ミラー部分の異物感知	ミラー部分のセンサが異物を感知しました。ミラー部分から異物を取り除いてください。

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプを交換してください。(🔗154ページ)
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。(🔗149ページ)
	緑色	ランプエコモード	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが赤で点滅します(2回点滅の繰り返し)。

同時に本機の「温度プロテクタ」機能が働いて、本機の電源が切れることがあります(この場合インジケータは点灯しません)。

このようなときは、以下のことを行ってください。

- 主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください。(🔗153ページ)
- 本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

対応解像度一覧

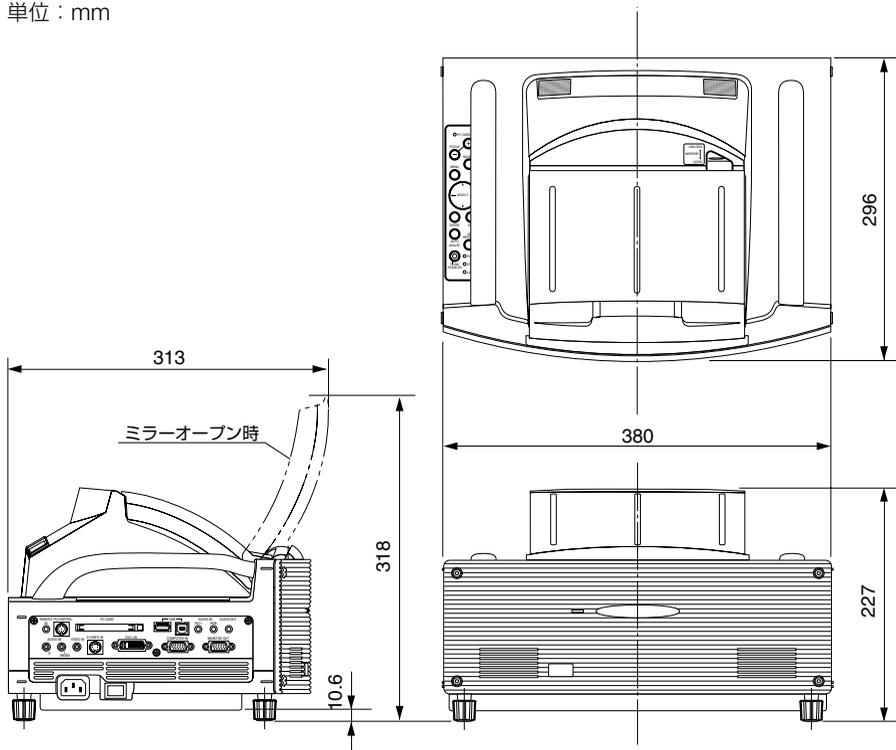
機種	解像度	走査周波数		対応状況	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
ビデオ	NTSC/PAL60	—	15.734	60.0	◎
	PAL/SECAM	—	15.625	50.0	◎
NEC PC98NXシリーズ IBM PC/AT互換機 DOS/V対応機	640 × 350	37.9	85.1	◎	
	640 × 400	37.9	85.1	◎	
	640 × 480	31.5	60.0	◎	
	640 × 480	37.9	72.8	◎	
	640 × 480	37.5	75.0	◎	
	640 × 480	39.4	75.0	◎	
	640 × 480	43.3	85.0	◎	
	720 × 350	31.5	70.1	◎	
	720 × 350	39.4	87.6	◎	
	720 × 400	39.4	87.6	◎	
	800 × 600	35.2	56.3	◎	
	800 × 600	37.9	60.3	◎	
	800 × 600	46.9	75.0	◎	
	800 × 600	48.1	72.2	◎	
	800 × 600	53.7	85.1	◎	
	1024 × 768	35.5	43.0	◎	
	1024 × 768	48.4	60.0	◎	
	1024 × 768	56.5	70.1	◎	
	1024 × 768	60.0	75.0	◎	
	1024 × 768	68.7	85.0	◎	
	1152 × 864	54.4	60.1	○	
	1152 × 864	67.5	75.0	○	
	1280 × 960	60.0	60.0	○	
	1280 × 960	85.9	85.0	○	
	1280 × 1024	64.0	60.0	○	
	1280 × 1024	80.0	75.0	○	
	1280 × 1024	91.1	85.0	○	
	1400 × 1050	—	—	○	
	1600 × 1200*	75.0	60.0	○	
	1600 × 1200*	81.3	65.0	○	
1600 × 1200*	87.5	70.0	○		
1600 × 1200*	93.8	75.0	○		
Apple Macintosh®	640 × 480	35.0	66.7	◎	
	832 × 624	49.7	74.6	◎	
	1024 × 768	60.2	74.9	◎	
	1152 × 870	68.7	75.1	○	
	1280 × 1024	69.9	65.2	○	
SUN	1152 × 900	61.8	66.0	○	
SGI	1152 × 900	71.7	76.1	○	
HDTV	750p (720p)	1280 × 720	45.0	60.0	○
	1125i (1080i)	1920 × 1080	28.1	50.0	○
	1125i (1080i)	1920 × 1080	33.75	60.0	○
SDTV /DVD	525i (480i)	—	15.7	59.9	◎
	525p (480p)	720 × 480	31.5	59.9	◎
	625i (576i)	—	15.6	50.0	◎
	625p (576p)	720 × 576	31.25	50.0	◎

- ・出荷時はその表示解像度/周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・ワークステーションとの接続に関する詳細は、当社にお問い合わせください。
- ・コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

- ・アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になる場合があります。
- * U-XGAはセパレート信号のみ対応です。
- ◎：リアル表示
- ：アドバンスド・アキュブレンド対応

外觀図

単位：mm

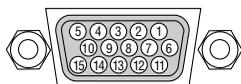


関連商品一覧

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ	WT61LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	WT60CM
スクリーン	40型パネルスクリーン	WT40SN
置き台	専用置き台	WT61ST
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102E
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1E
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1E
カード	無線LANカード	NWL-100E
ソフトウェア	NEC Projector User Supportware 2	NP01US

コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p (アナログ)

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	SCART同期入力*1	
12	Bi-directional DATA (SDA)*2	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock*2	

*1 欧州で使用されているSCARTケーブル用の同期入力です。

*2 DDC 2対応。

仕様

● プロジェクター本体

形名		WT615J / WT610J	
方式		単板DMD反射方式	
主要部品仕様	DMD/パネル	サイズ	0.7型 (アスペクト比 4:3)
		画素数*1	786,432画素 (1024ドット×768ライン)
	光源	275W DCランプ (ランプエコモード時 210W)	
	光学装置	カラーフィルタ回転による色分離	
画面サイズ (投写距離)		40~100型 (6.4~65.9cm) ※電子ペン使用時は、40~80型 (6.4~46.1cm)	
色再現性		フルカラー1,677万色	
音声出力		1W+1W スピーカ内蔵	
走査周波数	水平	15~100kHz (RGB入力は24kHz以上)	
	垂直	48~120Hz	
調整機能		デジタルズーム、電動フォーカス、入力信号切替 (RGB/DVI(デジタル)/DVI(アナログ)/ビデオ/S-ビデオ/ビューワ/LAN)、画像自動調整、画面拡大、3Dリフォーム、画面位置調整、ミュート (映像/音声とも)、オンスクリーン表示/選択、など	
最大表示解像度 (横×縦)		1600×1200 (アドバンスド・アキュブレンドによる表示)	
入力信号	R,G,B,H,V		RGB : 0.7Vp-p / 75Ω 正極性 H/V Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性 Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性 Sync on G : 0.3Vp-p / 75Ω 負極性
	コンポジットビデオ		75Ω 1.0Vp-p
	S-ビデオ		Y : 75Ω 1.0Vp-p C : 75Ω 0.286Vp-p
	コンポーネント		Y : 1.0Vp-p / 75Ω 正極性 (With Sync) Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75Ω DTV : 525i (480i)、1125i (1080i)、525p (480p)、750p (720p) DVDコンポーネントビデオ信号 (15kHz)
	音声		22kΩ以上 0.5Vms
入出力端子	コンピュータ	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×1
		映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力	ステレオミニジャック×1
		音声出力	ステレオミニジャック×1
	DVI-I	映像入力	DVI-I 29ピン×1 (HDCP対応*2)
		音声入力	ステレオミニジャック×1
	ビデオ	映像入力	RCA×1
		音声入力	RCA(L/MONO、R)×1
	Sビデオ	映像入力	ミニDIN 4ピン×1
		音声入力	(ビデオの音声入力と共通)
リモコン端子	ステレオミニジャック×1		
PCコントロール端子	ミニDIN 8ピン×1		
USBポート	タイプA×1、タイプB×1		
PCカードスロット	TYPE II × 1、カードバス		
使用環境		動作温度：5~35℃ 動作湿度：20~80% (ただし結露しないこと) (電子ペンの動作温度は、15~35℃) 保存温度：-10~50℃ 保存湿度：20~80% (ただし結露しないこと)	
電源		AC 100V 50/60Hz*3	
消費電力		370W	
スタンバイ時消費電力		ノーマル時 : 12W 省電力時 : 0.6W	
定格入力電流		3.9A	
外形寸法		投写時 : 380(幅)×318(高)×313(奥行)mm (突起部含まず) ミラー収納時 : 380(幅)×227(高)×296(奥行)mm (突起部含まず)	
質量		約6.4kg	

*1：有効画素数は99.99%です。

*2：HDCP/HDCP技術とは？

HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。

本機のDVI-I映像入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCPの規格変更等が行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、DVI-I映像入力端子の映像が表示されないことがあります。

*3：高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・USBポートはUSB規格Ver1.1に準拠。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

●無線LANカード

形名	NWL-100E
動作電源電圧	3.3V
消費電流（最大）	送信時：615mA（Max） 受信時：395mA（Max）
規格	IEEE802.11、IEEE802.11b、IEEE802.11g ARIB STD-T66
伝送方式	直交周波数分割多重（OFDM方式） 直接スペクトラム拡散方式（DS-SS方式）
変調方式	CCK/DQPSK/DBPSK/OFDM
無線通信速度	11b：11/5.5/2/1 11g：54/48/36/24/18/12/9/6（Mbps）
送信周波数範囲	2412～2472MHz（中心周波数）
チャンネル	1ch～13ch
外形寸法	54（幅）×5（高さ）×88（奥行）mm
質量	33g

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他 ()

電源関係

- 電源が入らない (POWERインジケータが緑色に点灯しない)。
 - 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
 - 主電源スイッチは「入」になっている。
 - ランプカバーは正しく取り付けられている。
 - ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
 - (POWER) ボタンを2秒以上押しても電源が入らない。
- 使用中、電源が切れる。
 - 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
 - ランプカバーは正しく取り付けられている。
 - パワーマネジメント機能のある機種においてパワーマネジメントは「動作」に設定されている。

映像・音声関係

- パソコンの画面が投写されない。
 - パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。
 - ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。

PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機の場合は、[fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(パソコンによって異なります)。
- 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。
 - (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
 - [リセット] を実行してもなおらない。
 - 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
 - 画面に何かメッセージが出ている。()
 - 接続している入力を選択している。
 - 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
 - 入力に対応している解像度・周波数の信号である。
- 映像が暗い。
 - 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- 映像が歪む。
 - 台形に歪む(フォーカス調整または台形補正を実行してもなおらない)。
- 映像が切れる。
 - (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
 - [リセット] を実行してもなおらない。
 - 水平または垂直方向に映像がずれる。
 - コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
 - 入力に対応している解像度・周波数の信号である。
 - 数ドット欠けている。
- 映像がちらつく。
 - (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
 - [リセット] を実行してもなおらない。
 - コンピュータ映像入力力で文字がちらついたり、色がずれている。
- 映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- 音が出ない。
 - 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
 - 音量を調整してもなおらない。

その他

- リモコンが利かない。
 - リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
 - 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- 本体操作パネルのボタンが利かない。

[本体キーロック] 設定のある機種において

 - 本体キーロック設定は「非動作」または「無効」に設定されている。
 - 本体の(EXIT) ボタンを10秒以上押してもなおらない。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名: WT615J WT610J

製造番号:

購入時期:

ランプ使用時間:

ランプモード: ノーマル エコ

入力信号情報:

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H (+) (-)

V (+) (-)

同期形態 セパレート コンポジット

シンク オン グリーン

STATUSインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ:

型

タイプ: ホワイต์マット ビーズ 偏光

広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?

壁からのコンセントを直接利用している。

電源用テーブルタップを利用している。
(他、接続機器の数: 台)

電源ドラム (ロール式) を利用している。
(他、接続機器の数: 台)

コンピュータ

メーカー:

形名:

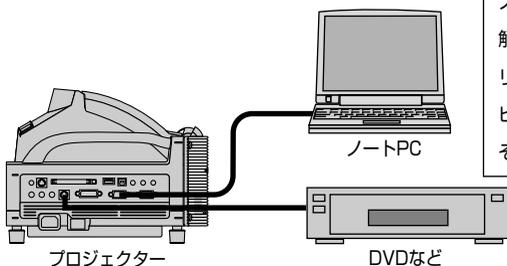
ノートPC・デスクトップ一体型

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



信号ケーブル

純正・その他 (形名: 長さ: m)

分配器
形名:

スイッチャ
形名:

アダプタ
形名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

形名:

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

本体	お買い上げ日から1年間です。
本体に付属のランプ	次の(1)と(2)の早いほうまでです。 (1)お買い上げから6か月間。 (2)ランプ残量(▶149ページ)が50%になるまで。
無線LANカード	お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(▶158ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(▶169、170ページ)で現象を確認してください。

その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ミラー投写型プロジェクター
形名	WT615J / WT610J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎() -
-----------	-------------	--------

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・引取費用
製品を引き取りするための費用です。

索引

数字／アルファベット

4点補正	128
AC IN 端子	20, 44
CD-ROM	17
Desktop Control Utility 1.0	90
DHCP	140
HDCP	168
HTTPサーバ	87
I/P変換	127
Image Express Utility 2.0	40, 139
IPアドレス	140
LAMPインジケータ	22, 163
LANカード	40
LANモード	138
PC Control Utility 3.0	40
PCカードアクセスインジケータ	22, 43
PCカードスロット	23, 42
PCカード取り出しボタン	23, 43
POWERインジケータ	22, 162
RGB信号ケーブル	16, 34
sRGB	122
SSID	141
STATUSインジケータ	22, 162
TVディストーション	59
Ulead Photo Explorer 8.0	40, 97
USBケーブル	16, 76
USBマウス	74
USBメモリ	86
User Supportware 2 CD-ROM	17
WEP	142

五十音

【ア行】

明るさ	119
アスペクト	120
アドバンスド・アキュブレンド	125
アドバンスドメニュー	106, 112
アドホック	42, 142
位相	124
色温度	122
色補正	123
インフラストラクチャ	41, 142

英数字の入力方法	111
エコモード	128, 149
オートスタート	146
オーバースキャン	126
オプション	100, 145
オフタイマー	148
オンスクリーンメニュー	105
温度プロテクタ	163
音量	58

【カ行】

解像度	125
拡大	72
画像設定	124
傾き情報表示	50, 128
壁色補正	119
カラー	119
カラーマトリクス	126
ガンマ補正	122
キーワード	134
キャプチャ	80
キャリングハンドル	19
吸気口	20
クローズドキャプション	148
クロック周波数	124
コントラスト	119

【サ行】

サイトサーベイ	141
サムネイル画面	98
参照	122
色相	119
自動調整	58, 145
シャープネス	119
主電源スイッチ	20, 47
情報	149
初期入力選択	146
信号形式	123
信号選択	147
信号リスト	115
スクリーンサイズ	31
スクリーン設定	138
スクロールホイール	75, 77
スクロールボタン	75, 77

スライド画面	98
スタンバイモード	145
スピーカ	19, 58
スライドショー	101
静止画	70
セキュリティ	81, 133
接続端子部	20, 23
設置	137
セットアップ	128
前面インジケータ	19

【タ行】

台形補正	129
単3乾電池	17, 28
単4乾電池	16, 26
調整	119
チョークボード	75, 147
通信速度	145
通信モード	141
ツール	147
デジタルズーム	147
テストパターン	115
電源コード	16, 44
電子ペン (WT615Jのみ)	27
電子ペン用センサ (WT615Jのみ)	20
投写距離	31
投写方法	137
盗難防止用ロック	19
ドメイン	143

【ナ行】

入力端子	115
ノイズリダクション	126
ノーマルモード	130, 149

【ハ行】

排気口	19
背景色	147
パスワード (メニュー/ロゴ)	132
バックグラウンド	132
パワーマネージメント	146
ピクチャーマネージメント	121
ビデオ	126
ビデオ帯域フィルタ	123
ビューワ	95
ビューワオプション	102
表示位置	124, 148
表示言語	130
表示項目選択	131

表示時間	131
ピンクッション補正	59, 128
ファンモード	146
フォーカス	49
フット	19, 51
フラッシュメモリカード	42
ブランキング	125
プリセット	121
プロジェクト名	145
プロファイル	140
平行度	52
ベーシックメニュー	108, 112, 130
ヘルプ	73
ペンキャリブレーション (WT615Jのみ)	62, 128
ポインタ	71, 148
ホワイトピーキング	122
ホワイトバランス	123
本体カバー	17
本体キーロック	132
本体操作部	20, 22

【マ行】

マウス設定	148
ミラー	19
ミラー用クリーニングクロス	17, 152
ミラー用ロック	19, 20
無線LANカード	17, 42, 138
メール	144
メニュー設定	131
メニュー表示色選択	131
メニューモード	130
モニタ出力	147
有線LAN	40, 138

【ラ行】

ランプカバー	19, 154
ランプカバーネジ	19, 154
ランプの交換	154
ランプ時間クリア	150
ランプ使用時間	149
ランプモード	130
リセット	121, 150
リモコン	16, 24
リモコンケーブル	16, 27
リモコン受光部	19, 26
レーザーポインタ	61
ロゴ	132

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

ミラー投写型プロジェクター

WT615J／WT610J

取扱説明書

2007年4月 4版

NECディスプレイソリューションズ株式会社

© NEC Display Solutions, Ltd. 2005 - 2007

NECディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <http://www.nec-display.com/support/projector/>

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料



- より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法 本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ <http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/>

NECディスプレイソリューションズ株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目13番23号 (MS芝浦ビル)